



3

フットミ

なあんも

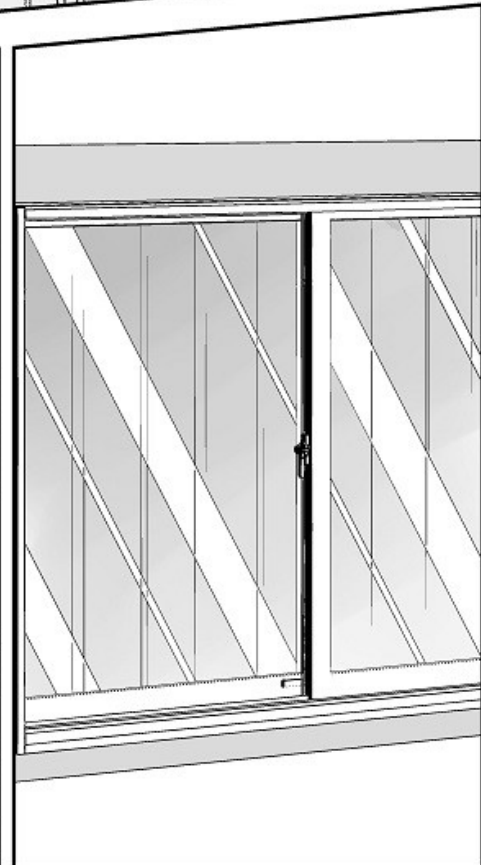
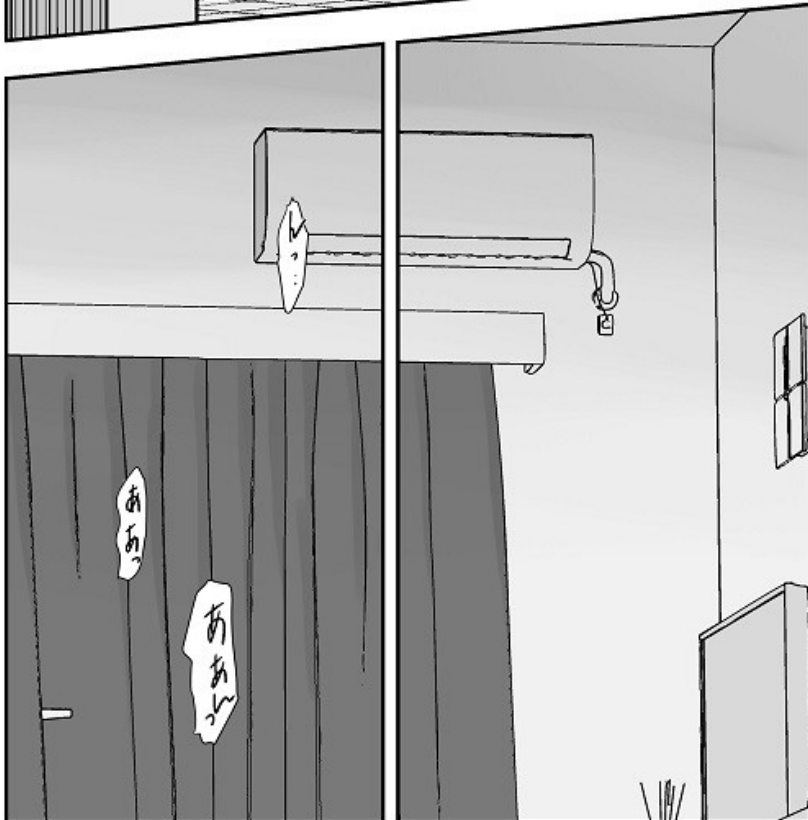
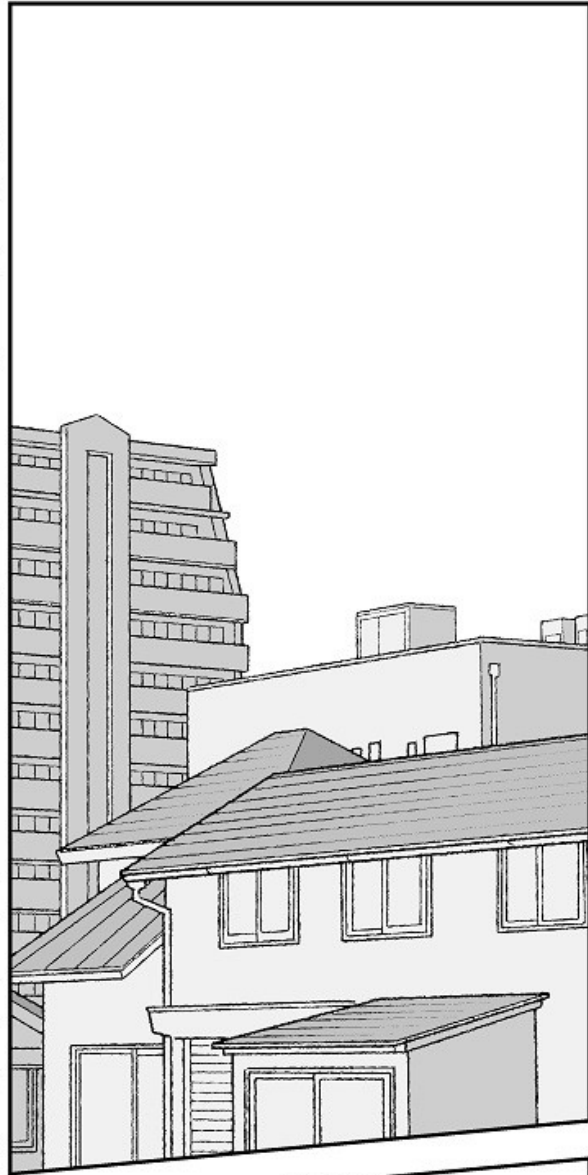
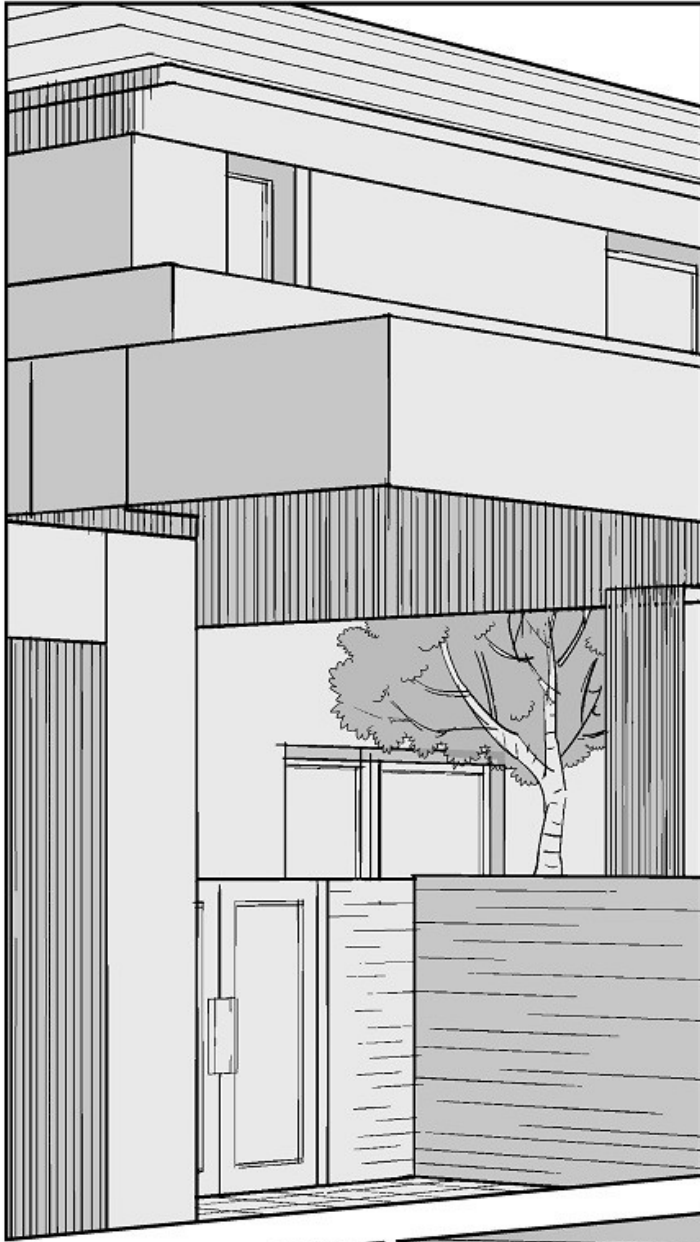
母親 NTR 漫画 その後

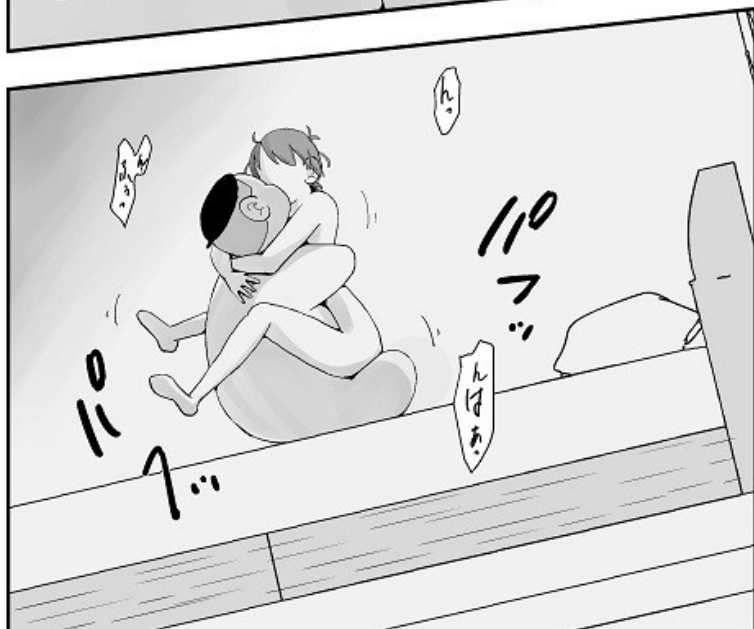
165 ページ

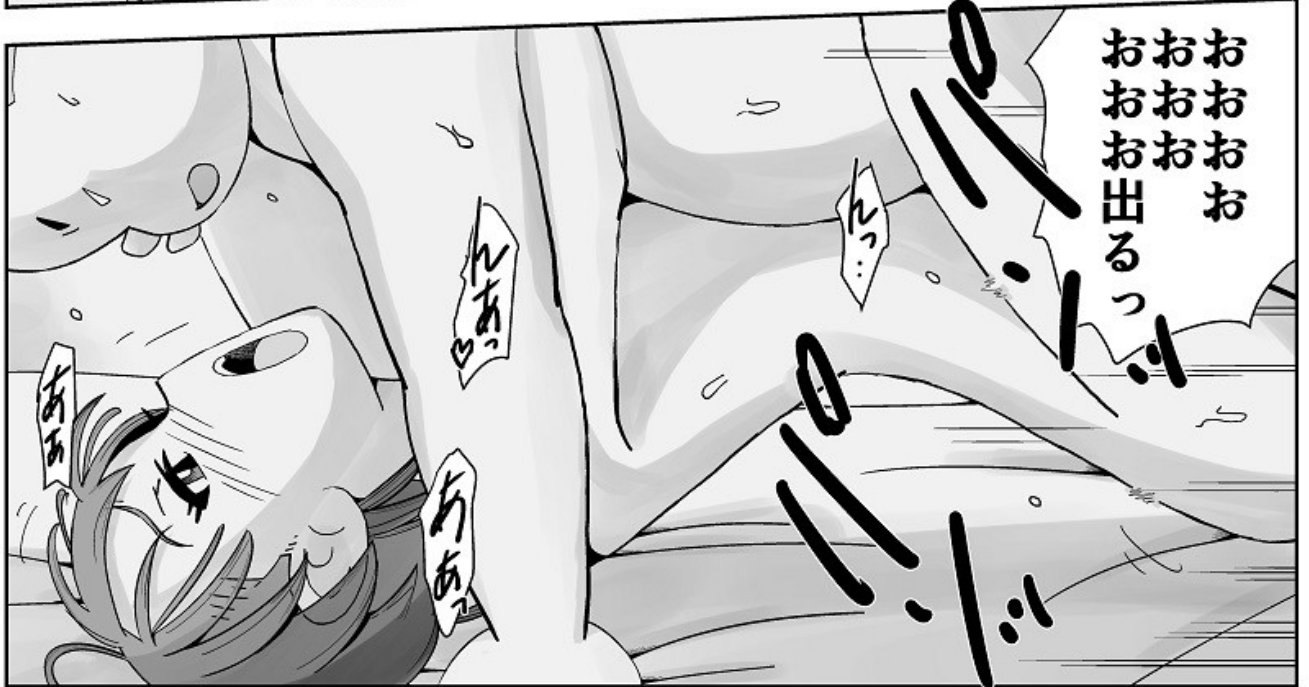
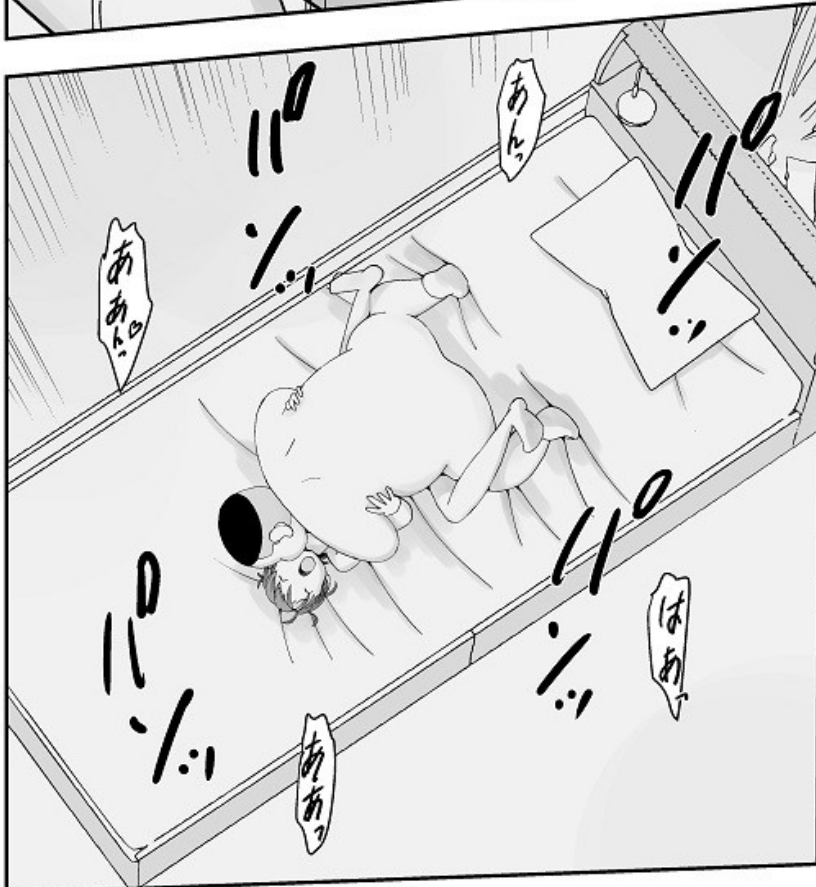
作画 ナオト。 N.R.D.WORKS

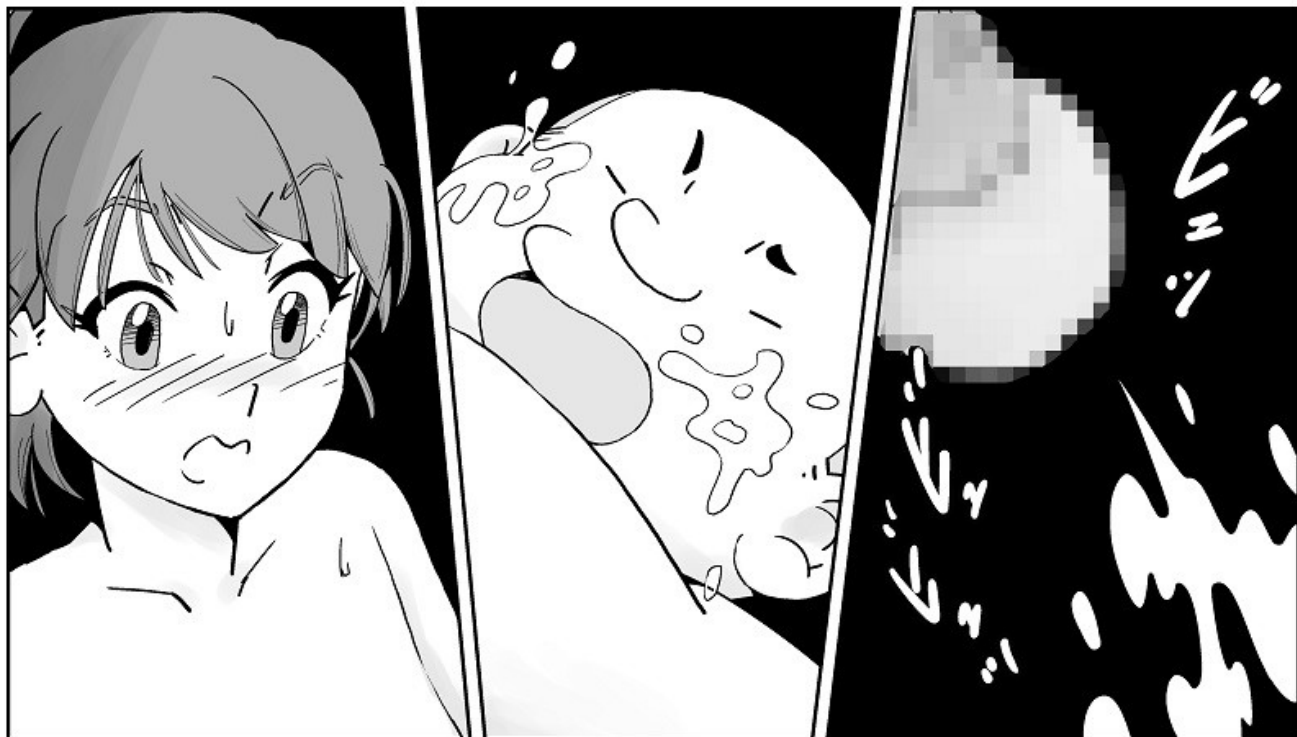
BIG Pack しお

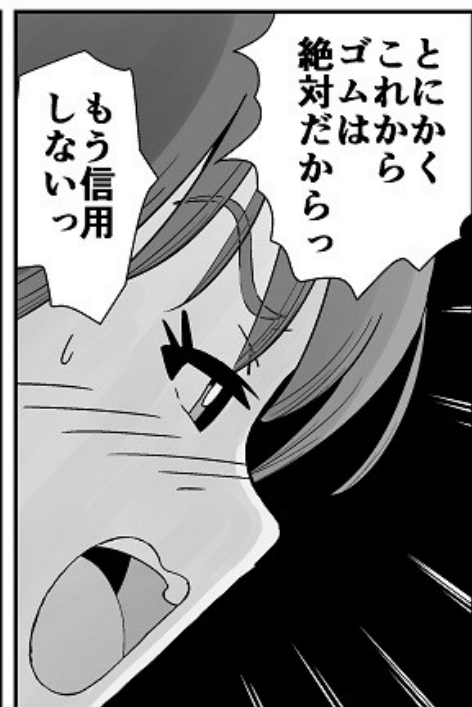
行って さっさと
行じ









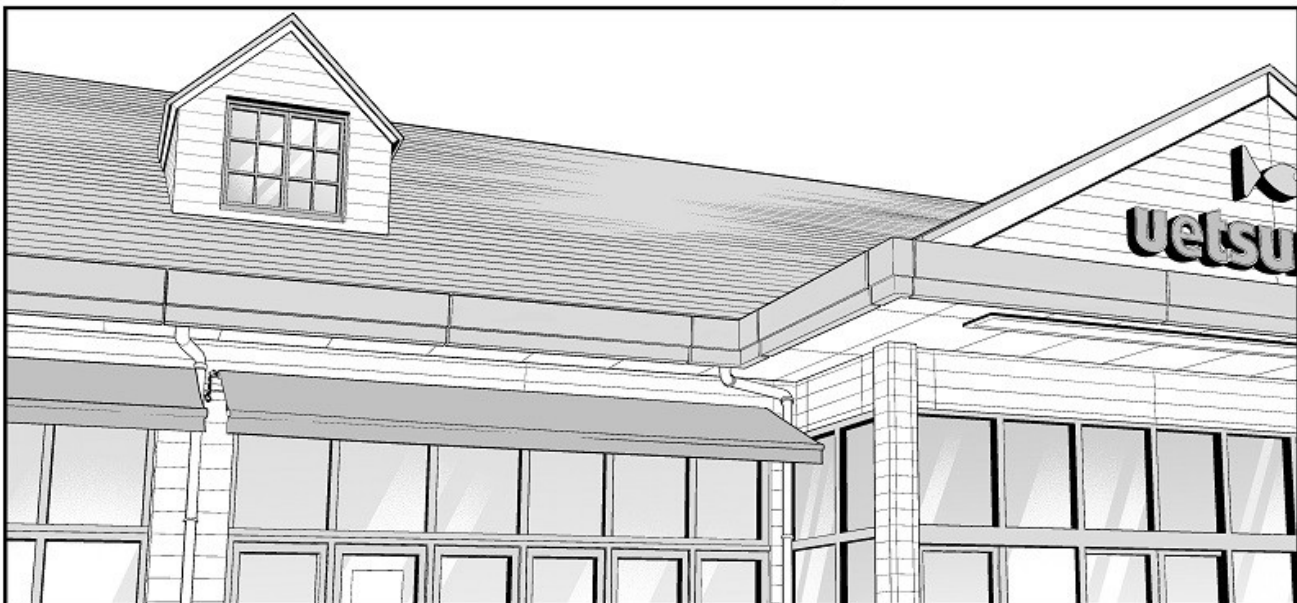














自分でも慣れて怖いってる

アイツと当たり前のようになつてしまつた定期的な関係

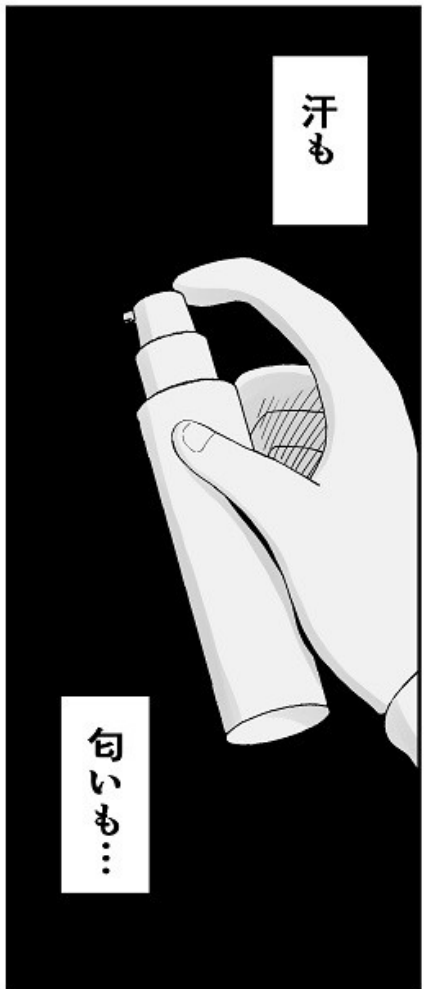
アイツの傷痕だけはない家に帰りたい



フアァンデデ...

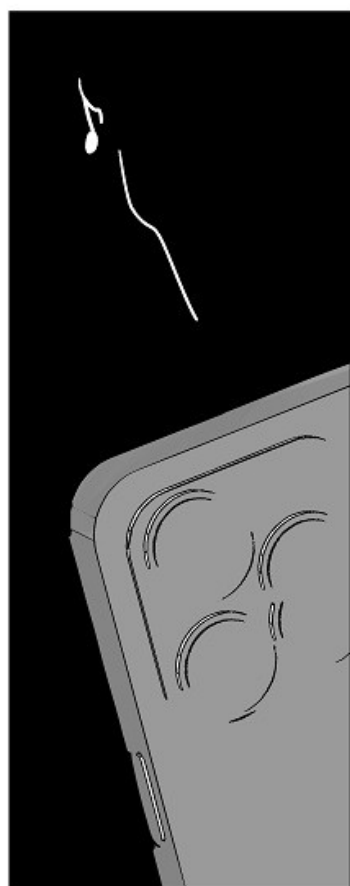
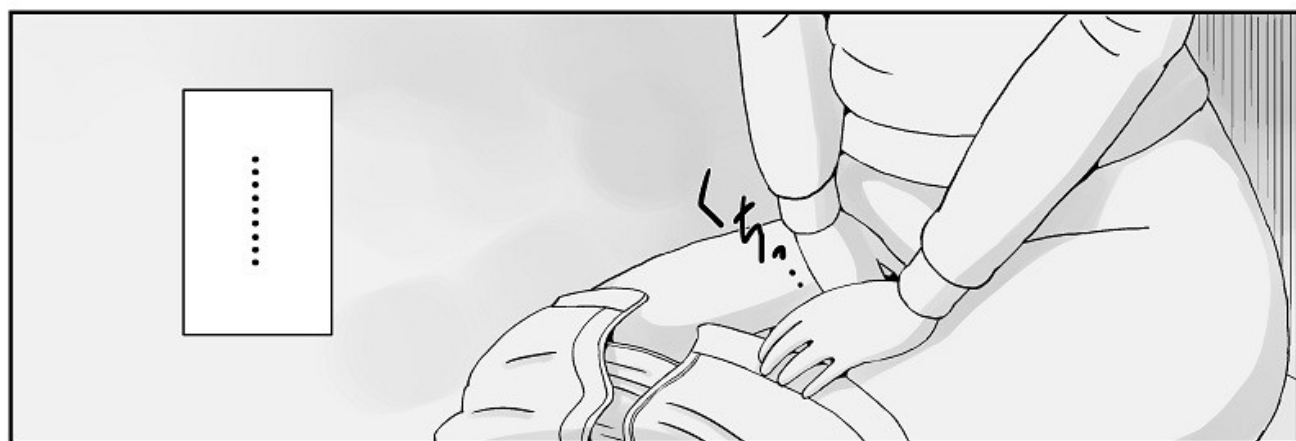
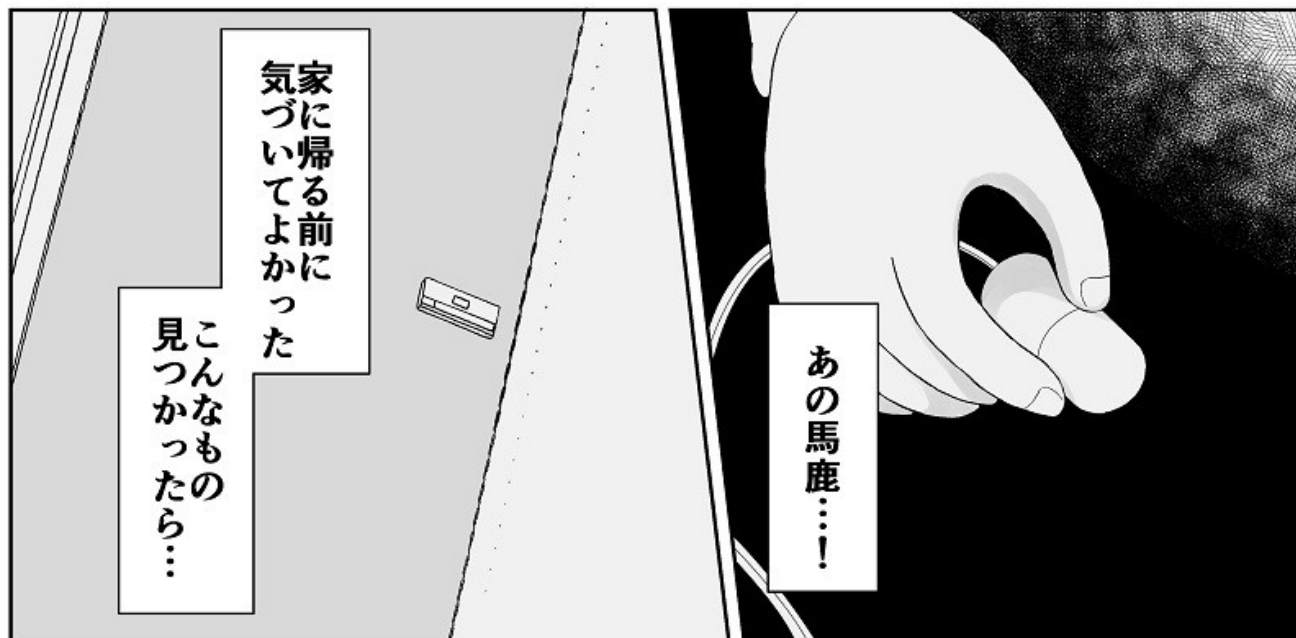


もうっ、またキスマーク...

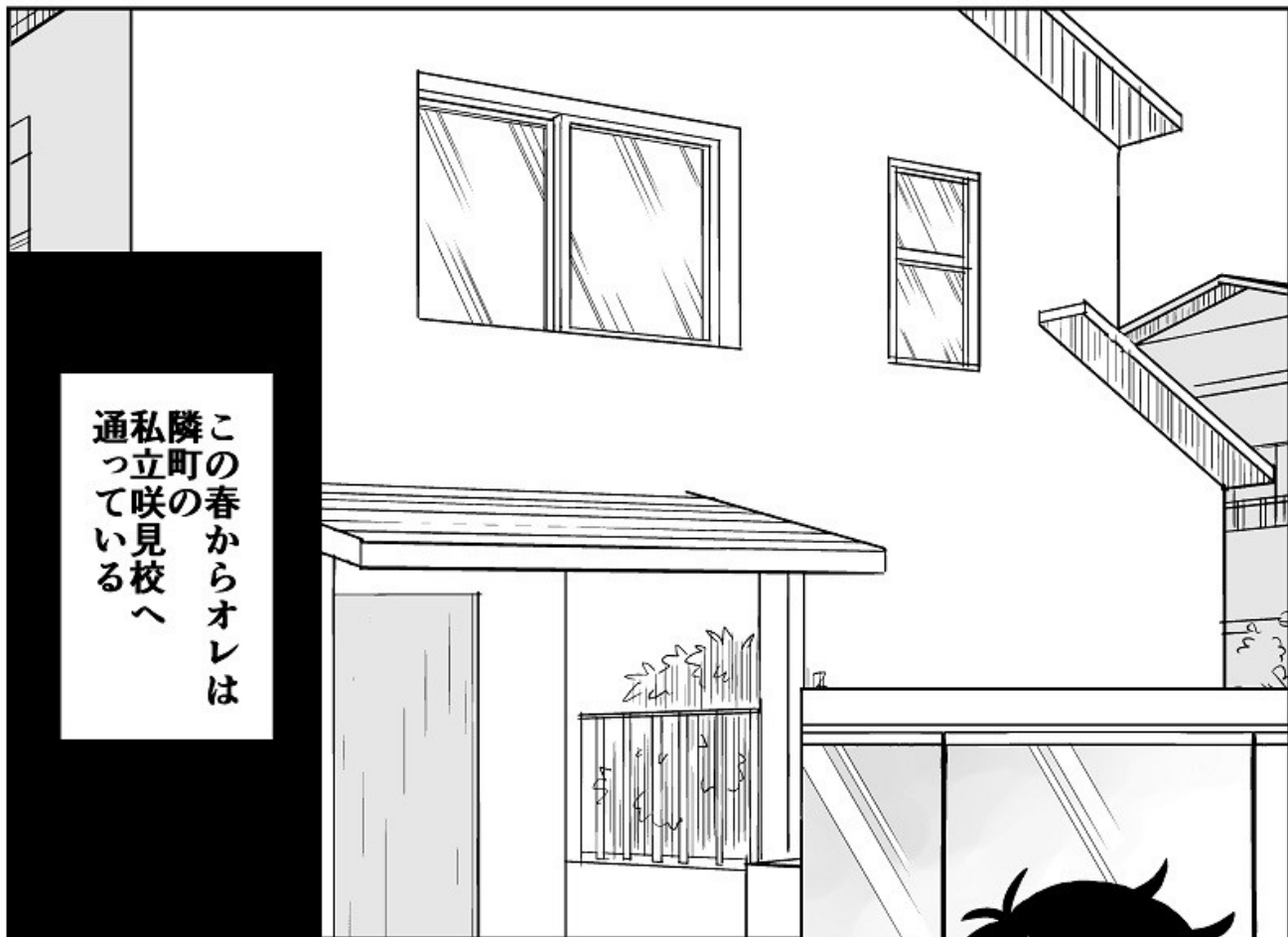


汗も

匂いも...







この春からオレは
隣の春からオレは
立町の春からオレは
咲いて見校へ
通っている



カッパン、
やっぱサ
この制服、
デカいよ

身長すぐ
伸びるん
だから、
それくらい
丁度いい

あたしなんか
一年でんな
短くなっ
だよ

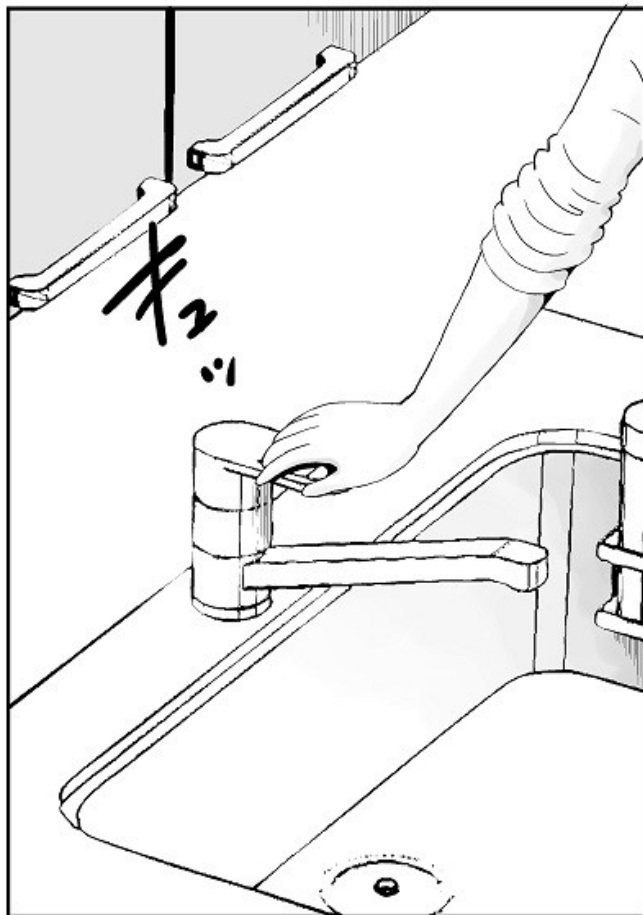
担任が
父さんと
カーサに
しつこく
薦めた

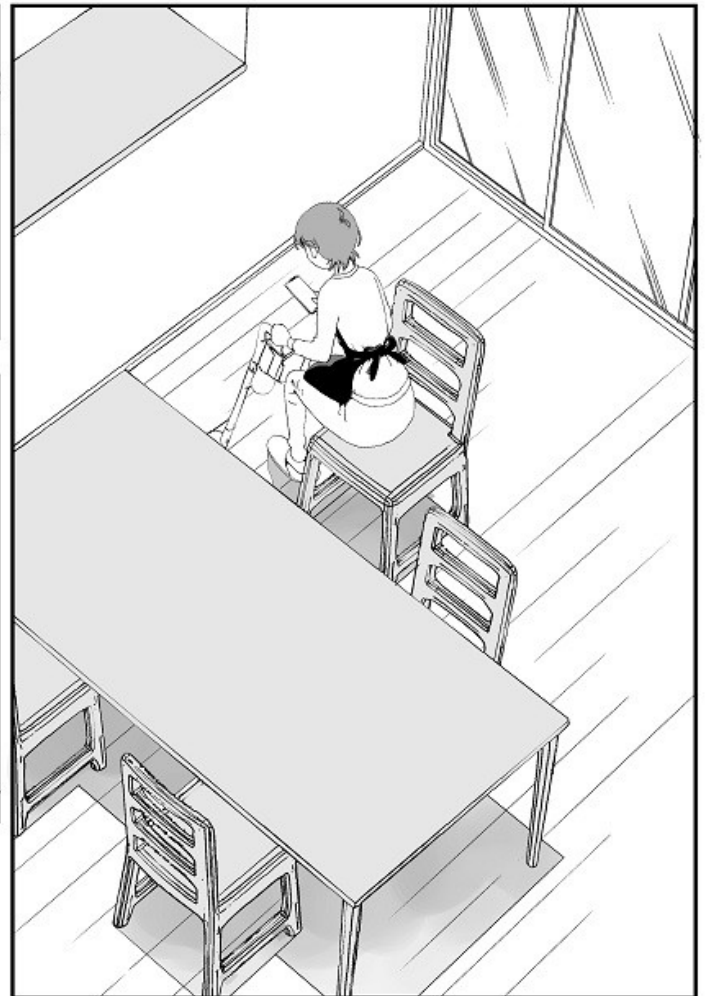
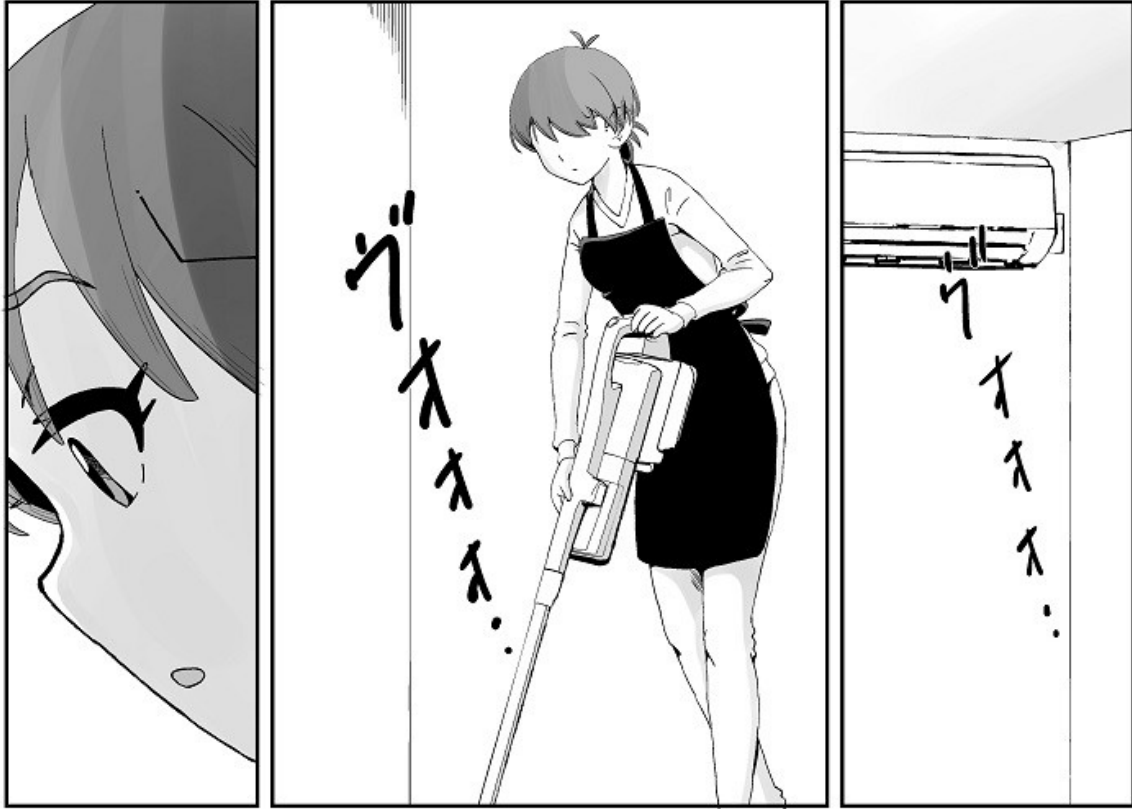


ずっと一緒だった
リョースケと
ケンゴは公立

ほんとは
進学校なんて
行きたいも
思わなかったが







>おはよーさん

>あいかわらず無視かいな

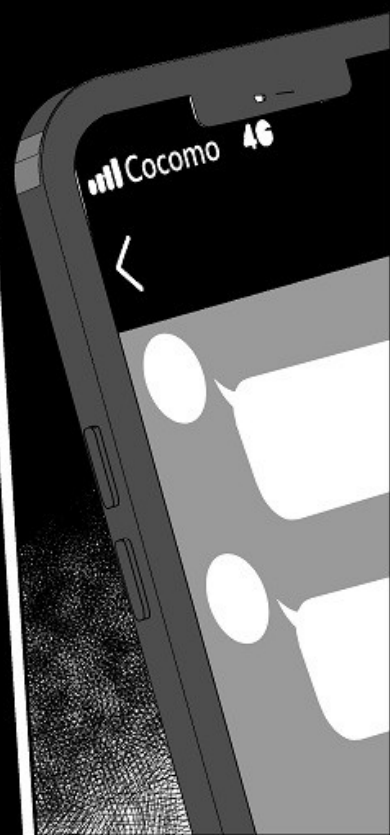
>今日オレ3時に
学校終わるやねん

主婦朝
は1番
忙しいのよ

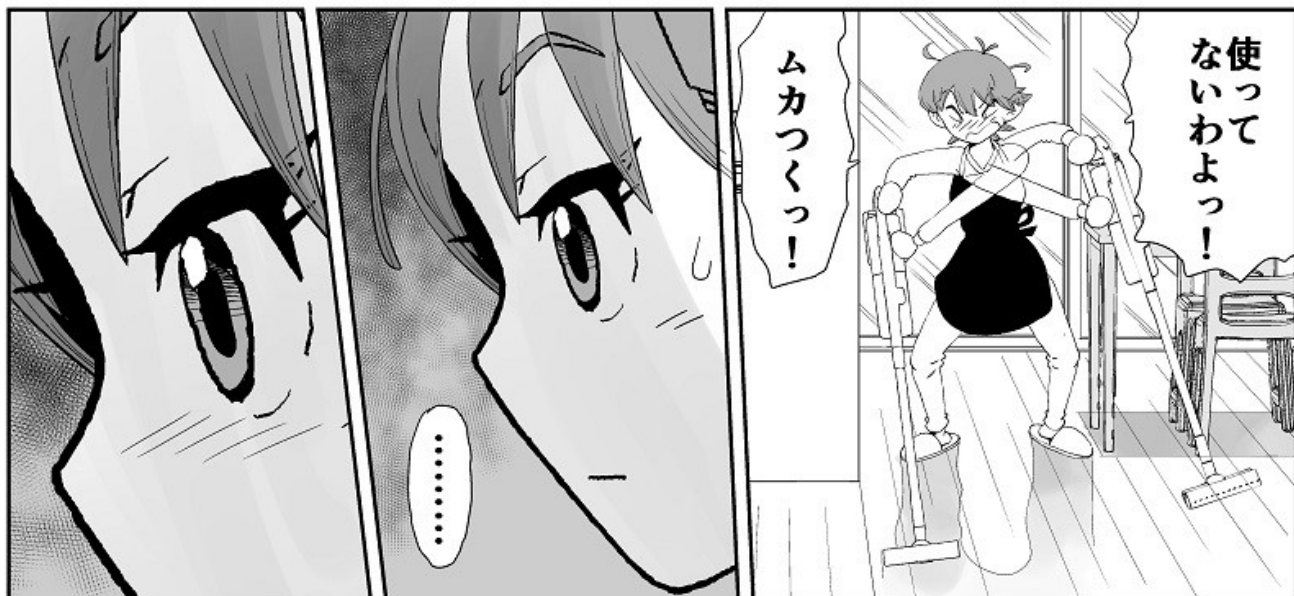
知らない
わよ

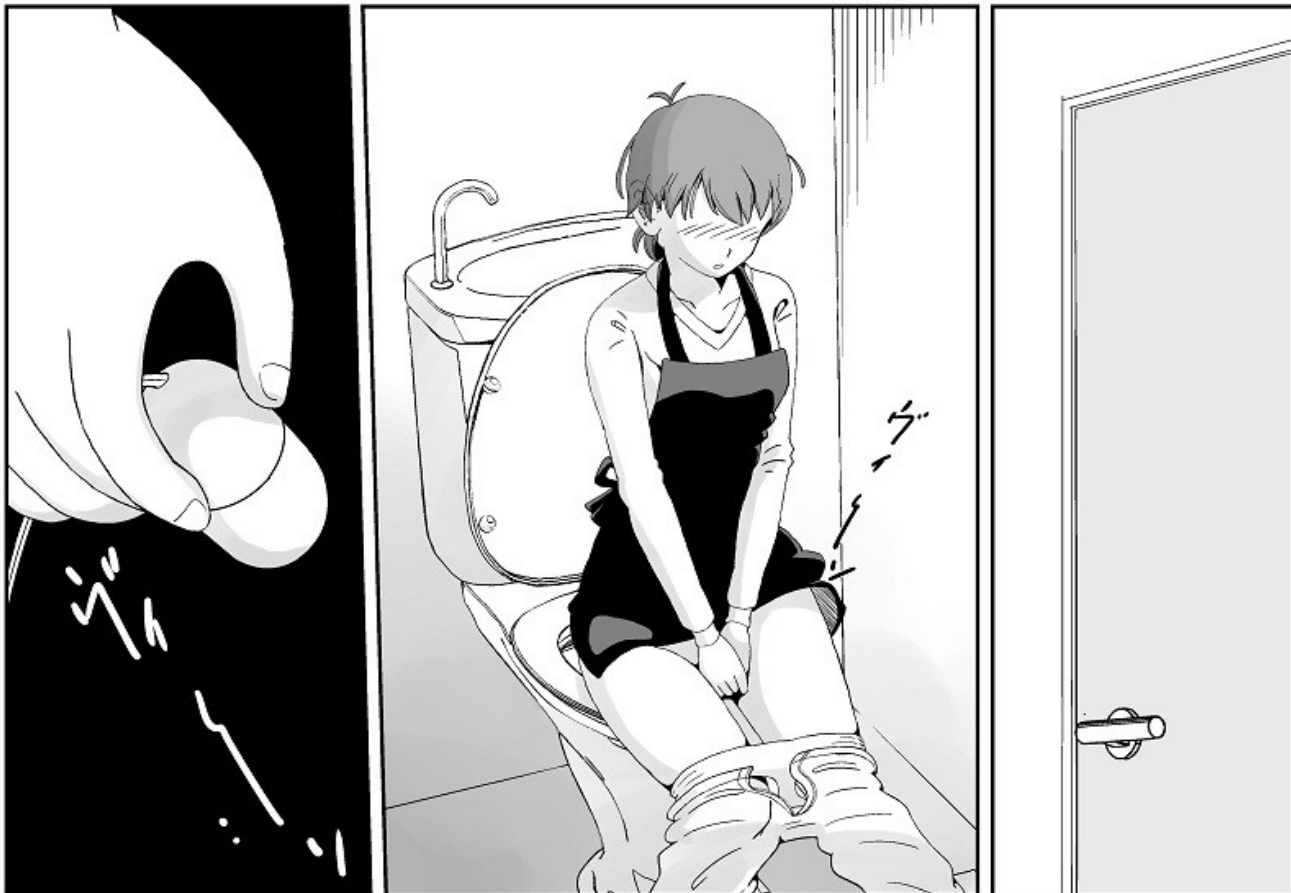
>会えへん?

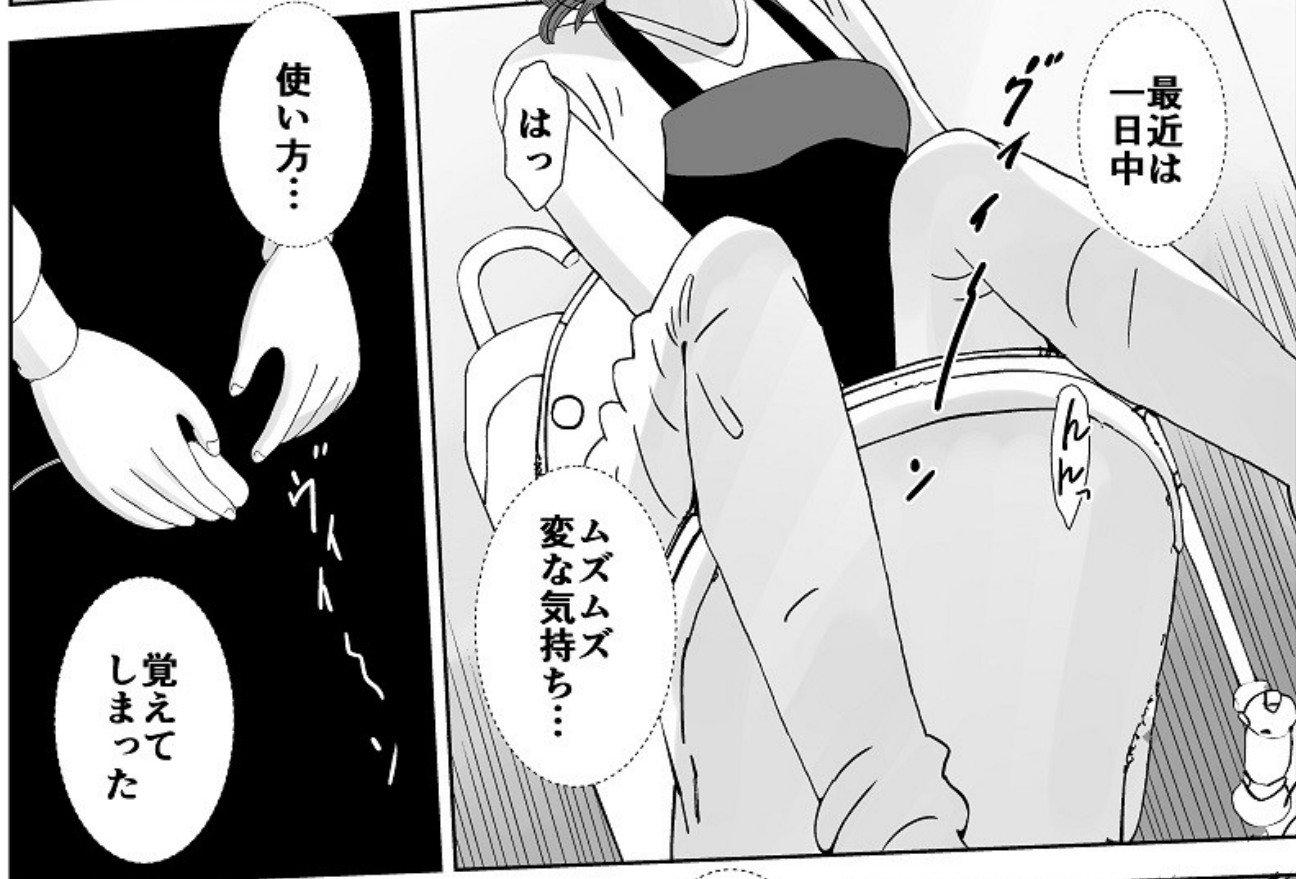
会わないし



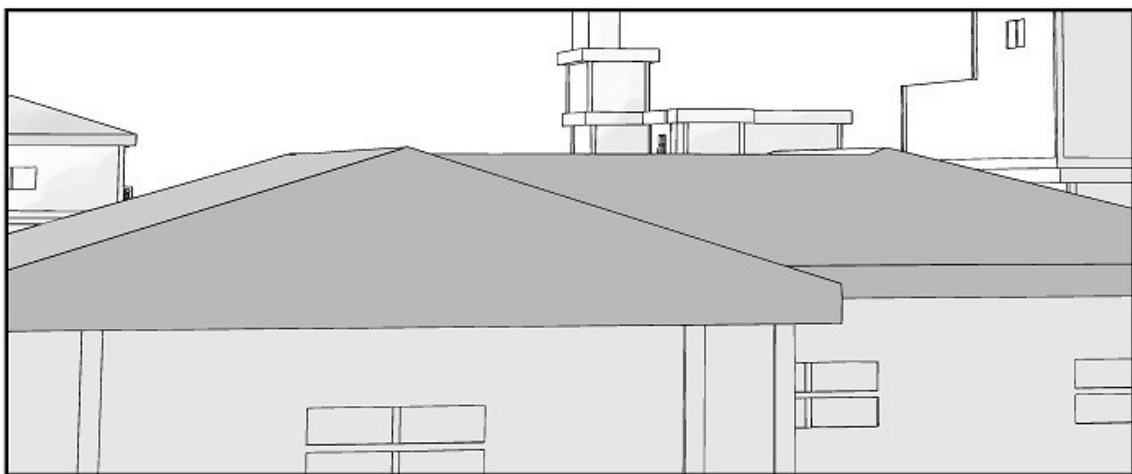
オモチャちゃんとうてる?

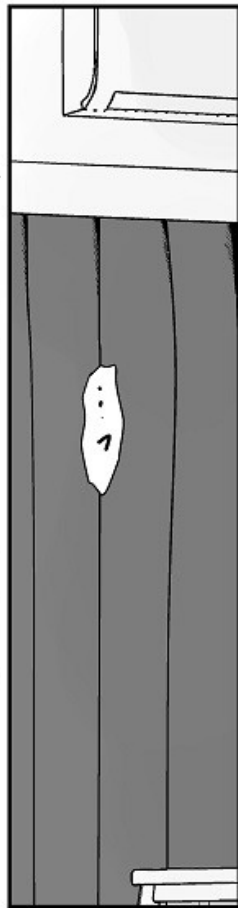










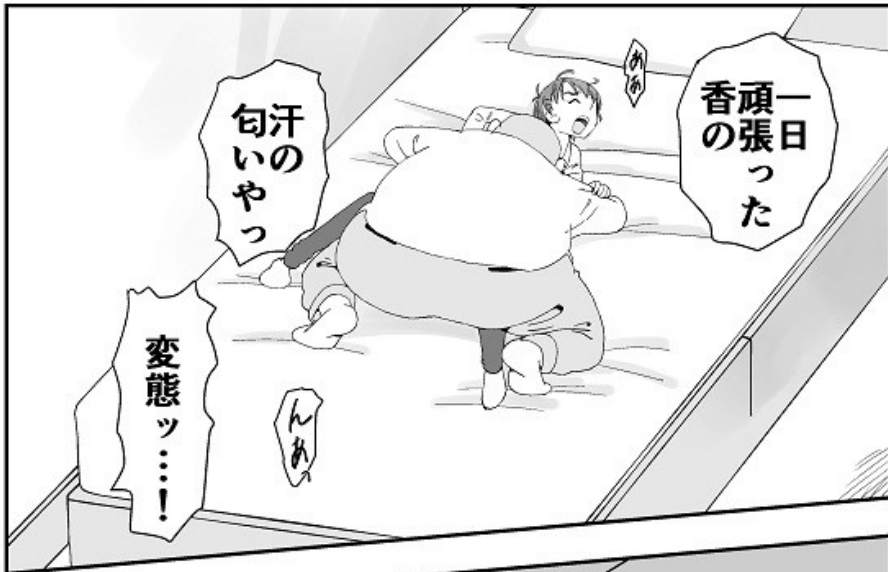


コーヒークらい
飲んでいきーや

要らない

固いこと
言わんと。
ケーキもあんで

ぢ



汗の
匂いやっ

一日
張った
頑張った
香の

変態
ツ……!

んめ

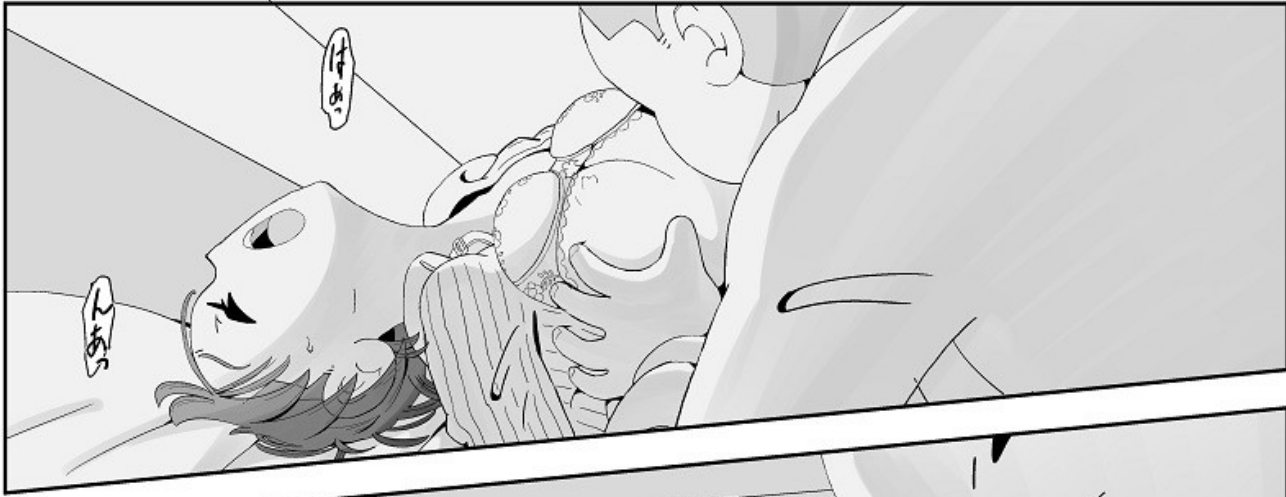


やめっ……!

あー、
汗の
香の
匂いやっ

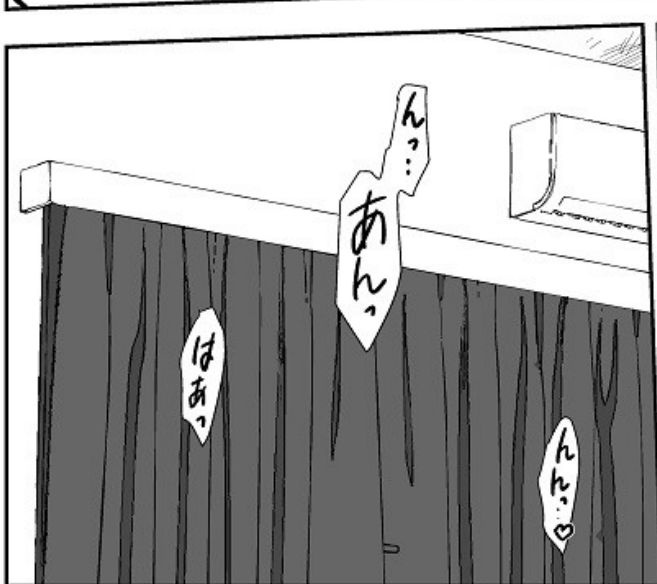


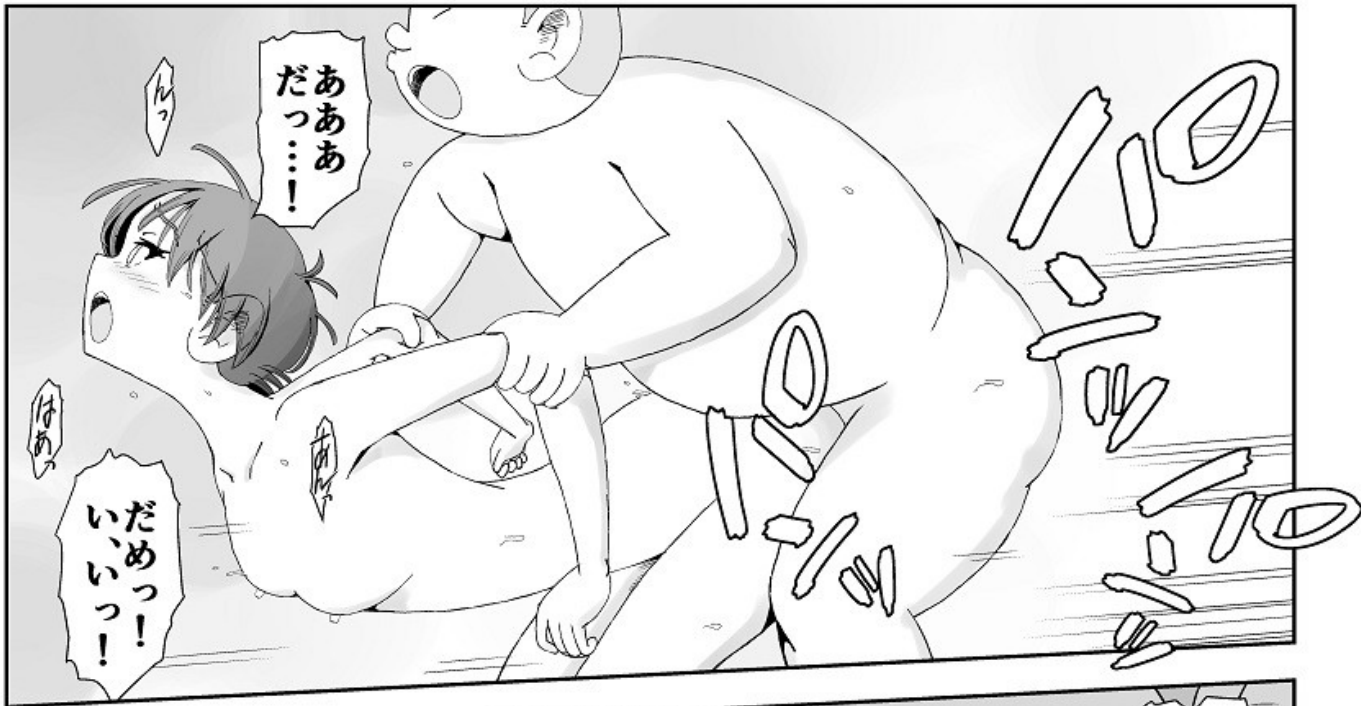
あん



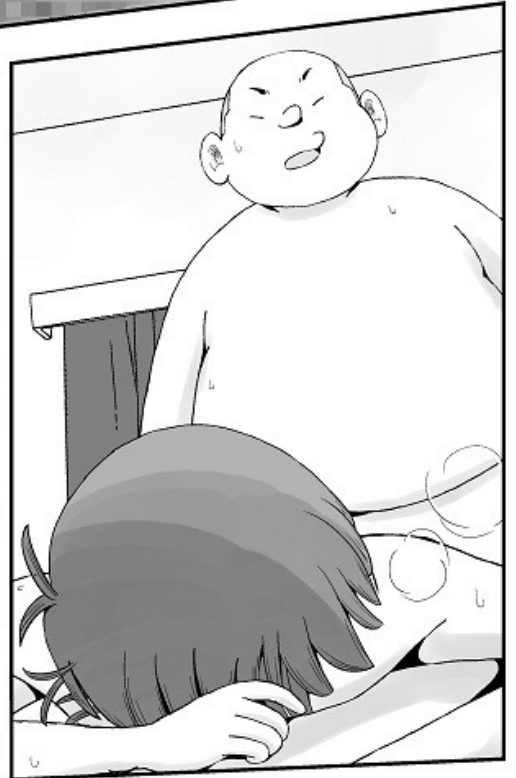














身体が動かない…

はあ…

はあ…

中に
出されたのに



怒ったんか?

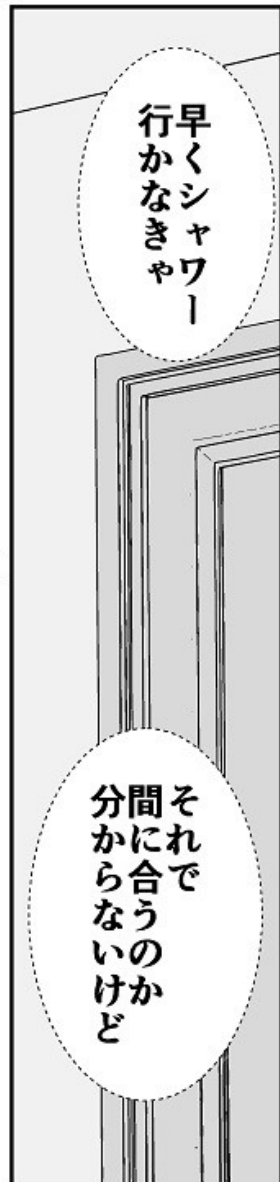
ティツシユ、
ほら…



でも何故か
身体が動かない

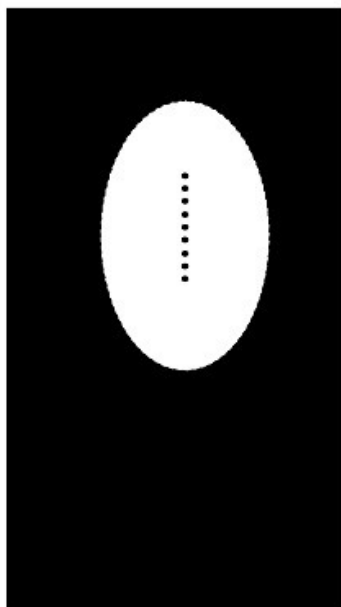
香て

なあ
どうしたん?
香ゴメンて



早くシャワー
行かなきゃ

それで
間に合うのかど
分らないけど



……



シャワーにも
行く気はない

どうして…?



いつも...



突き飛ばさなかつたの?



どうしてアイツを



放出の直前はわかる張り詰めるから













初めて見た

あの人の

あんな
悲しそうな
顔……



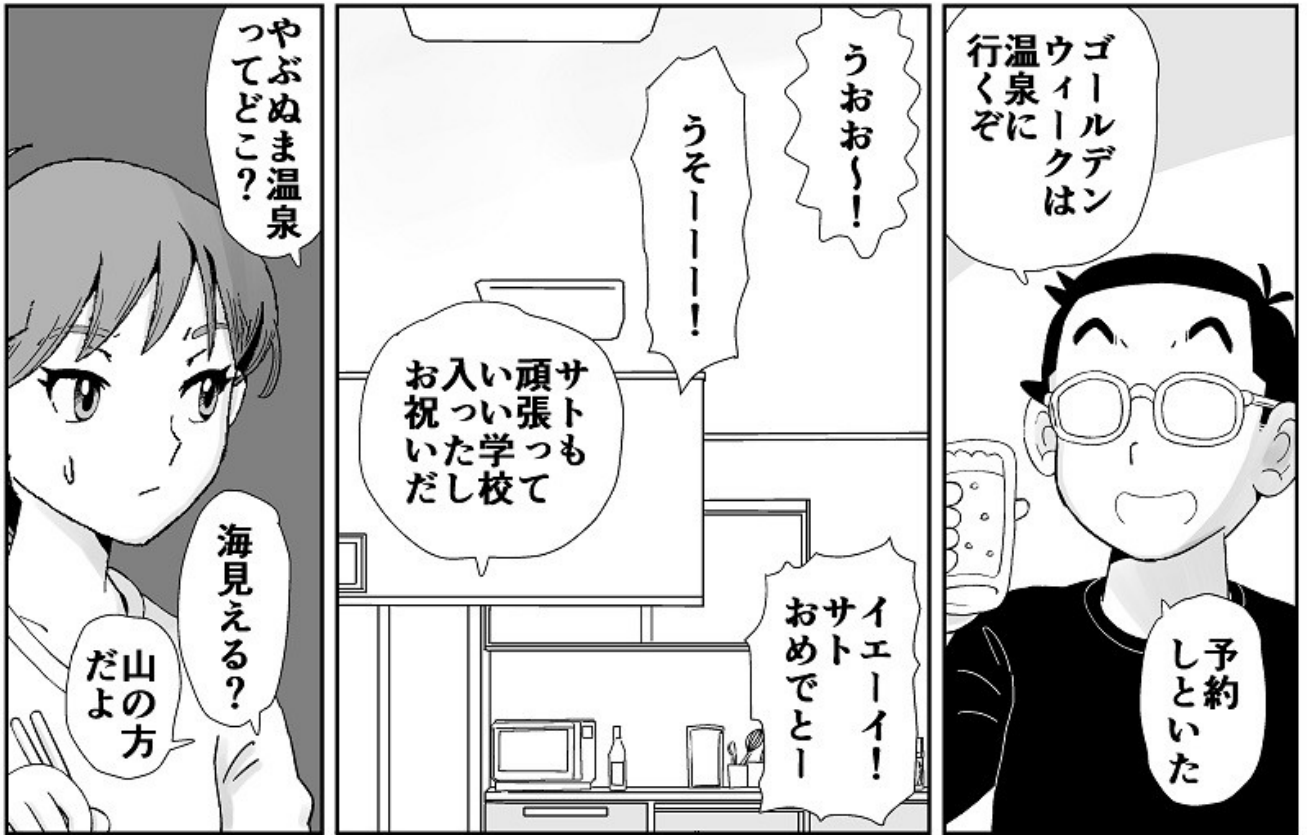
怖い...

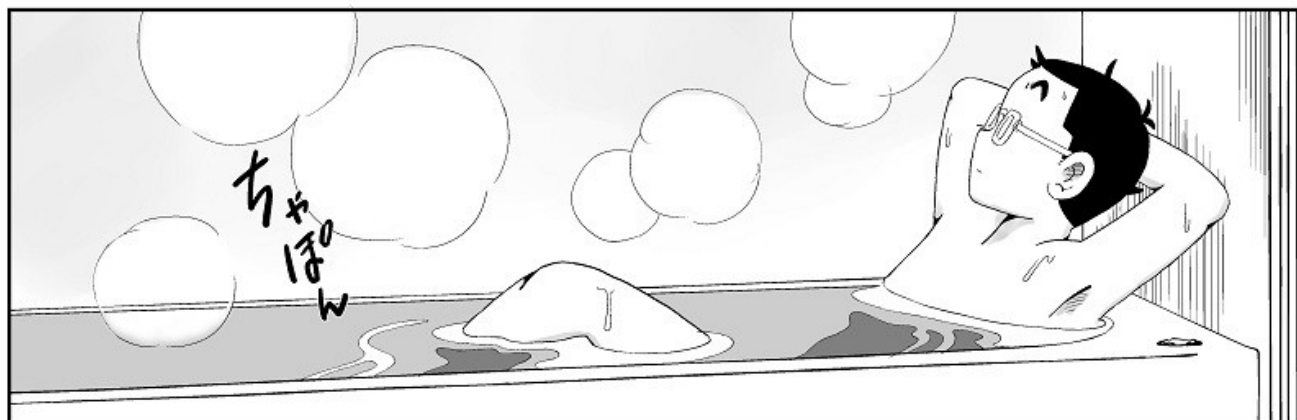
自分が怖い...

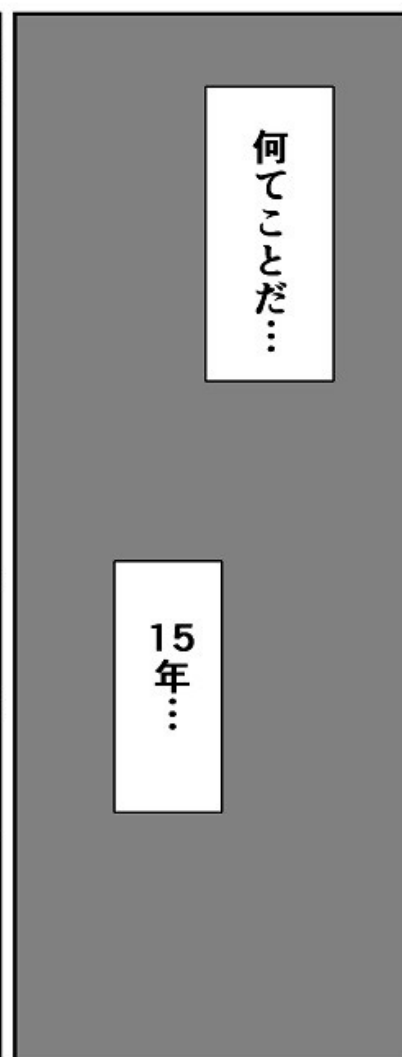
どうして、あんなこと...



ゴールデンウィーク
特別プラン
一泊二日
ゆったり
温泉







結婚記念日が
近いことも

そして
節目の15年目
ということすら
自分では
忘れていた

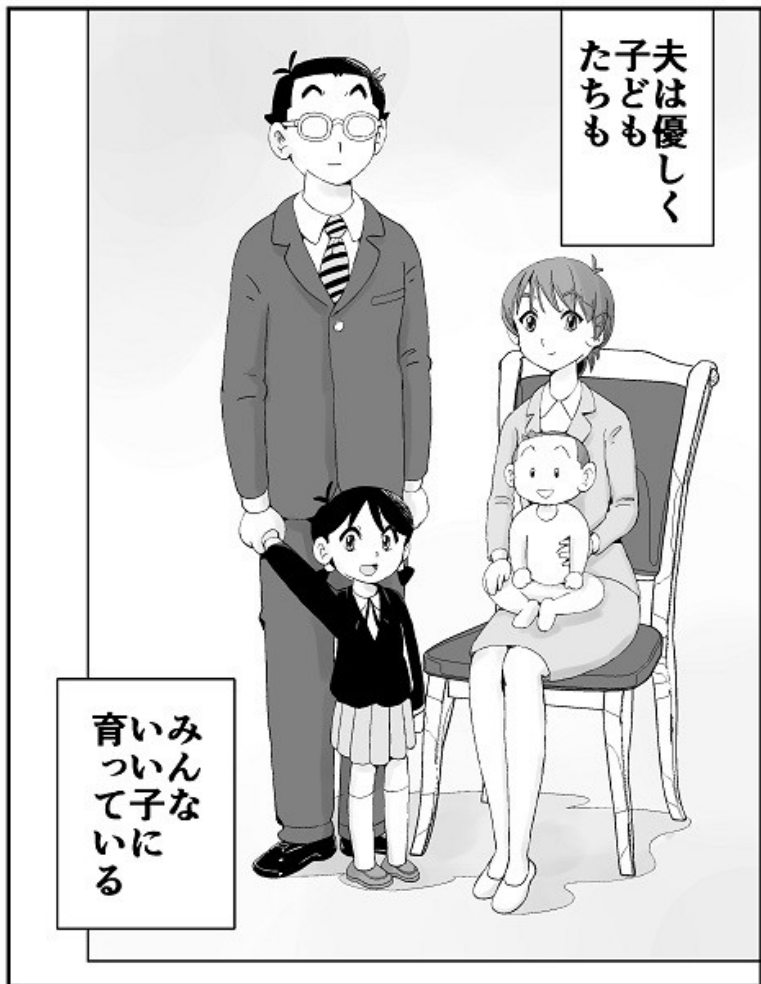
あの新緑の
教会で結婚し

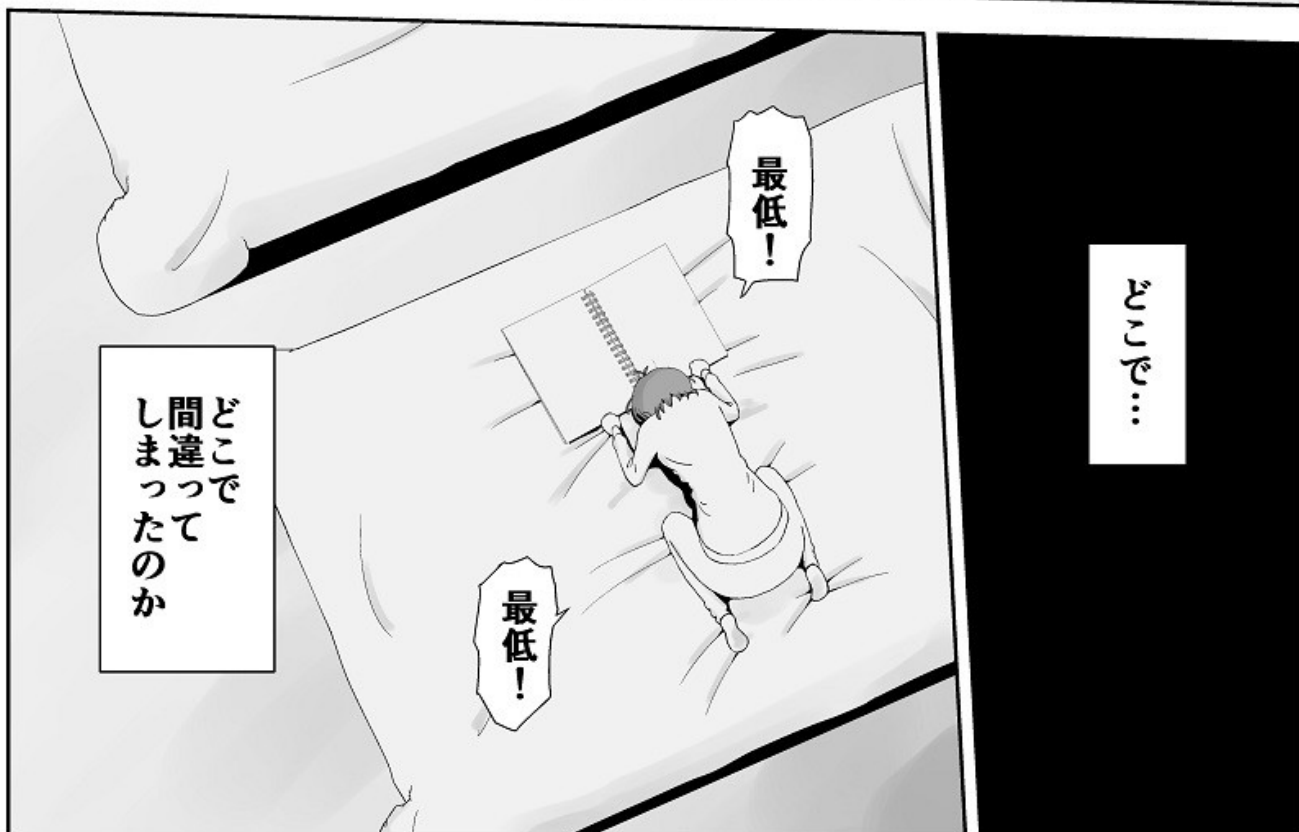
学生時代に
出会い

4年の
交際を経て

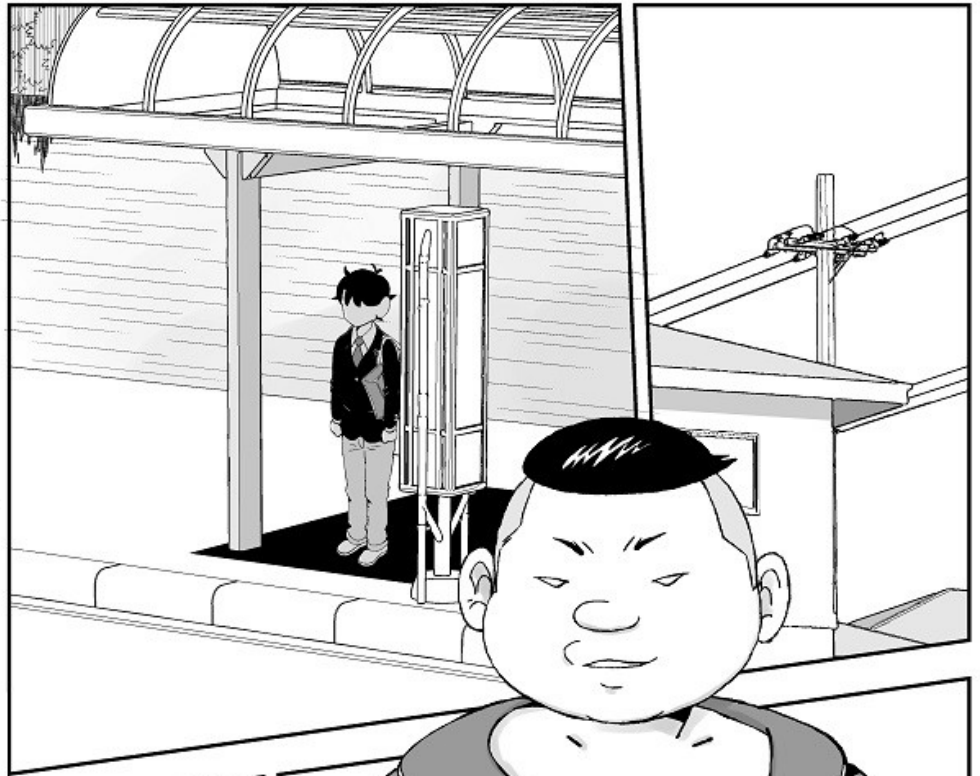
年が明けて
智美が生まれ

そして翌年
サトルが生まれた





久しぶりやん



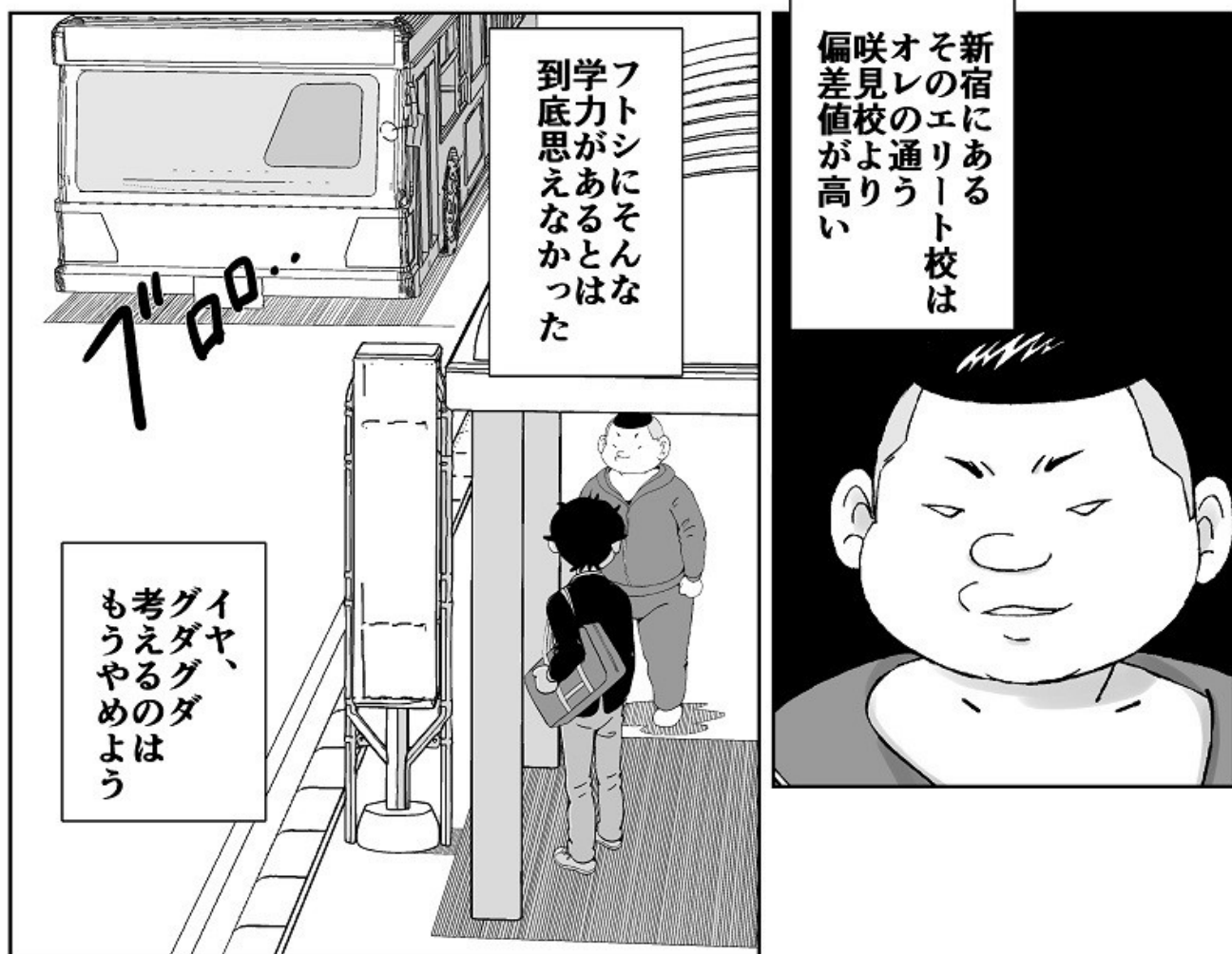
あの頃より
さらに大きく
なつたフトシは
黒々と日焼けし

まるで
チンピラ
なつていた

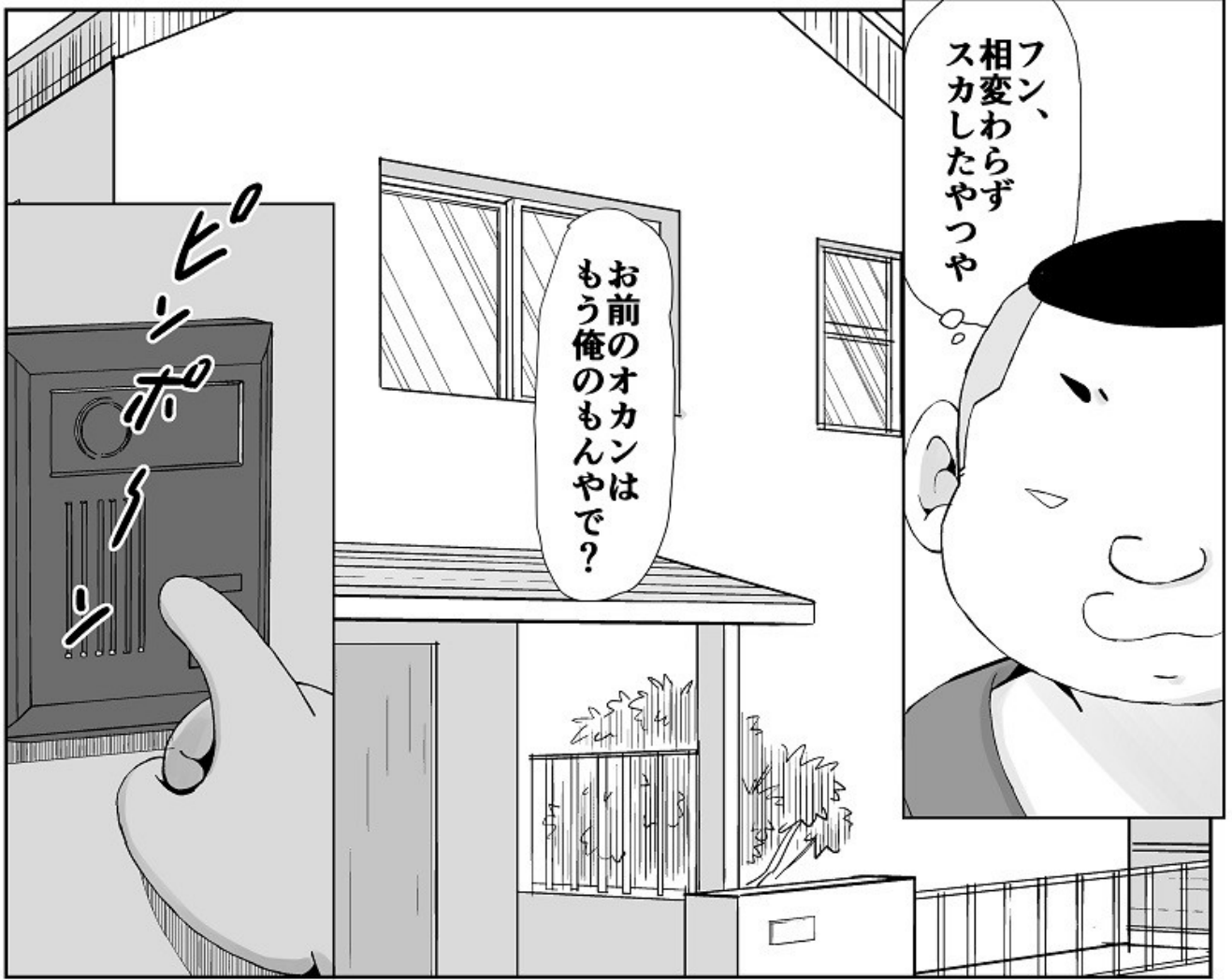


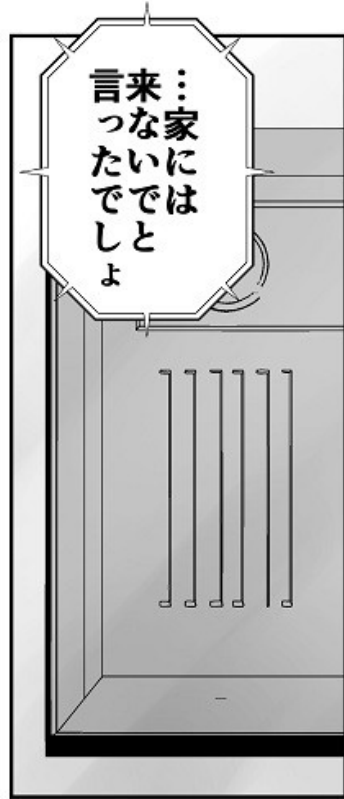
あの取っ組み合いの
ケンカから
どれくらい
ぶれだろう

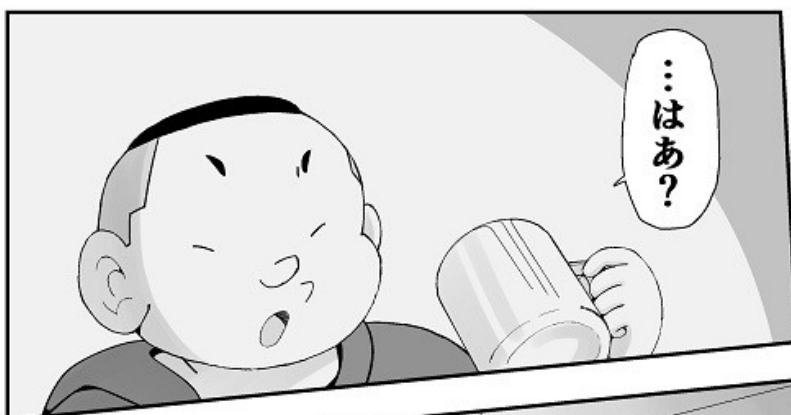






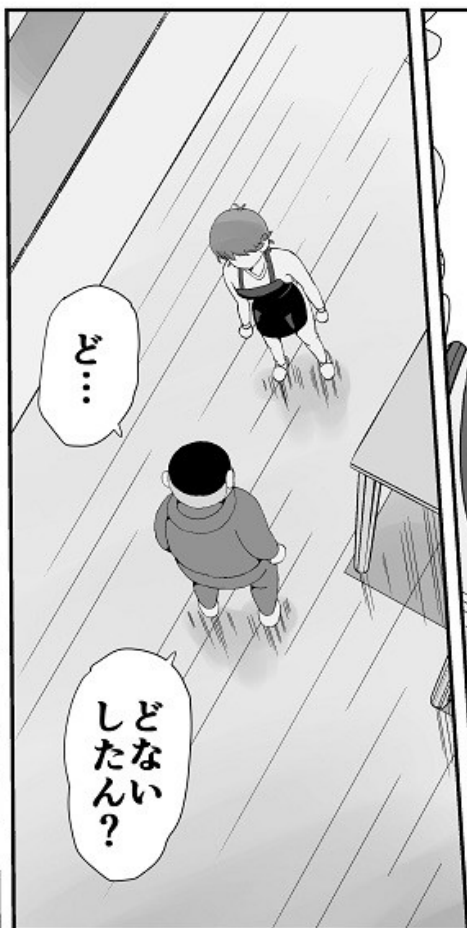


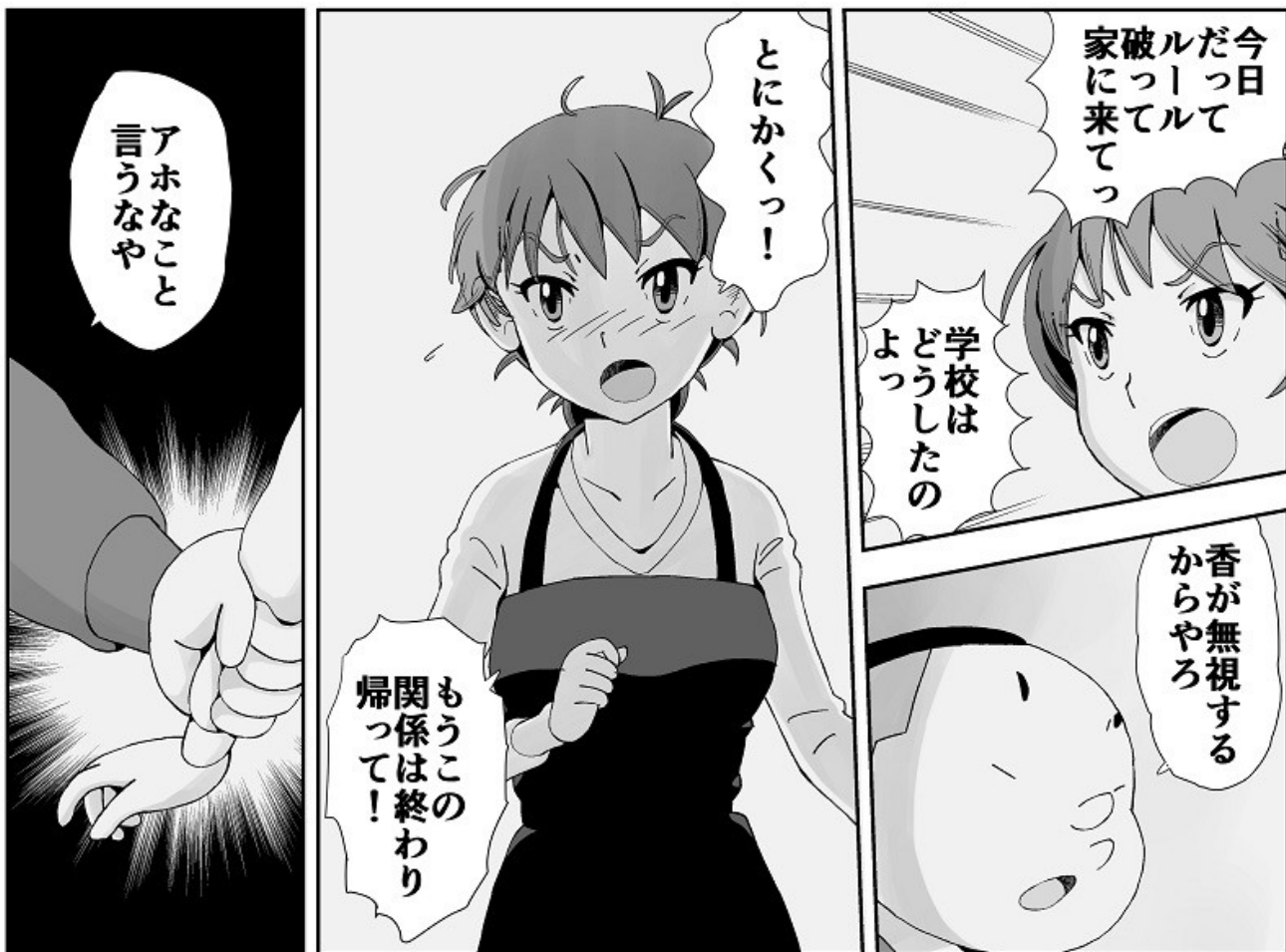


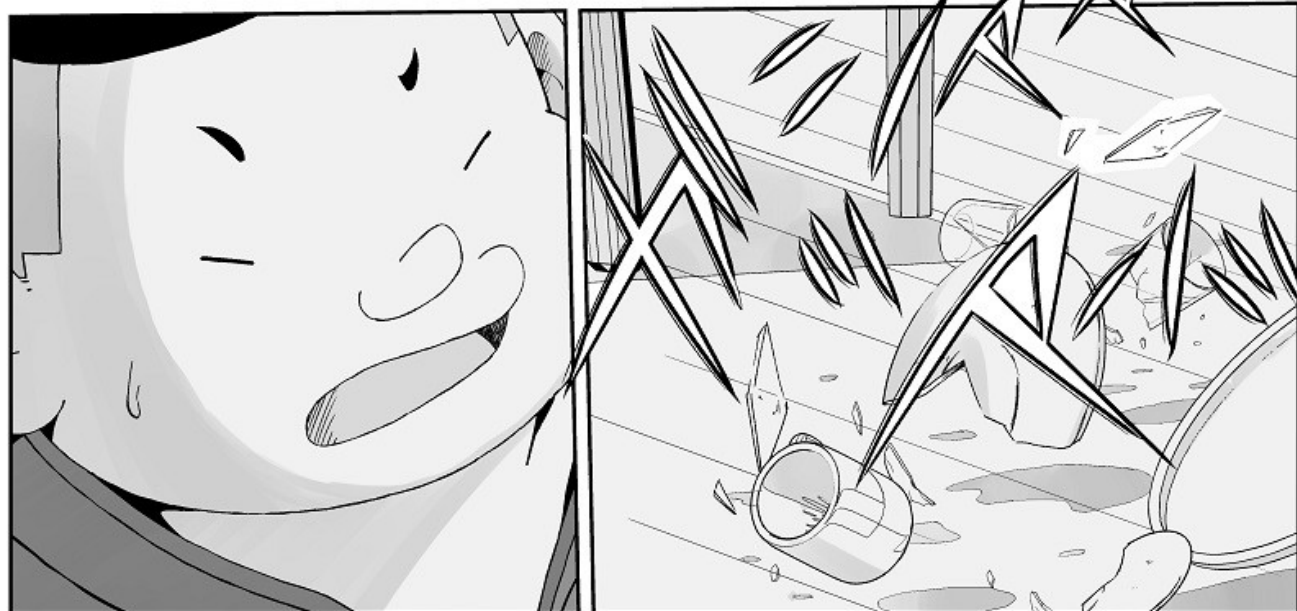
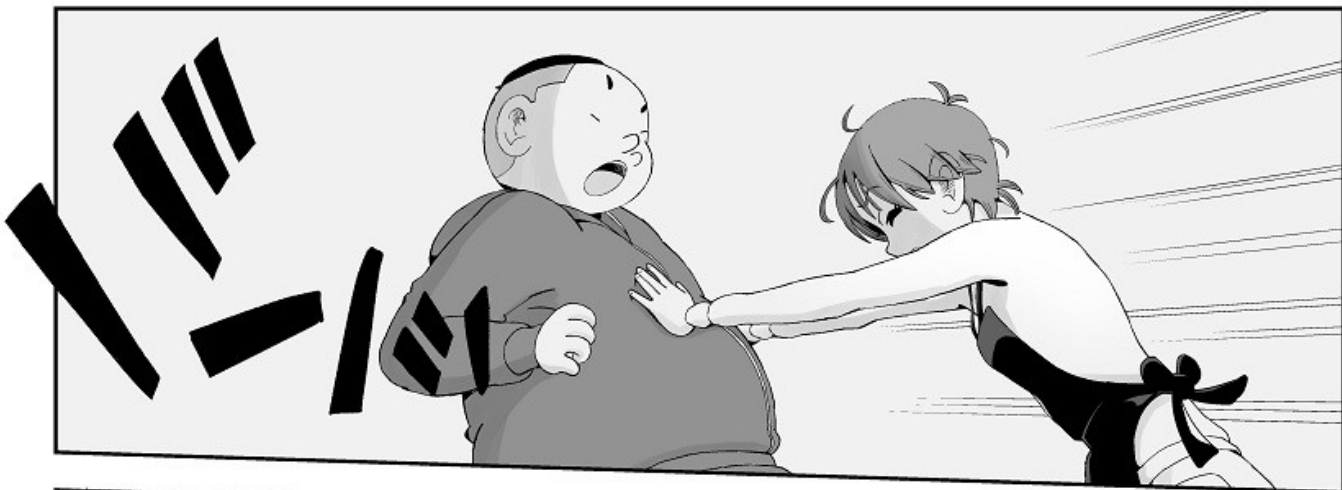


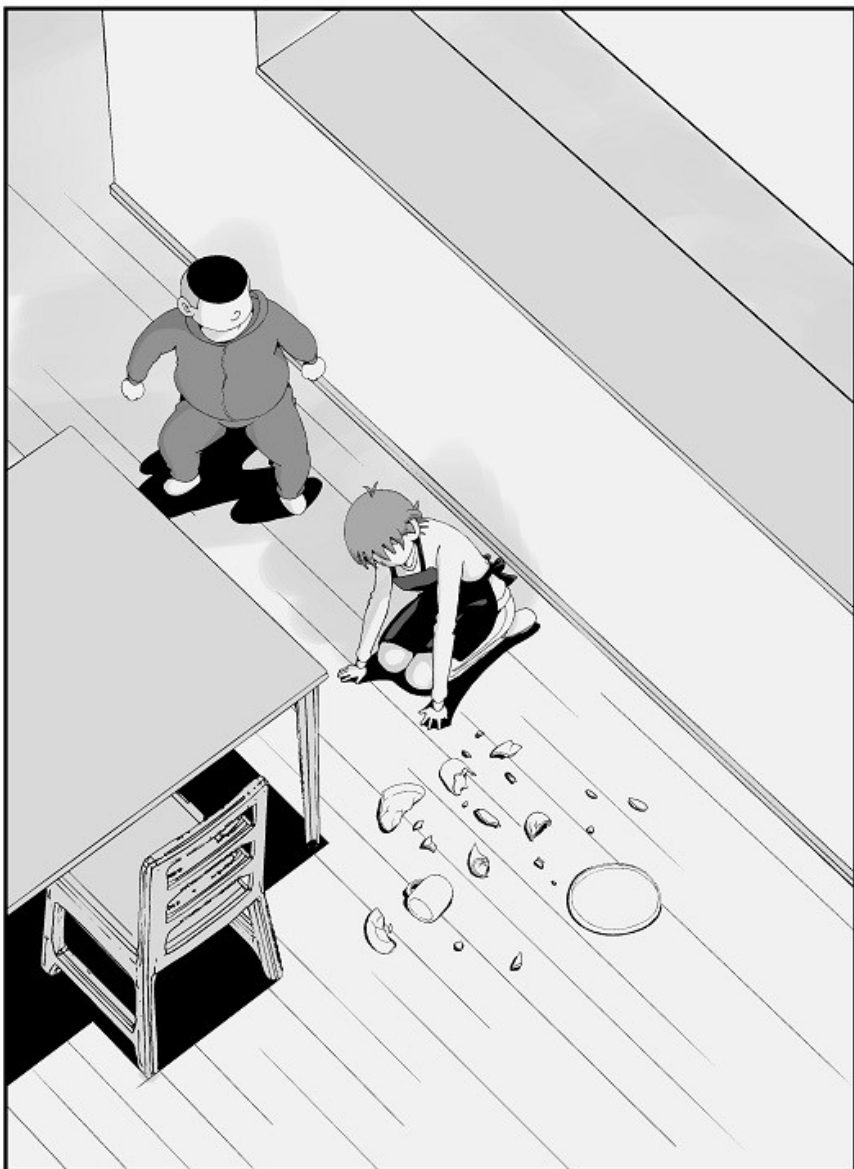




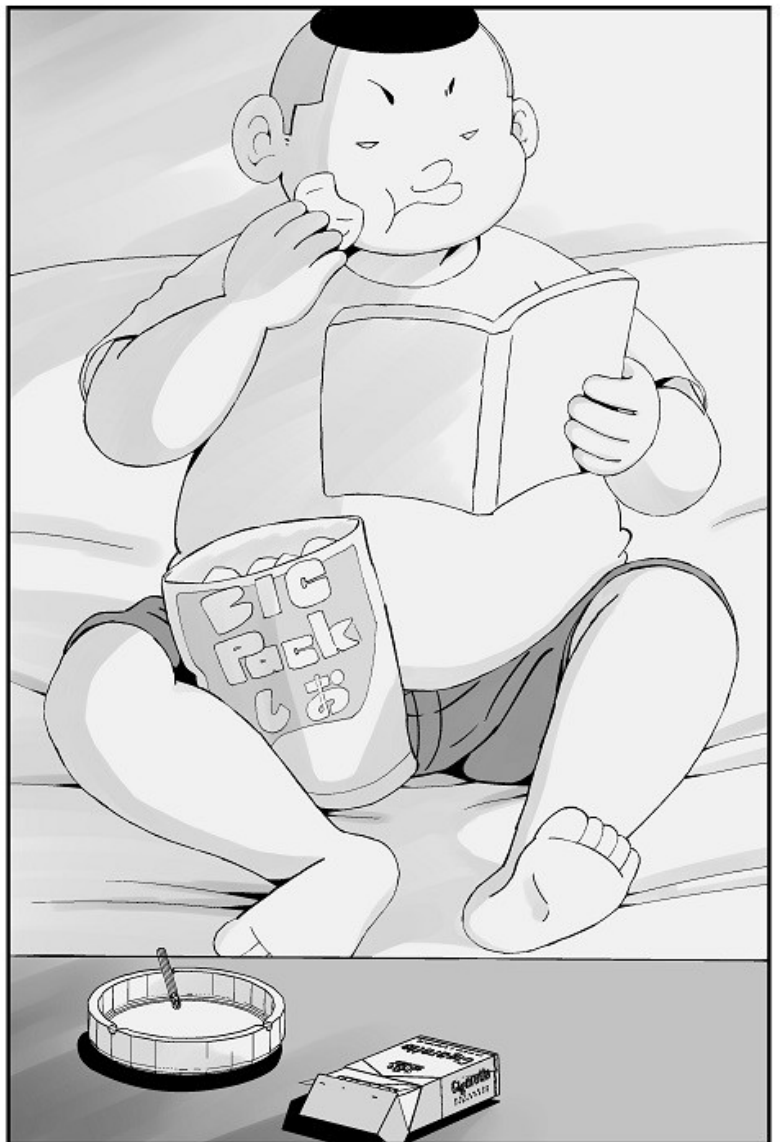
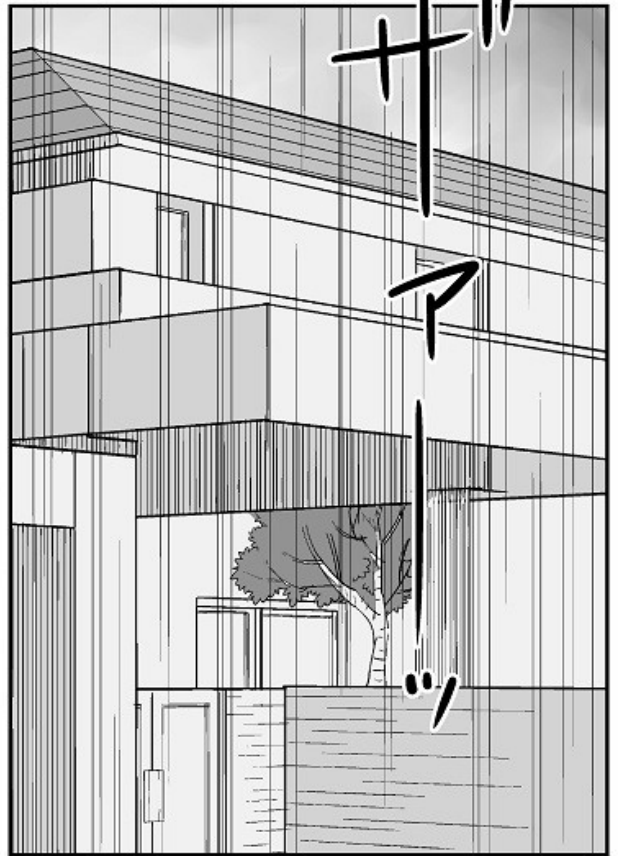
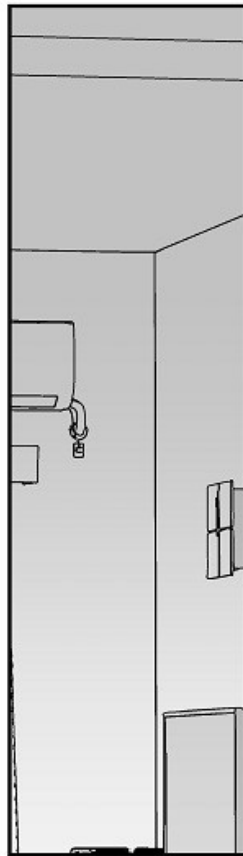






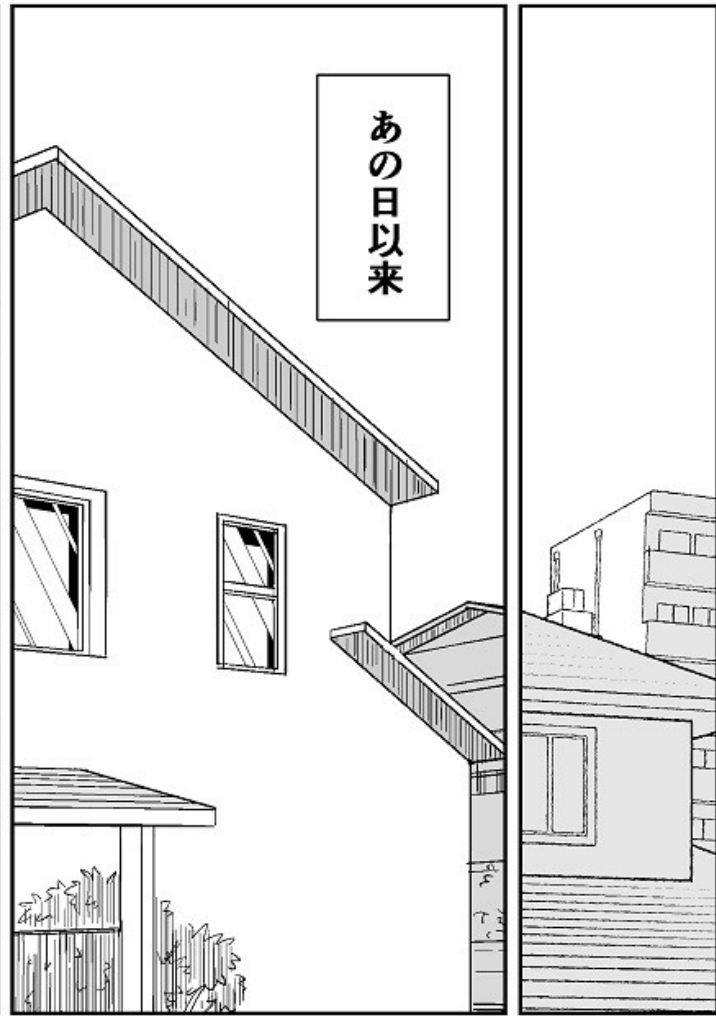




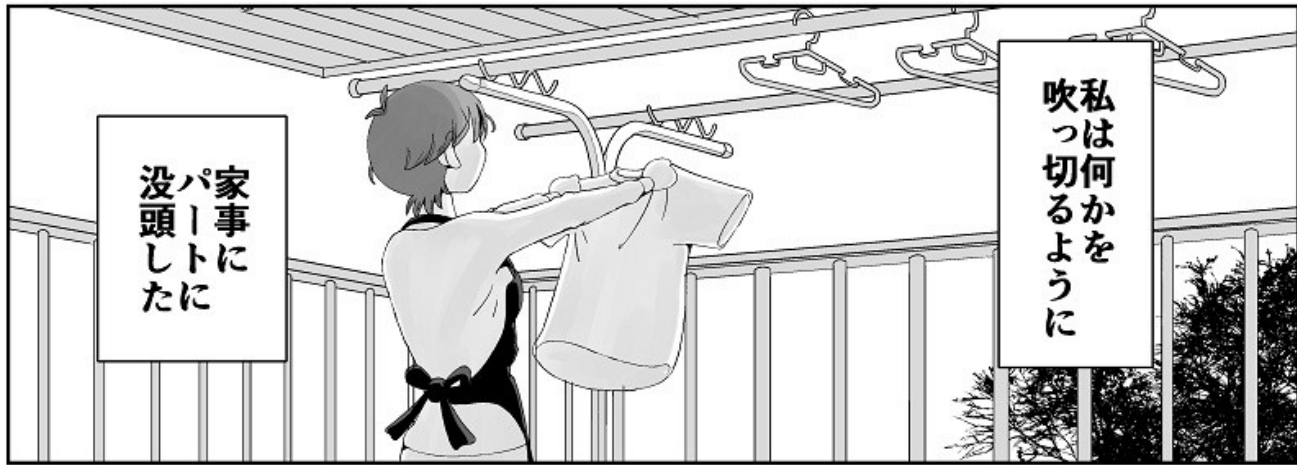




アイツからの
連絡は途絶え



あの日以来



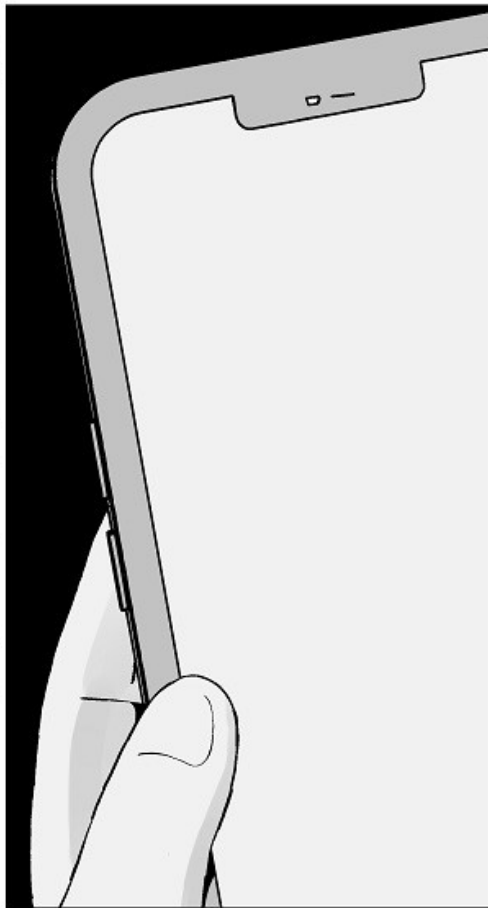
家事に
パートに
没頭した

私は何かを
吹っ切るように



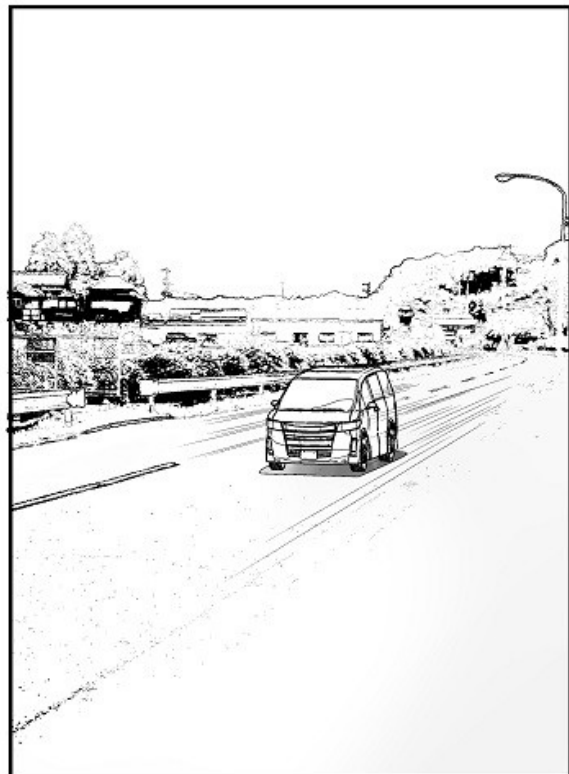
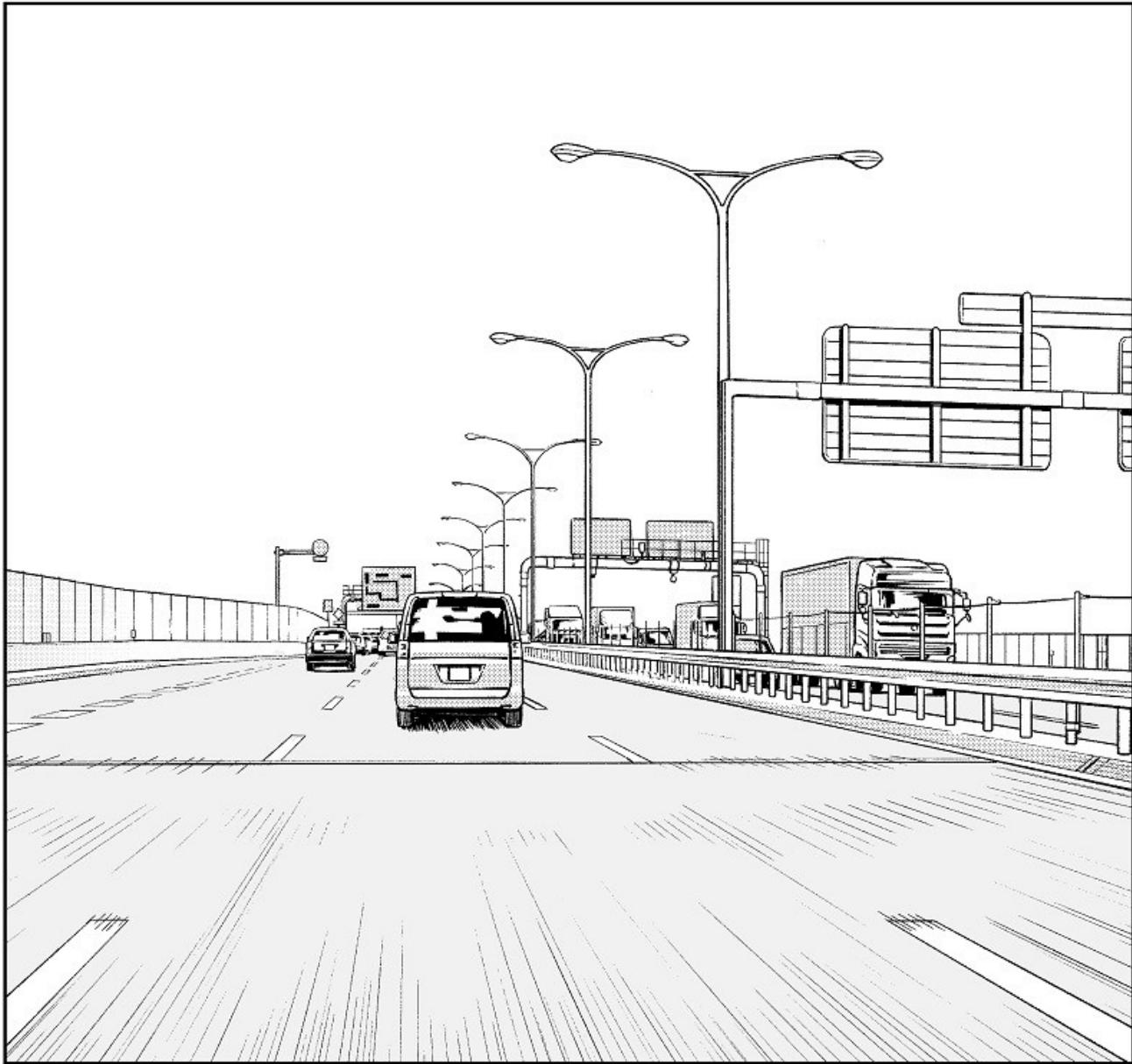
元の自分を
思い出そうとした

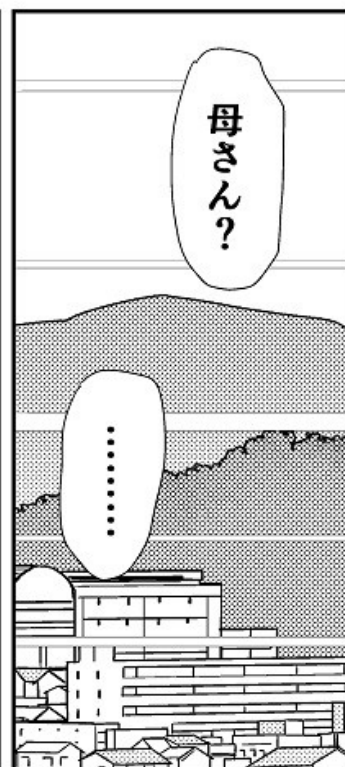
忙しさに
身を置くことで

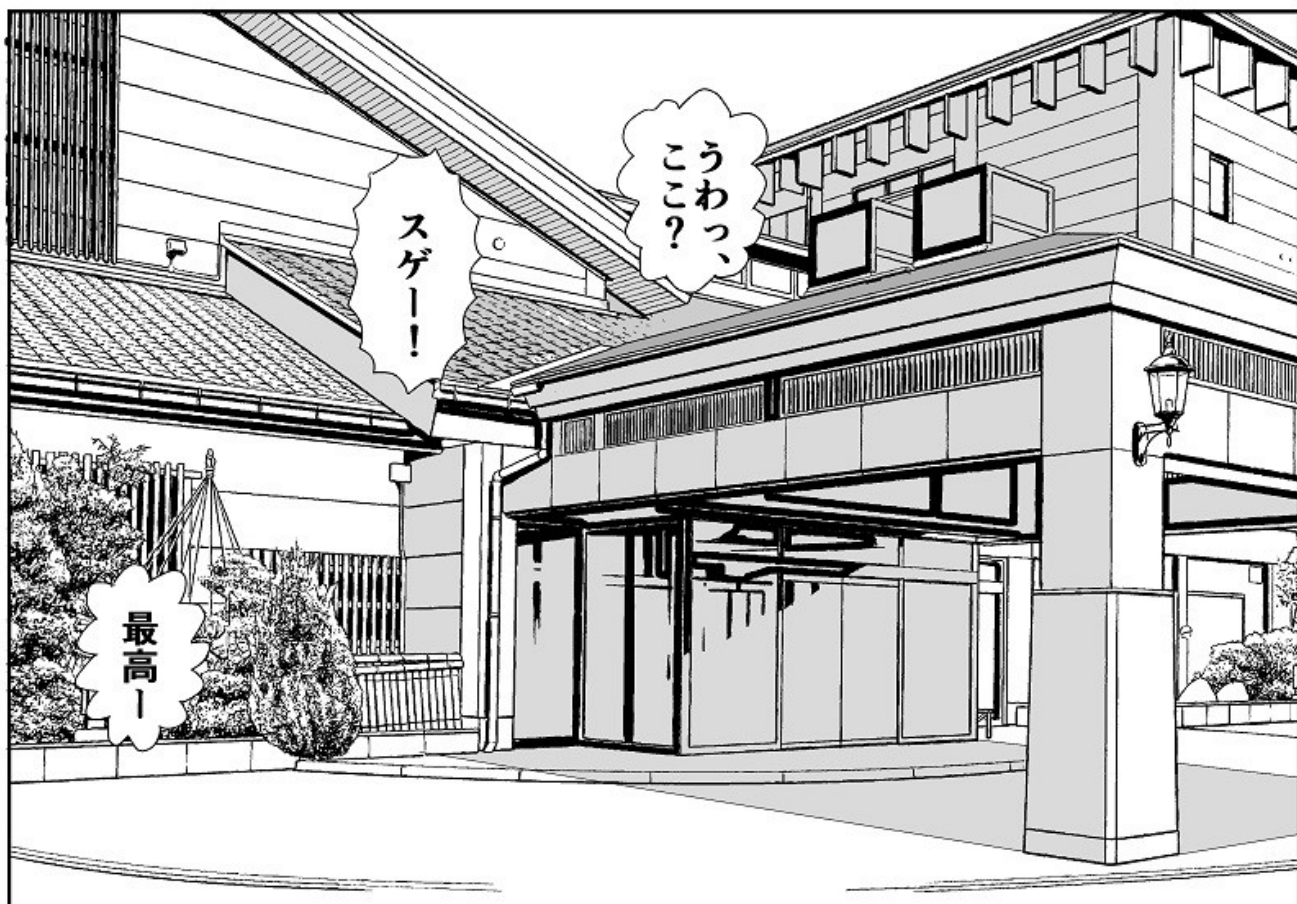


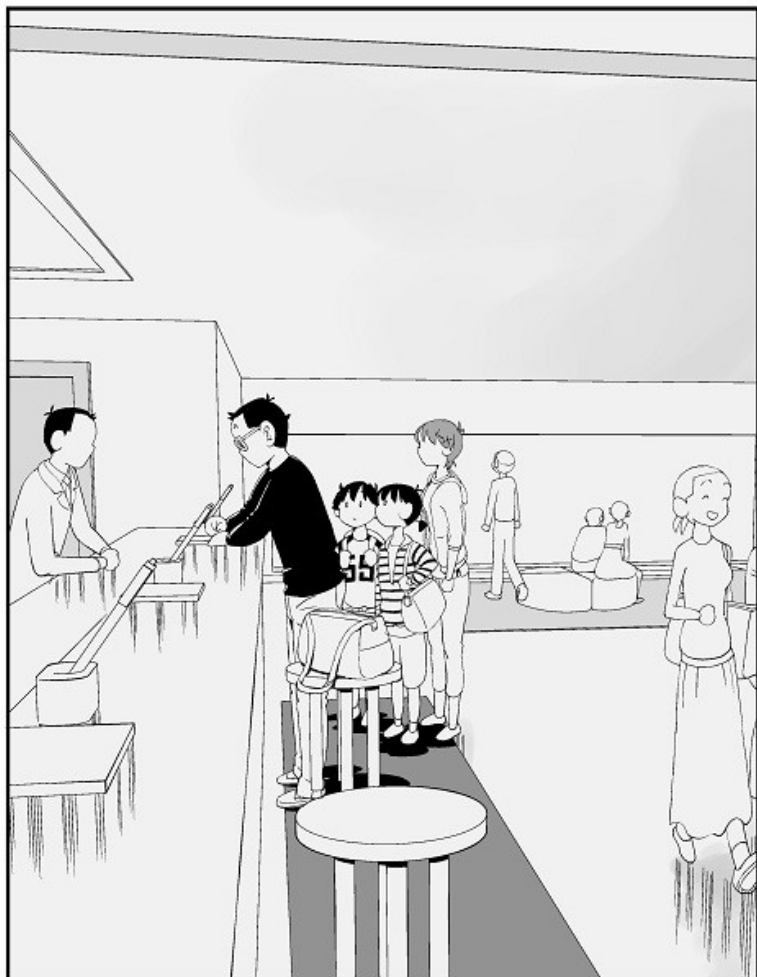
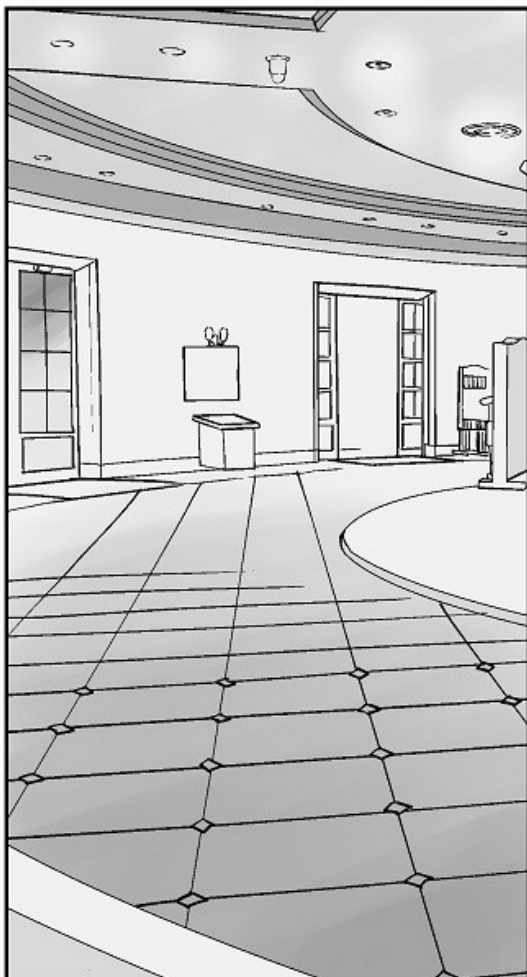
そんな一週間が
過ぎた頃だった

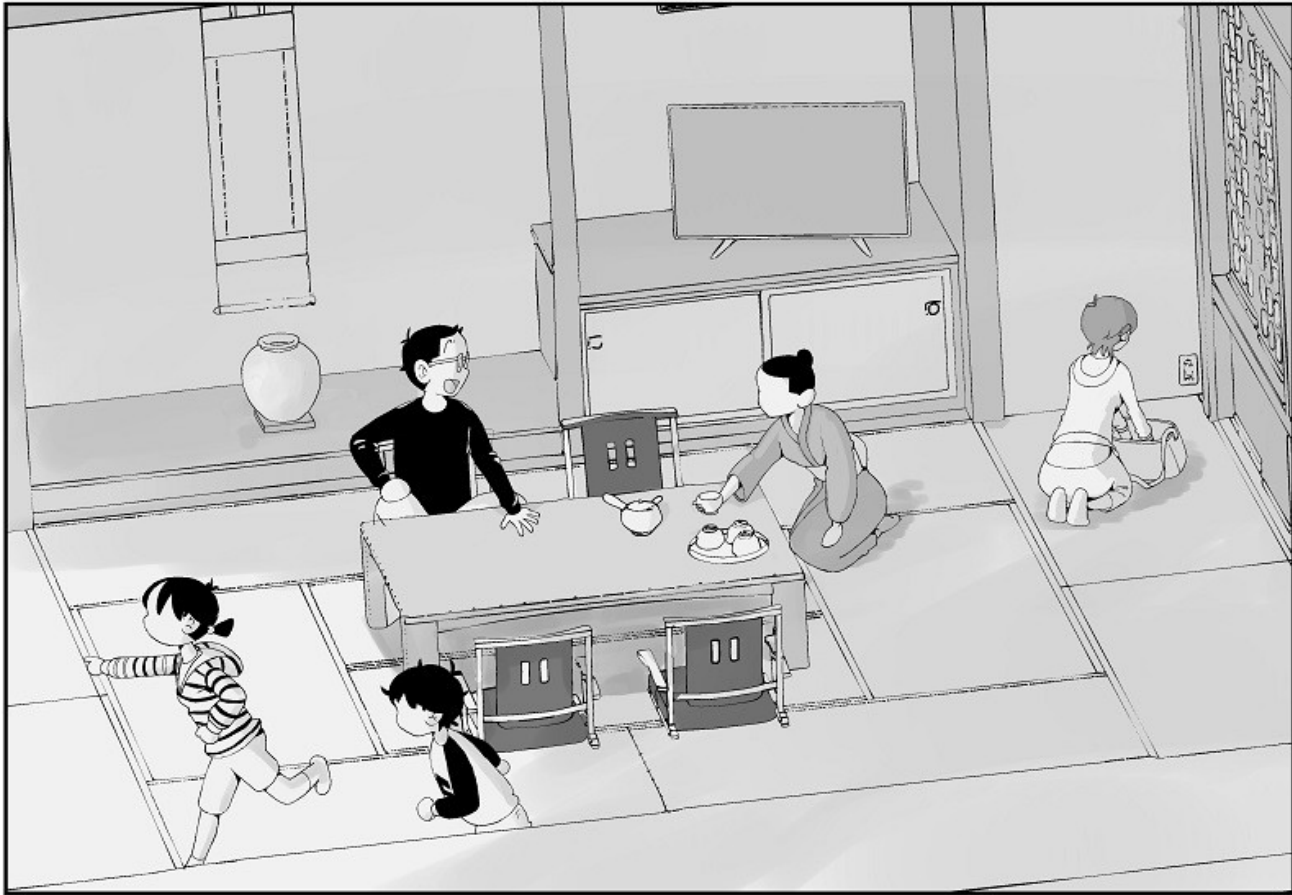












夢のよう
に
幸せな
光景

まるで
アイツの
ことが
遠い日の
悪夢のよう



あ、うんっ

母さん
それで
いいかな？

せいせい
分かった



もう一部屋
のほうは
お子さん
たちで
よろしかった
でしょうか？

ああ、ハイ
それで



アイツからは
ラインすら
来ない

あれから



ひょっとして
あの写真の子と
うまくいったの
だろうか？

結構
可愛い子
だった

香が俺とそなた... たいな
同級生のこの女にコクって



来たって
返す気も
ないけど



そろそろ
風呂行こう

なんかオレ
めんどくせー

あっ
そ、そうね

馬鹿じゃ
ないの
温泉に
来たんだよ？



母さん！
ってば！

えっ？



フン
どーせ
断られるに
決まってるに

母さん！



アイツ
行動力だけは
あるのよね



大浴場

どうやって
告白するつもり
なのかしら

でも…



まさか
私のとき
みたいな
卑劣な手
を使つて

普通あんな
デブ
絶対相手に
されないけど



そ、
そんなこと
ないよっ
ほら、
あんまり
いい湯だから

疲れが
たまつた
たふふっ
たふふっ
骨休めしてね

そうだ
今はもう
全部忘れよう

全部忘れて
この幸せを
噛み直めよう
やり直すのだう

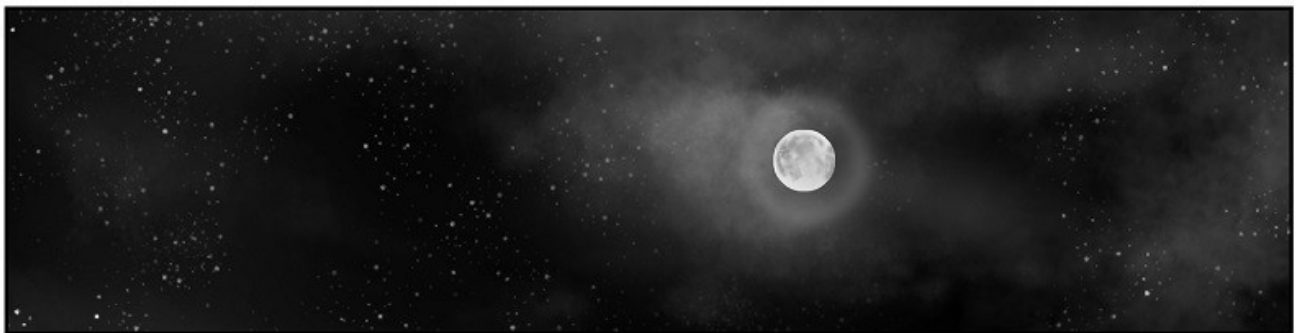
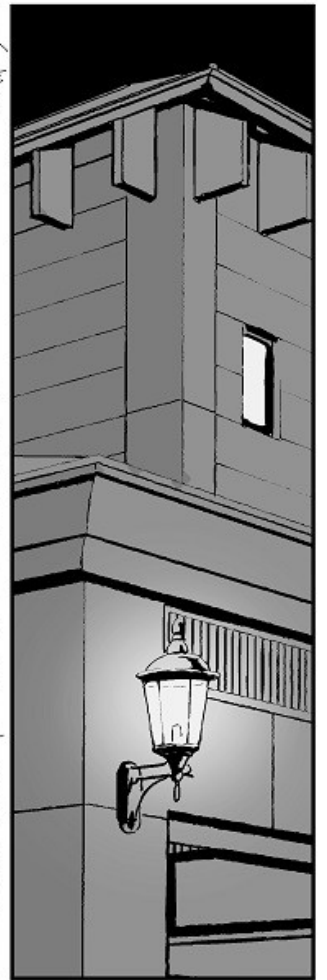


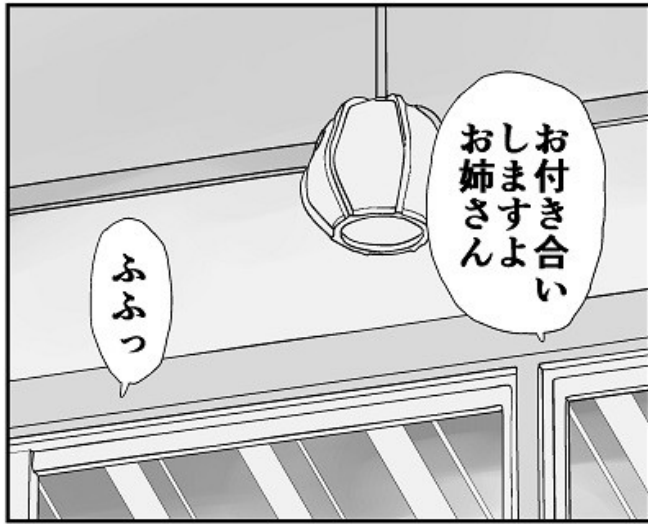
おかしさん
つてば!

えっ?

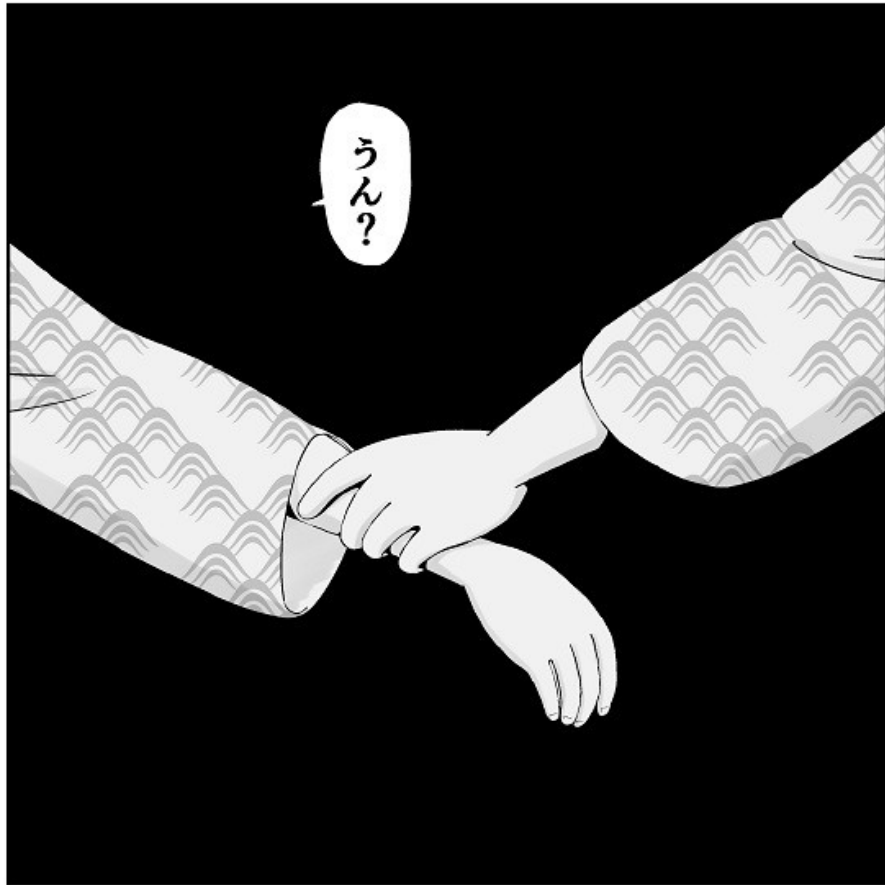


もう
また
ポット
してる
お母さん
お母さん
具合でも
悪いの?



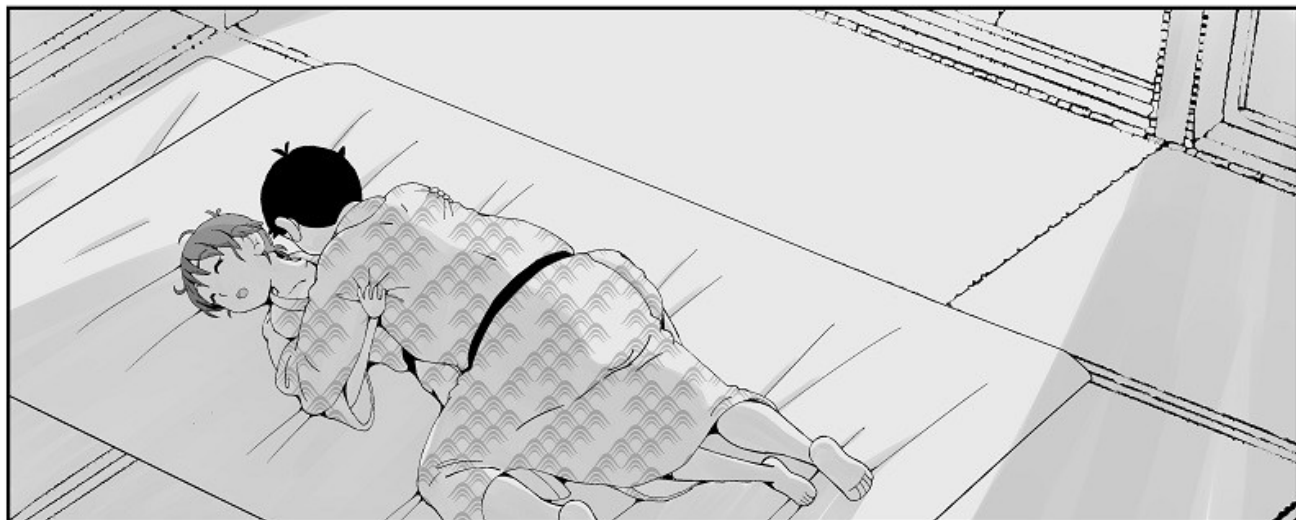


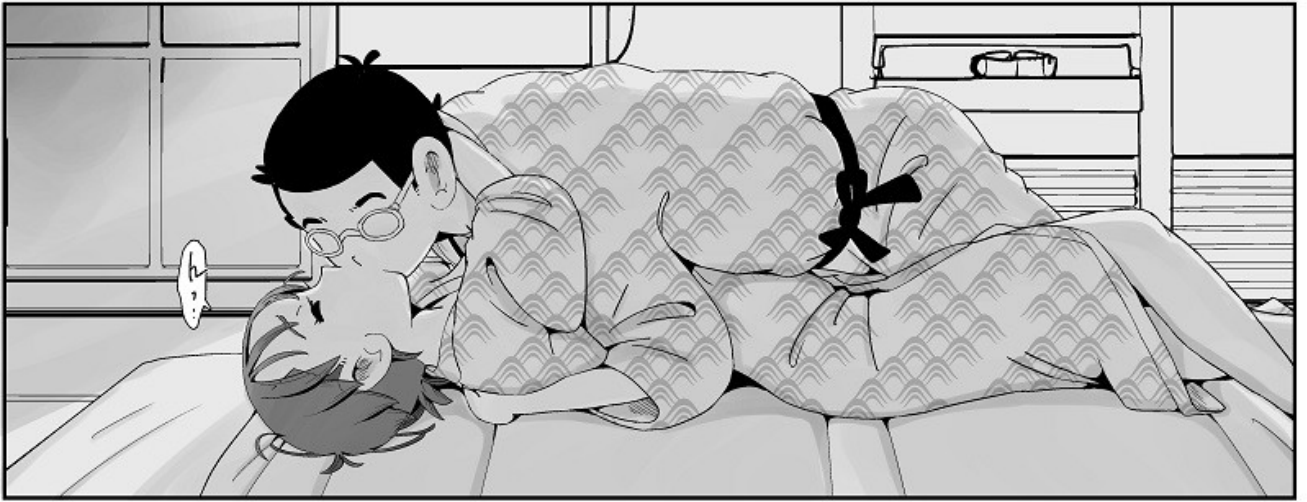




付き合って
半年も過ぎていて

今どき
珍しいくらい
でも優しい人
だった







こういう
ことなんだ

愛する人につ
抱かれるって



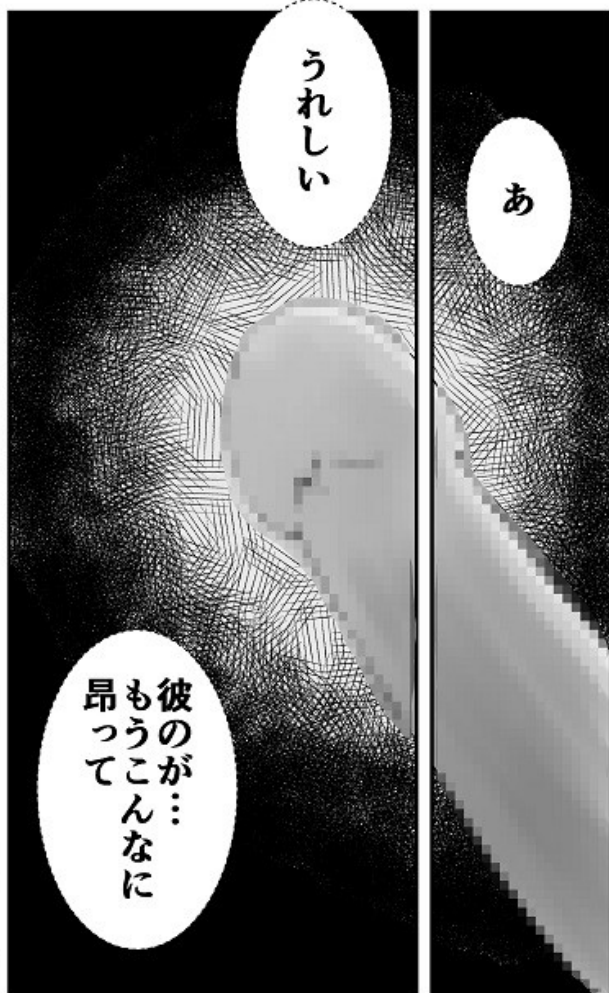
あたたかい

なんて暖かくて
安心するのだろう



来て

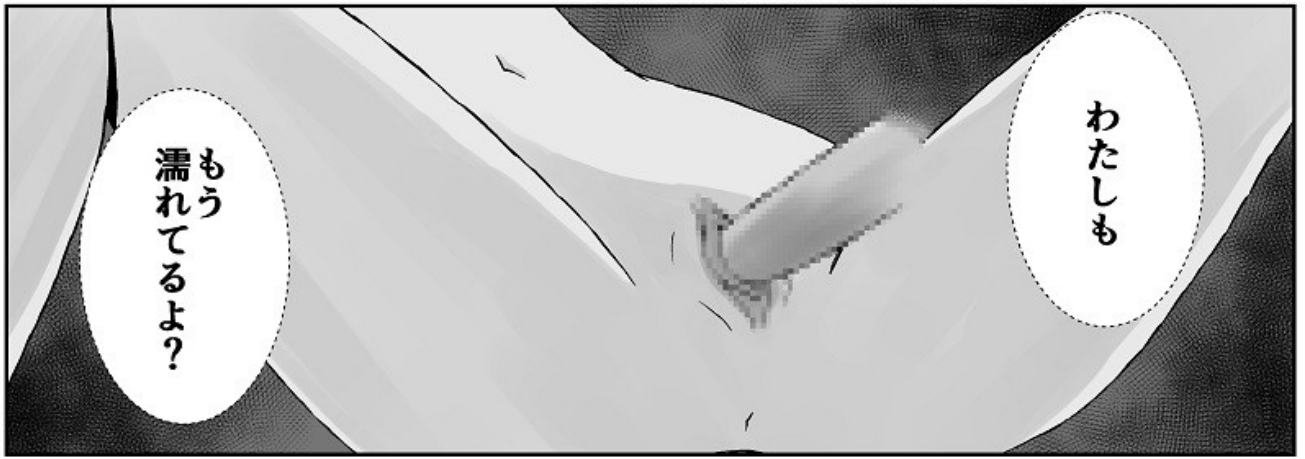
ああなたが、
ほしい

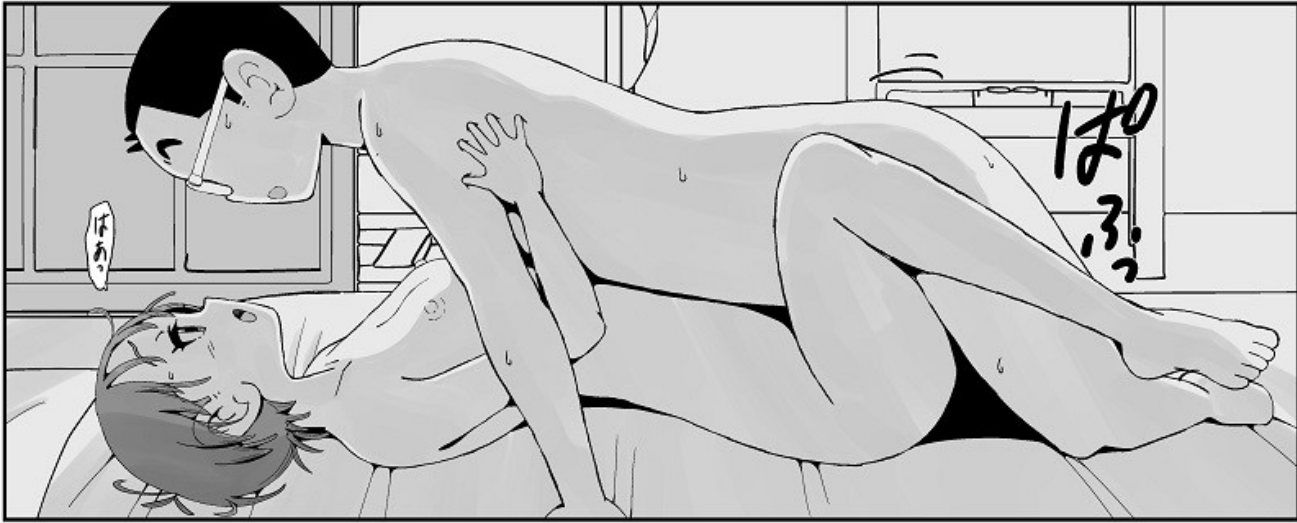


うれしい

あ

彼のが…
もうこんなに
昂って













愛する人に
久しぶりに抱かれて
わたしは幸せだった

あんな

あんな奴の
ことなんて

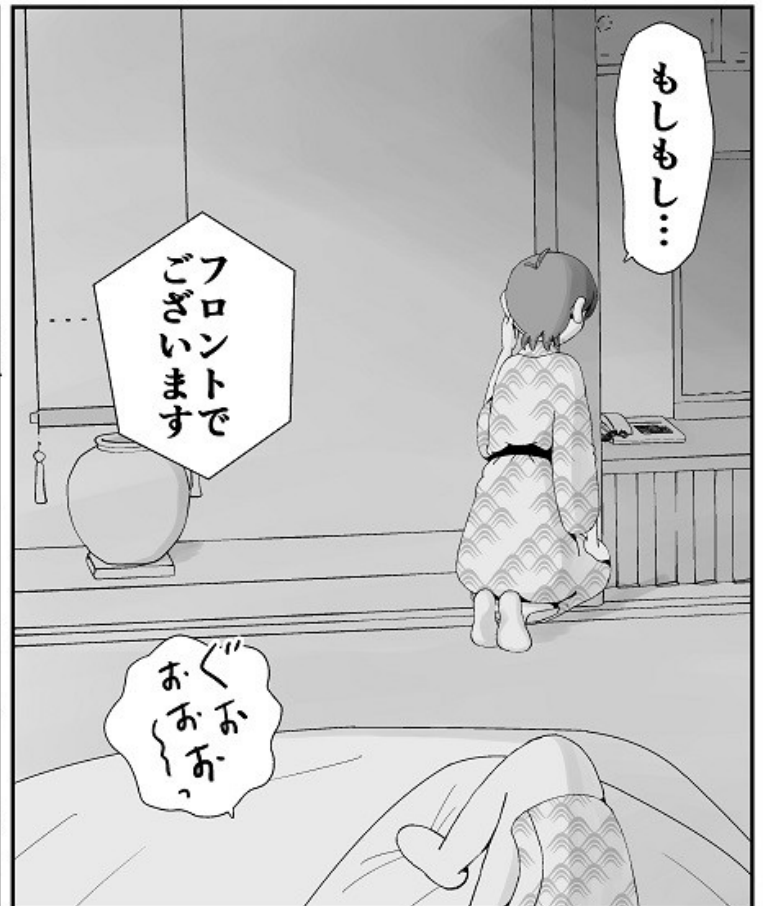
あんな奴
大嫌いよ！

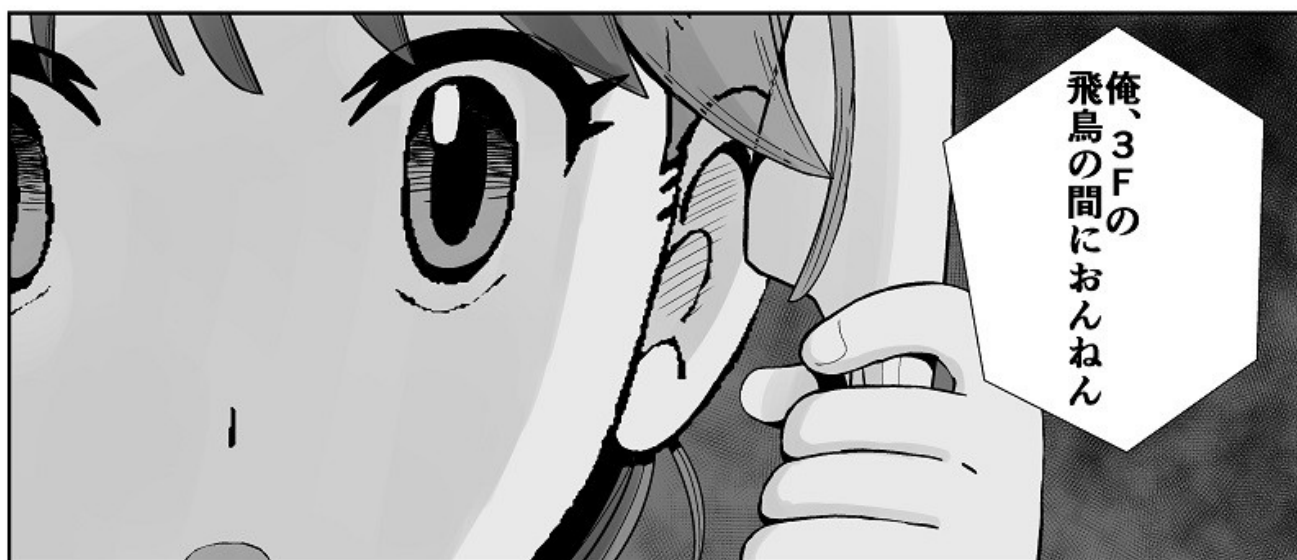
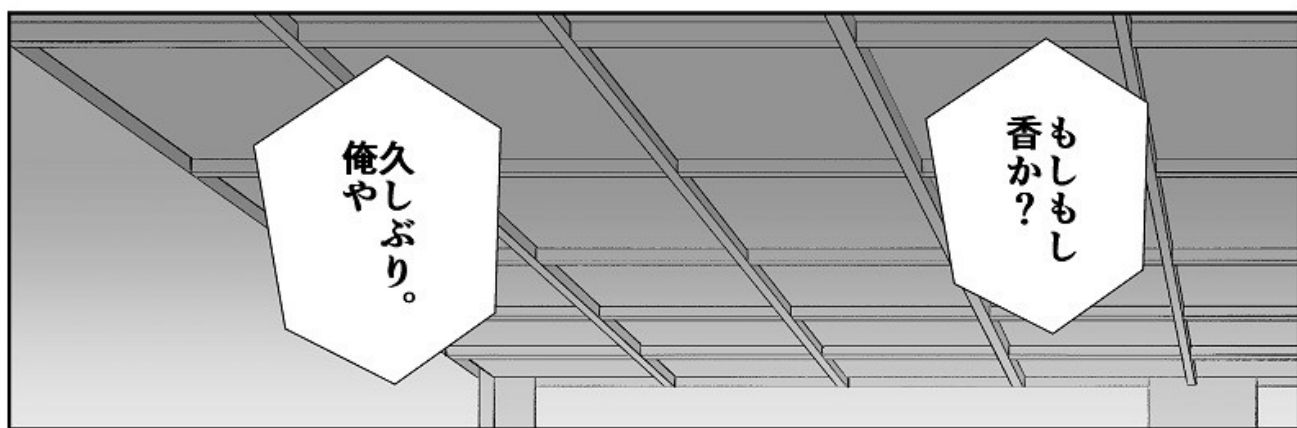
わたしはははは
わたくしは悦びに
わたしの悦びに
肉体的な悦びに
溺れるよな

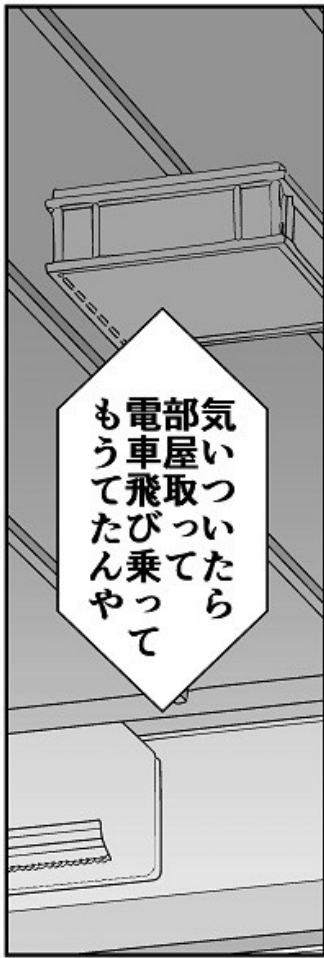


わたしは
夫を愛している

これは本当
わたしは夫を
愛しているわ！







気いついたら
部屋取って
電車飛び乗って
もうたんや



やぶぬま温泉の
ホテルもほとんど
うちの系列やねん

もう何や
居てもたつても
おられへん
ようなつてな



香、連絡取れへんし
ケンゴに聞いたら

「サトっちなら
やぶぬま温泉
行くみたい」
言うやんか



俺はもう
そんな手えは
使わへんから

勝手に俺が
朝まで待つ
だけや

ぐあぁ
あぁ
あぁ



来てくれるか
どうかは
香の自由や

言うとかけど
これは脅しちゃうから
心配せんでええよ



香とは
キツパリ別れる

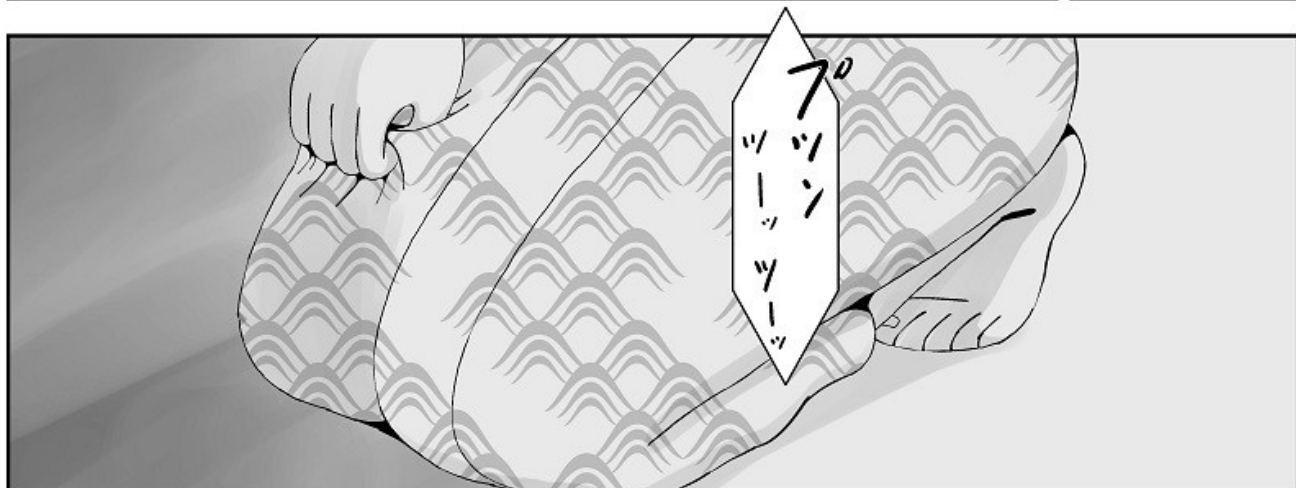
もし来て
くれへんかったら



ほなな

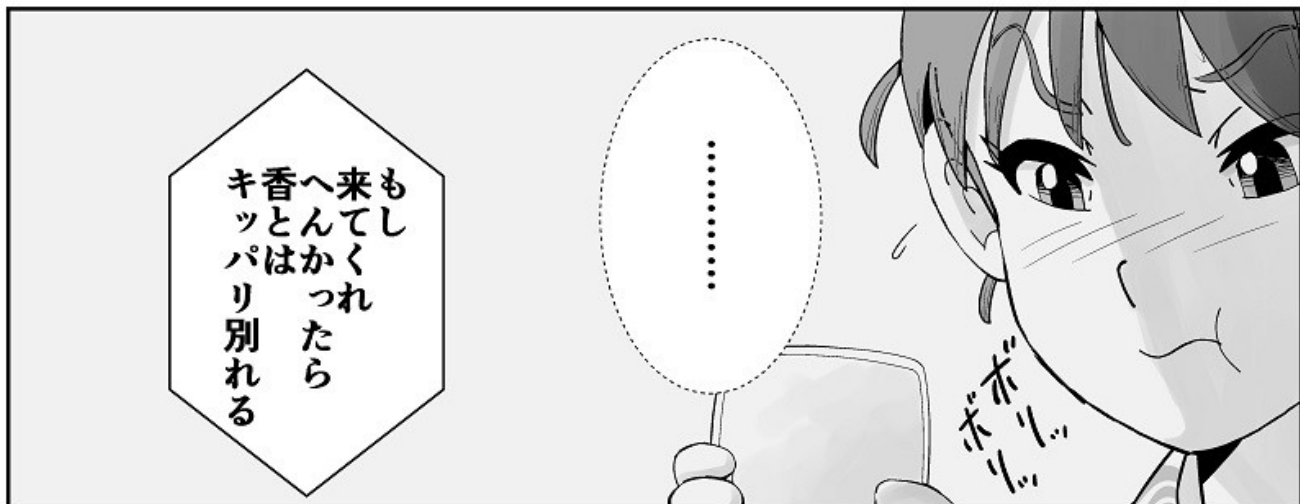
俺も男やから
二言はない

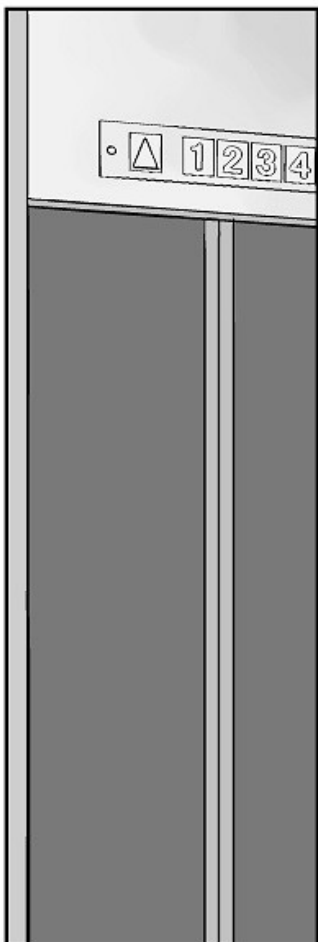
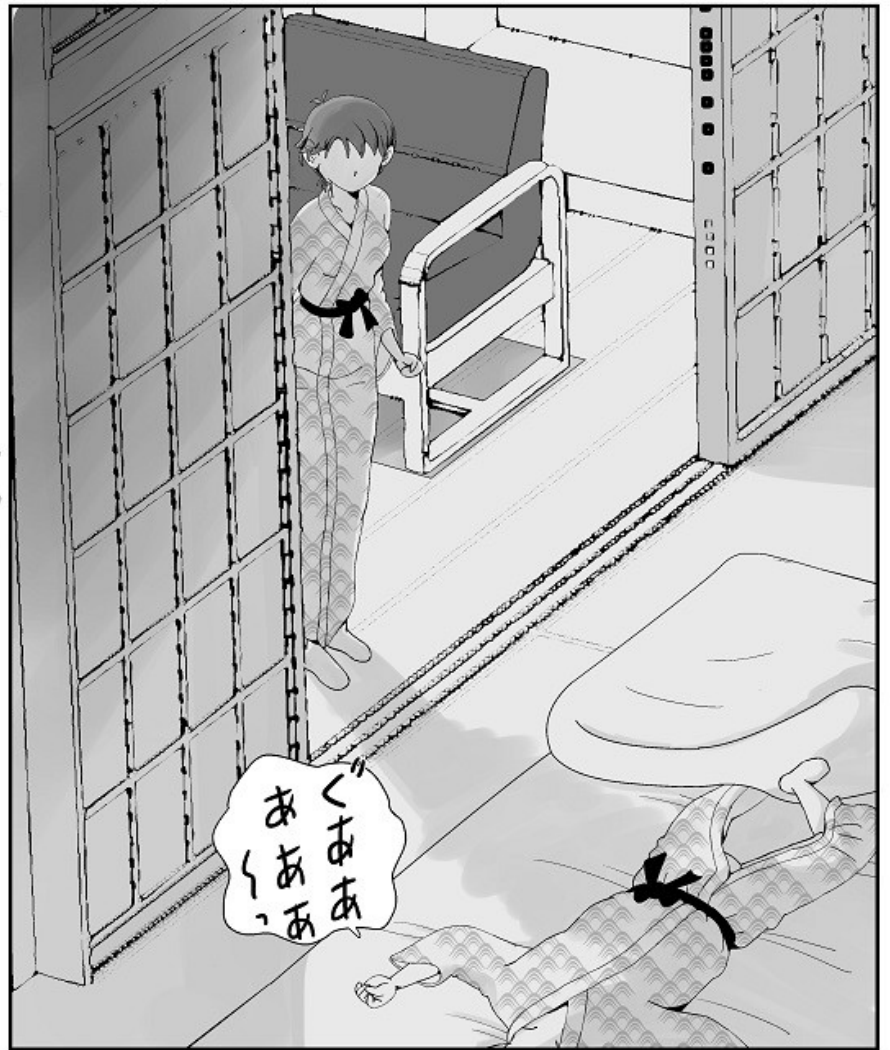
3Fの飛鳥の間や

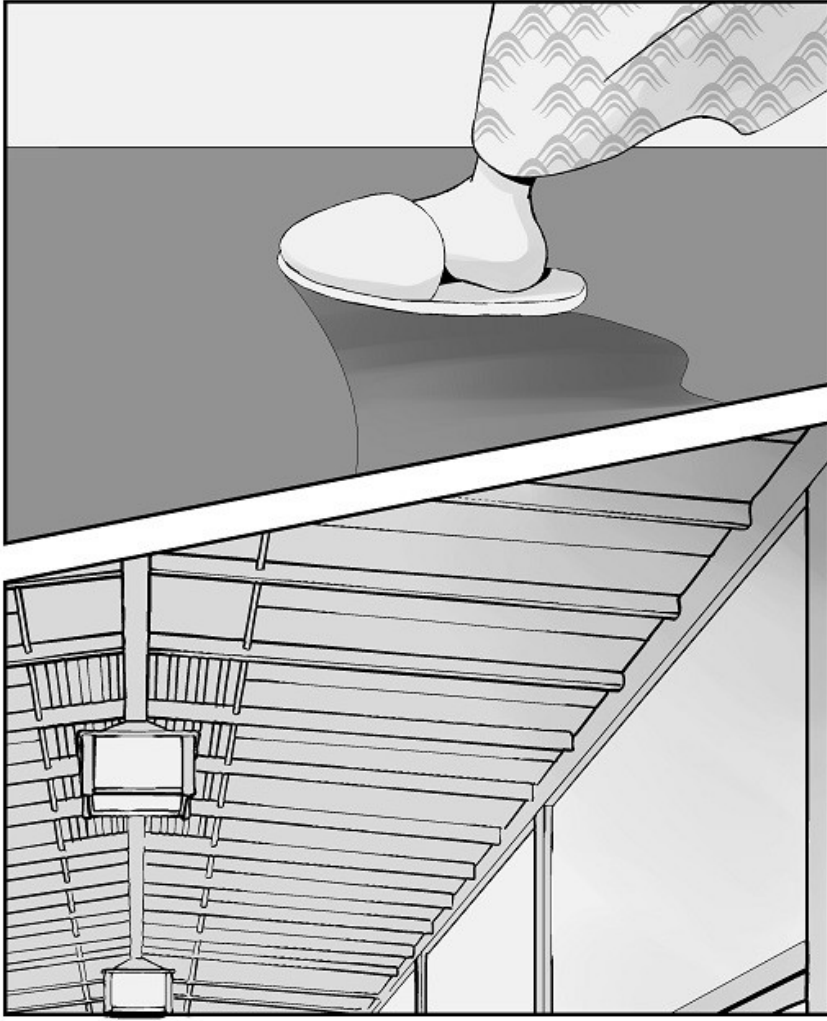


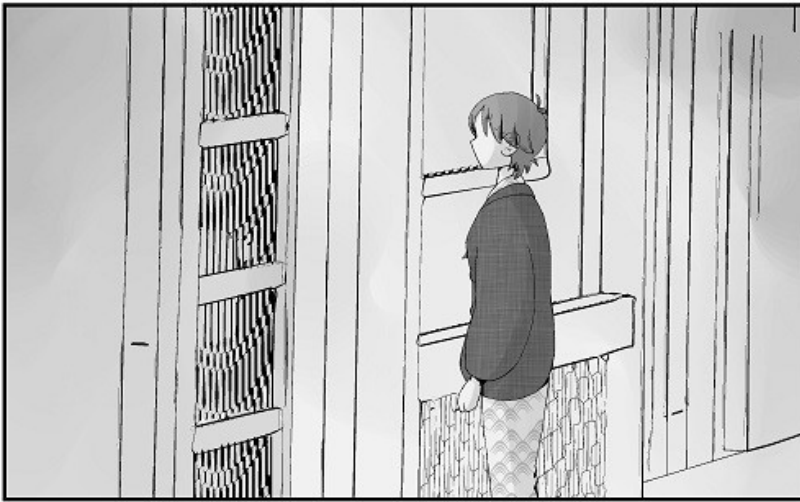
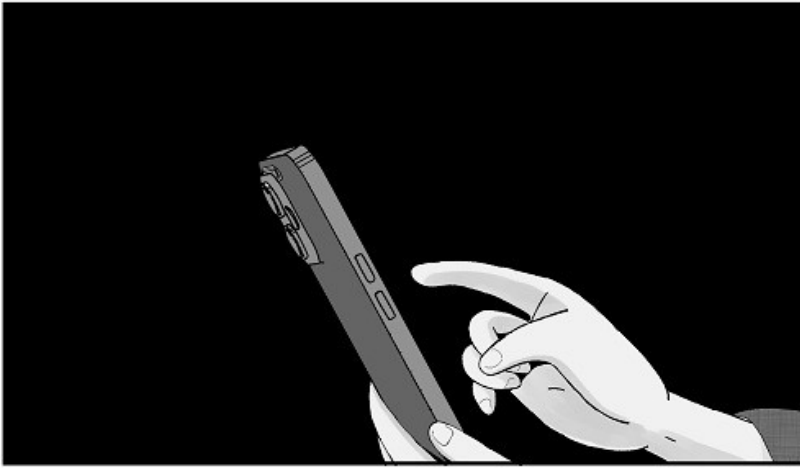
フ
ツ
ツ
ツ
ツ

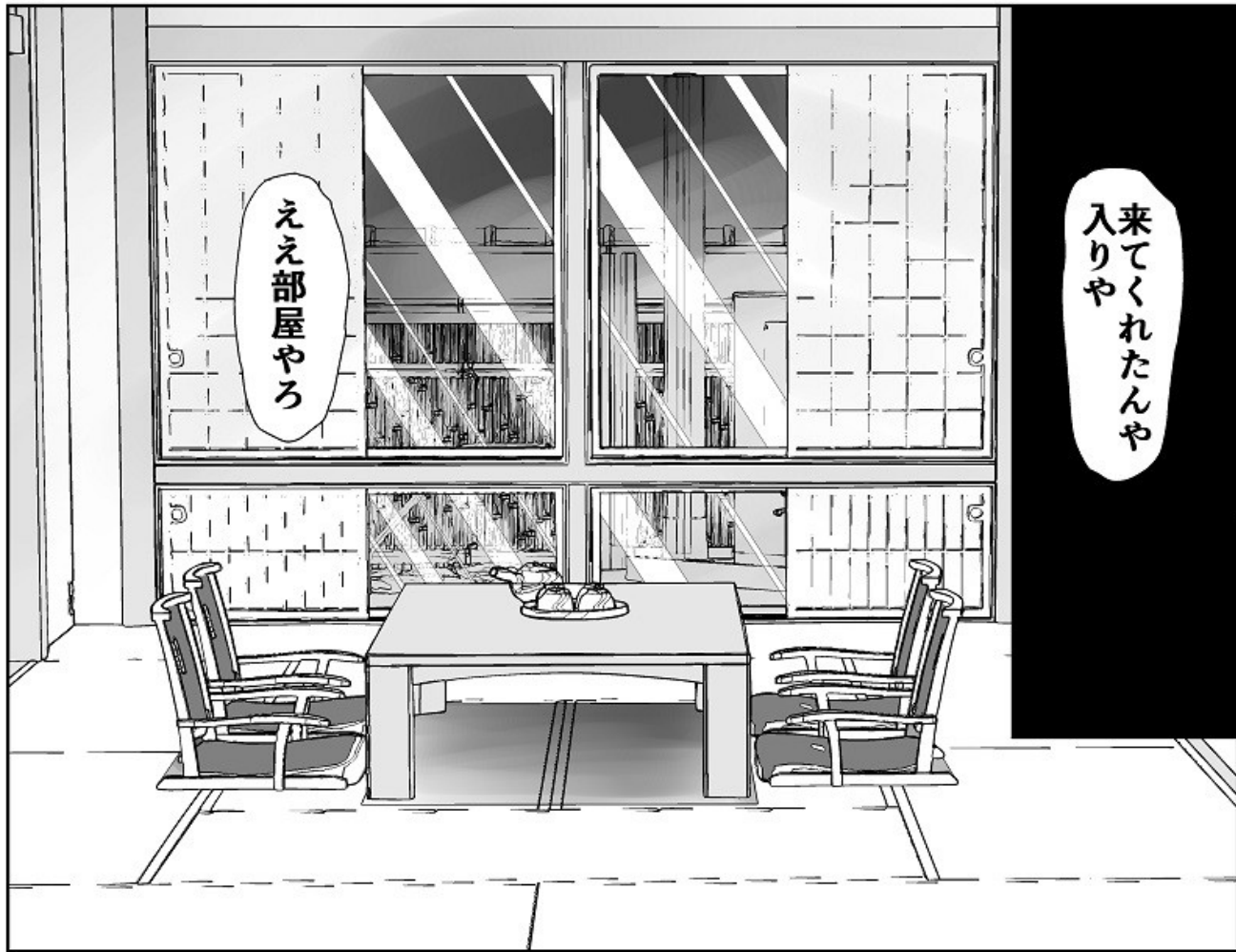






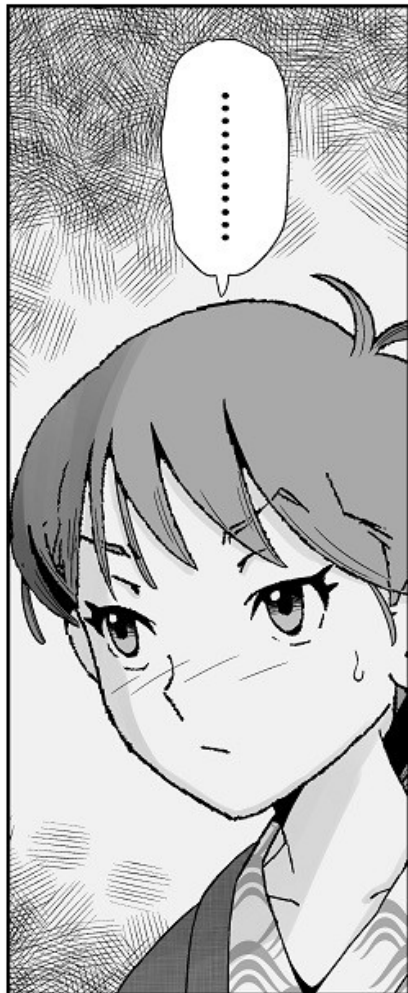






ええ部屋やろ

来てくれたんや
入りや



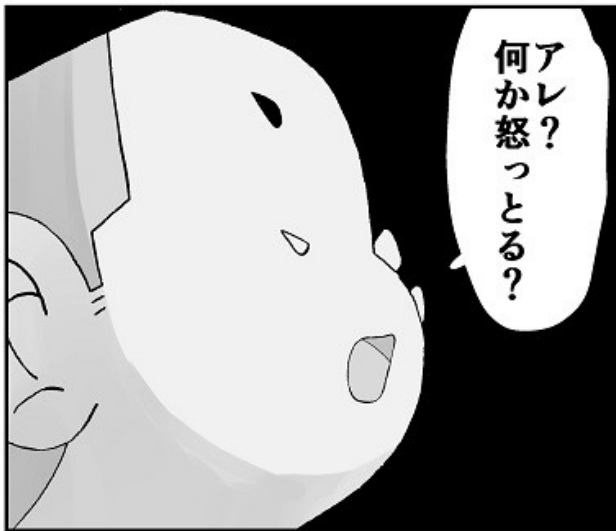
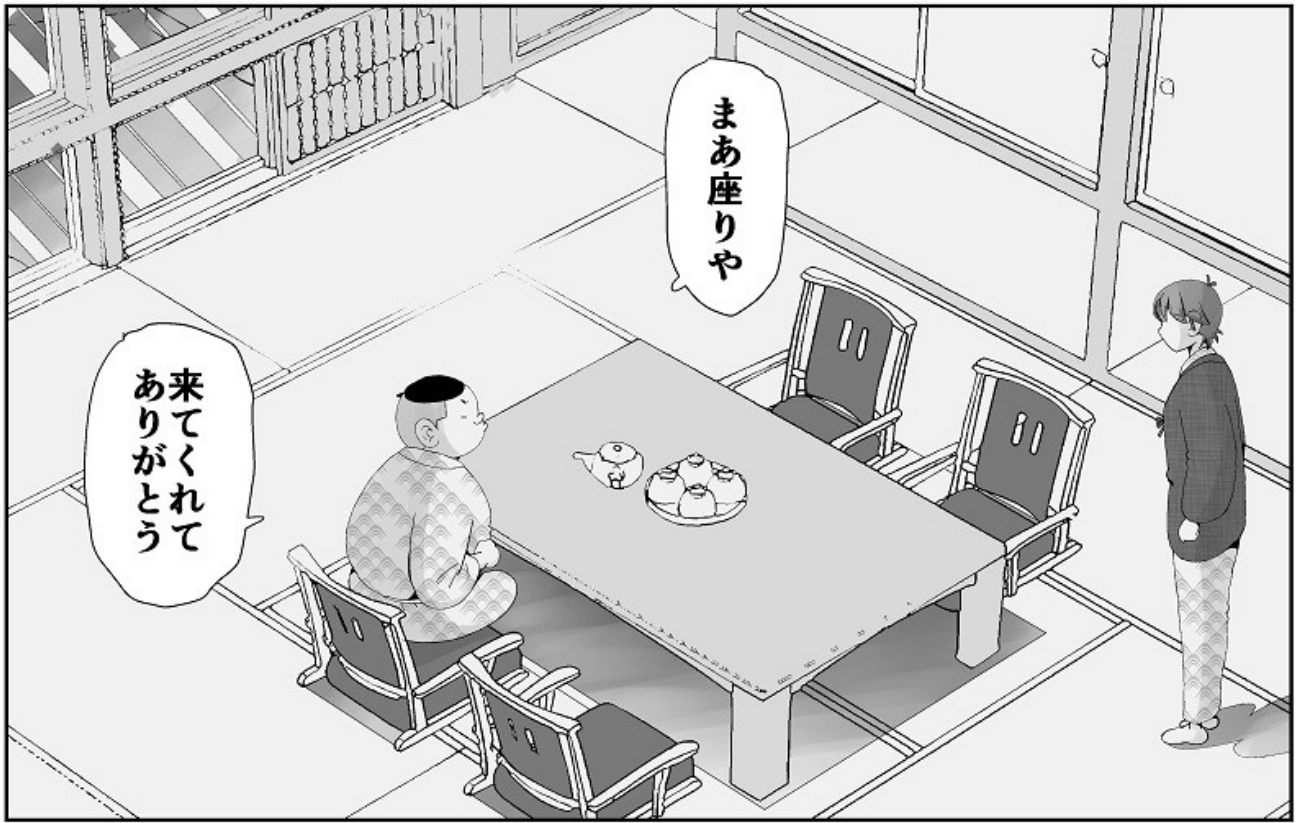
.....



寢室も広いやろ？



部屋付
露天風呂も
あんなんで





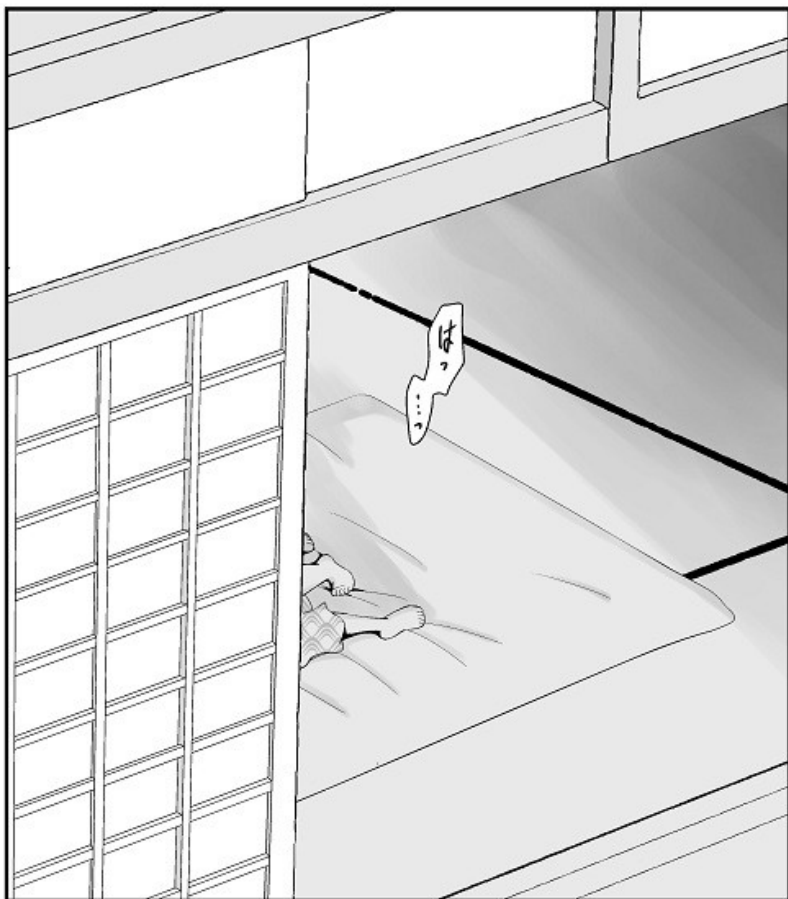
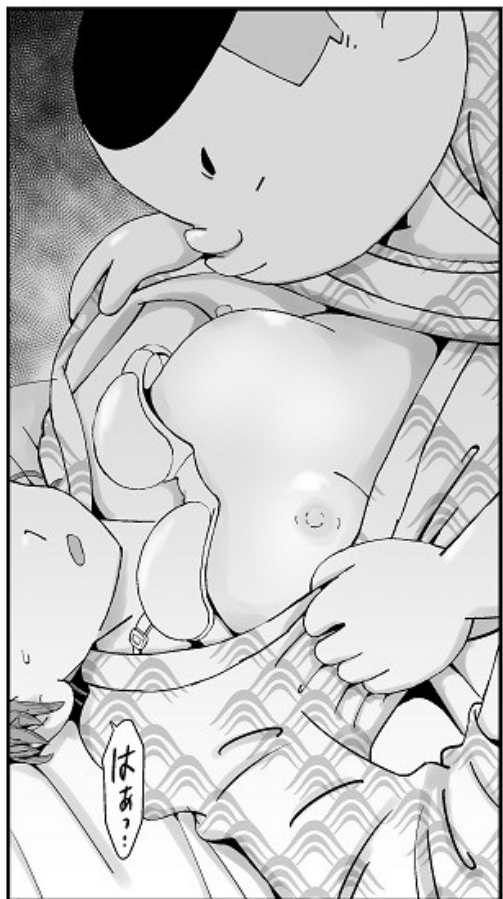


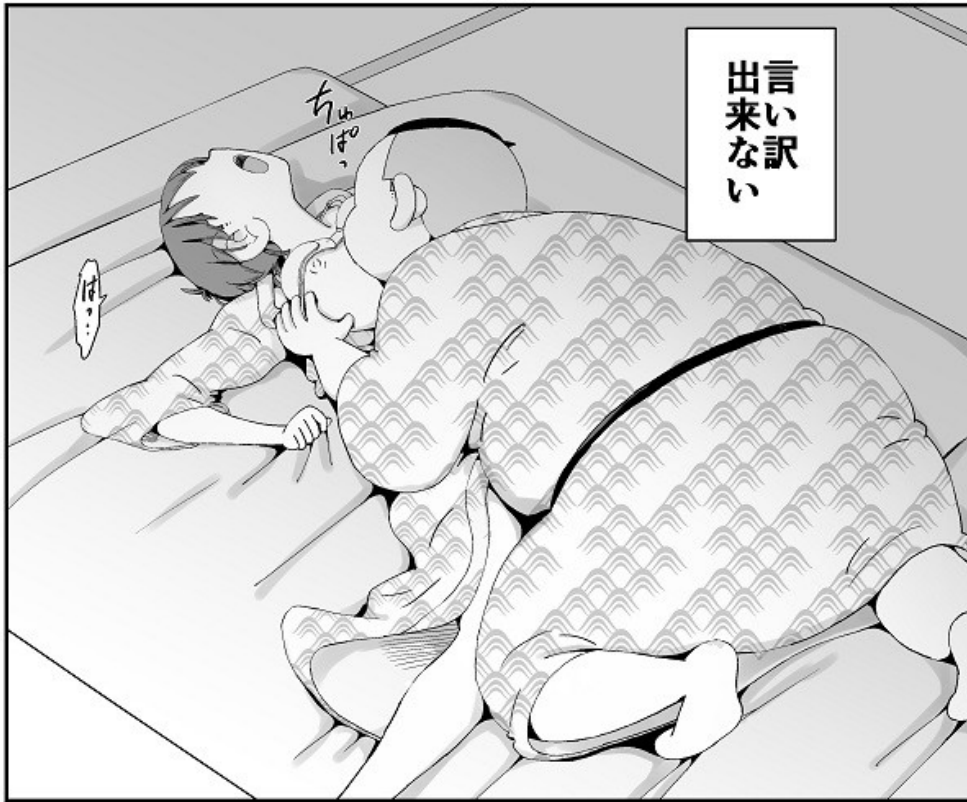




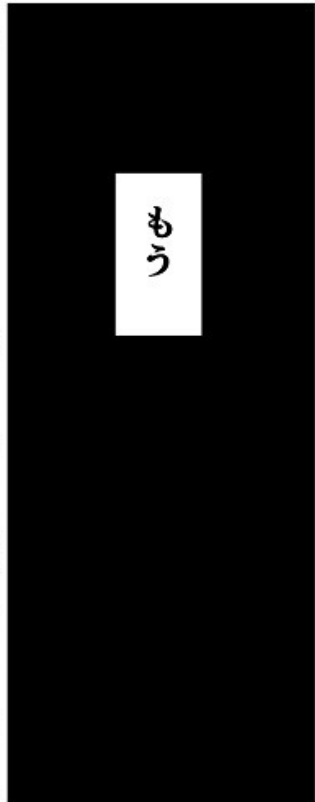








言い訳
出来ない

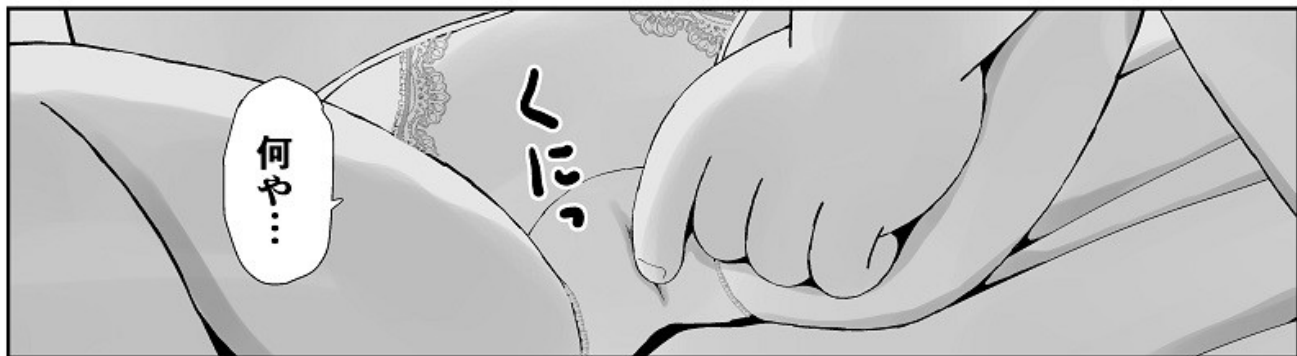


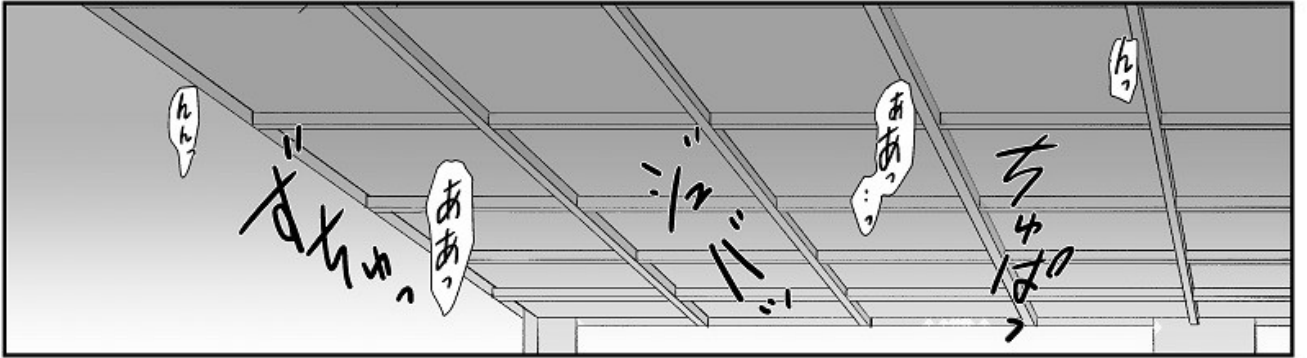
もう

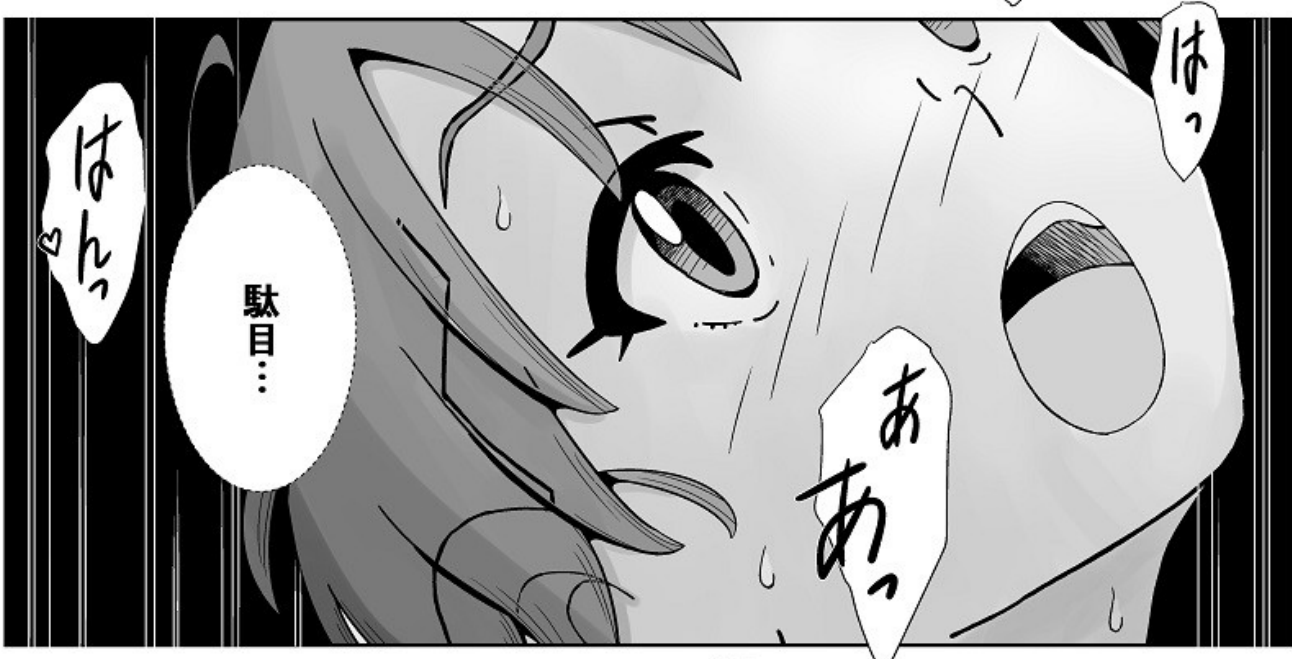
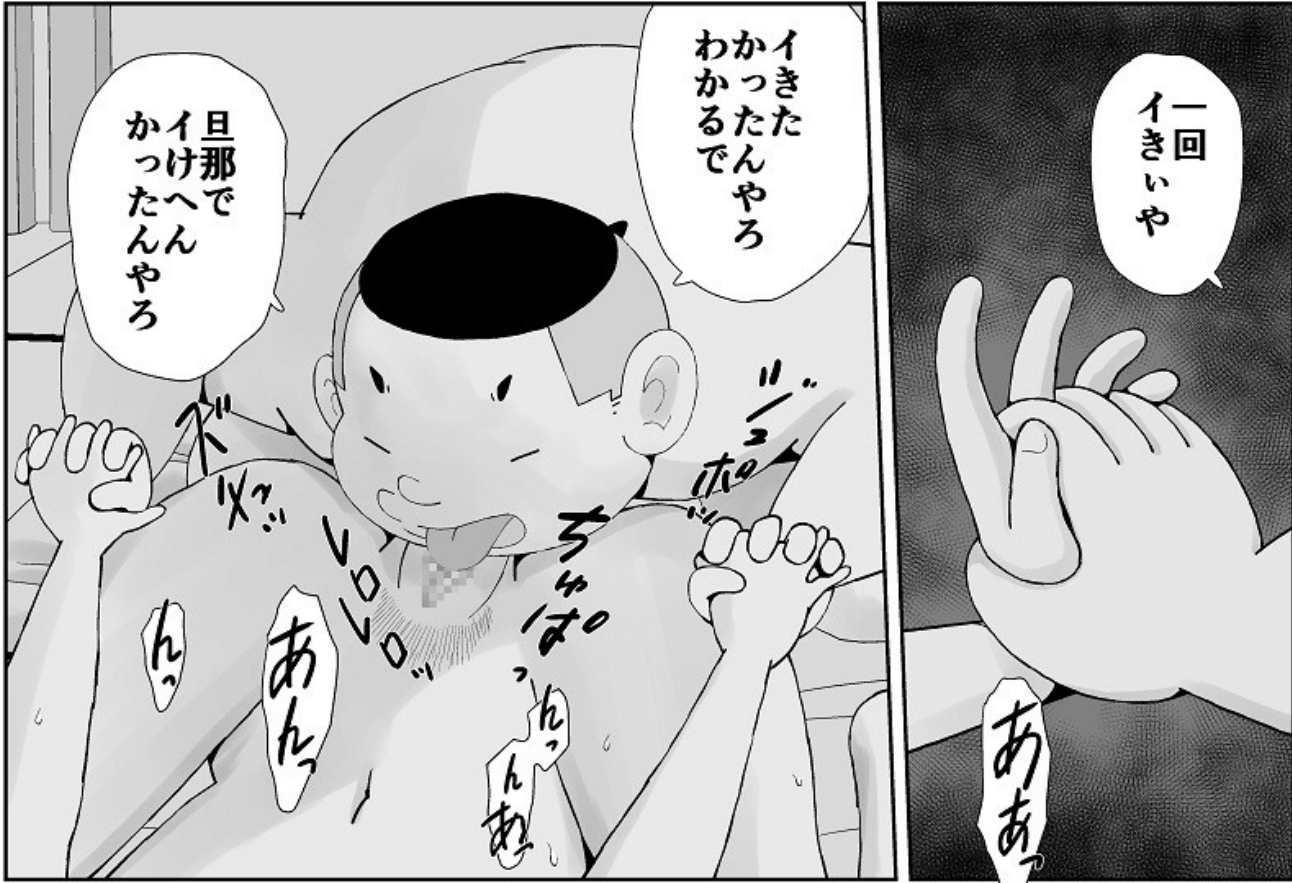


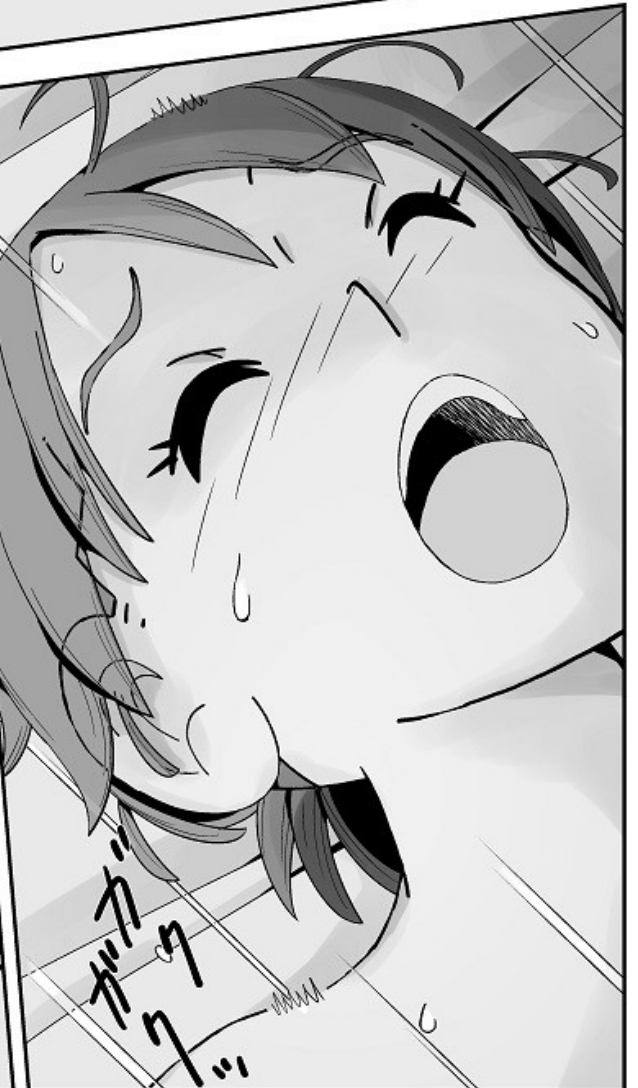
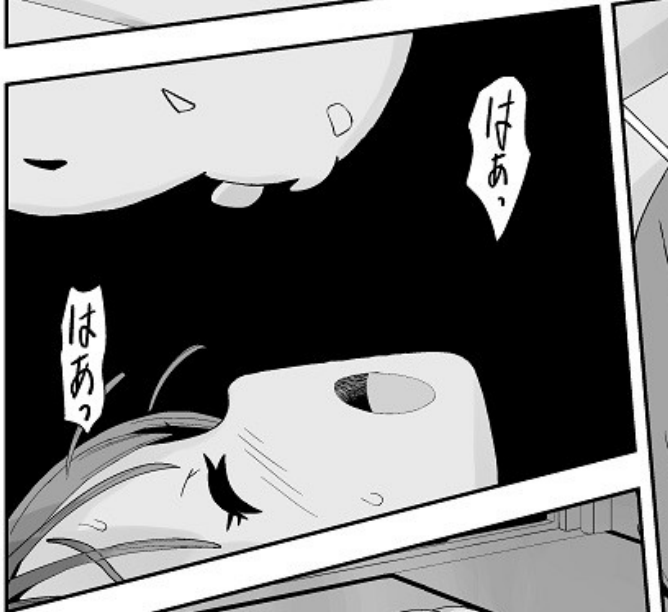
最後の
チャンスを

私は自分から
手放したのだから











そんな
何とでも…

サトっちの
部屋と
間違え
ました
言うてっ

…オバサン
にもっ

挨拶さして
ください
とでも…
おおうっ
…言うてっ

ああそれ
ヤバイわ、香っ

携帯にっ

…かけな
かったのはっ

ああ
ああ

どうしてよっ

…香がっ
疑わ
れたらっ

こ、困るやろ

だいたい
香っ…
携帯、でっ
出えへんやん



せやから
やなっ…

ああ、あかんっ
あかんて!
口ん中レロレロ攻撃っ
…あかんっ!



あ、
当たり前や
…ううっ
好きな女の
ためならっ

…一念っ
岩をいっ
通すやでっ!

私が
ここにっ
…ばら
かんな
かったら

終わりに
すろっもりっ
レロッ…
でっしたん

そら、
そうよ、うっ



よく
そんな
にっ

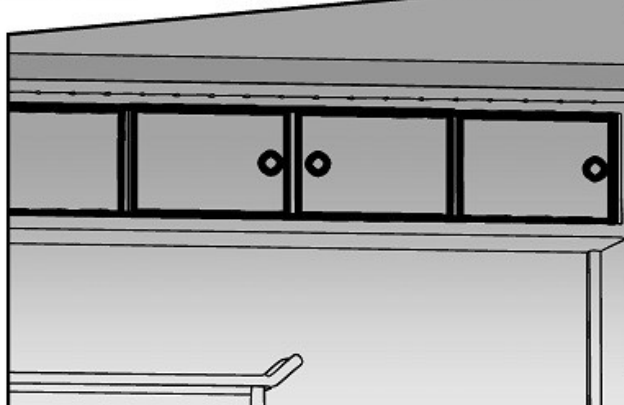
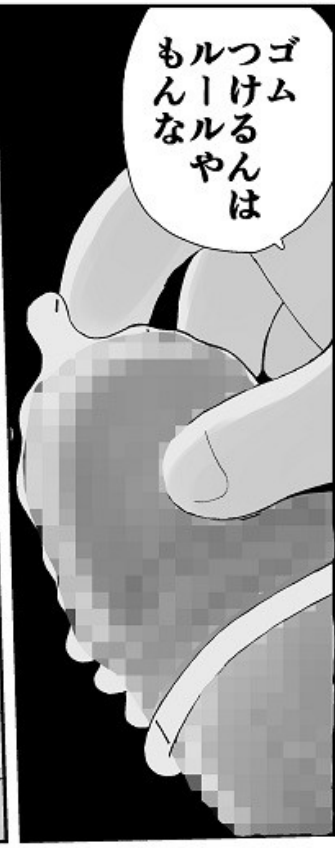
…いつも
…いつも

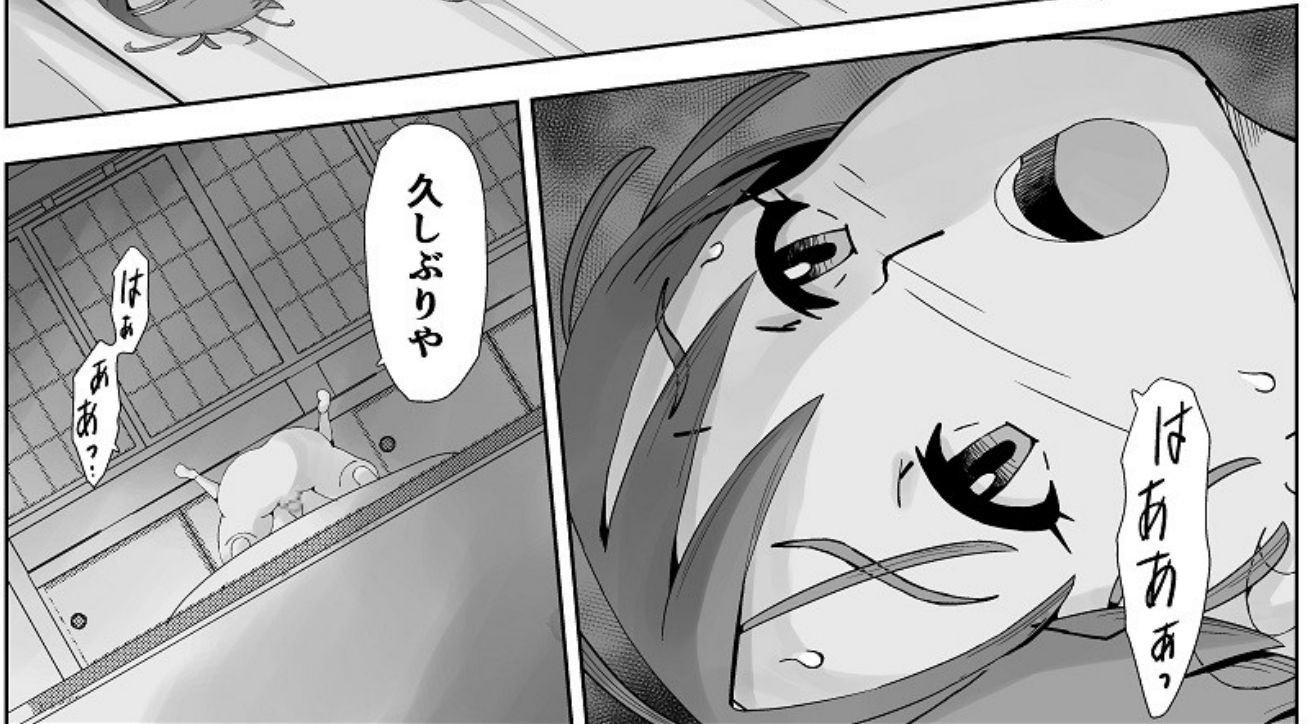
悪知恵が

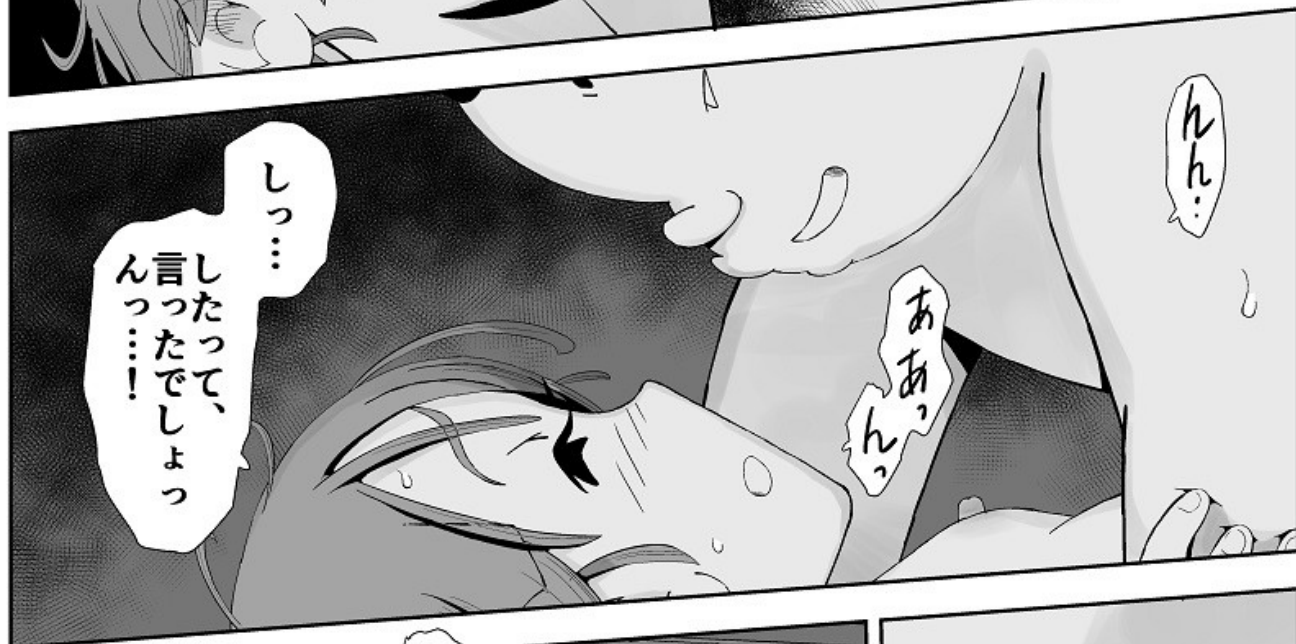
働くっ…んっ
わねっ

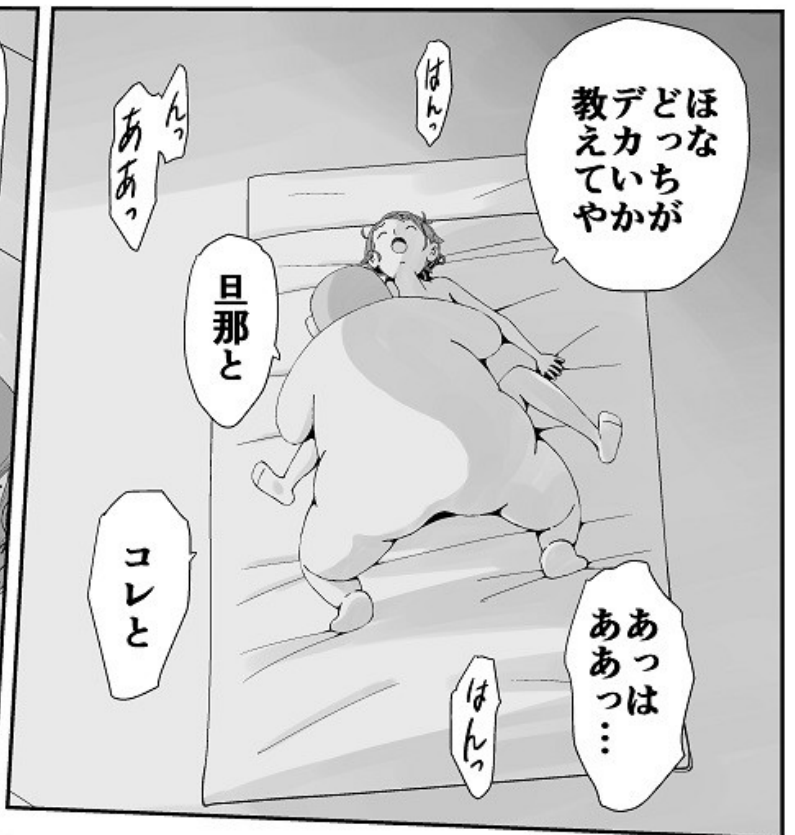


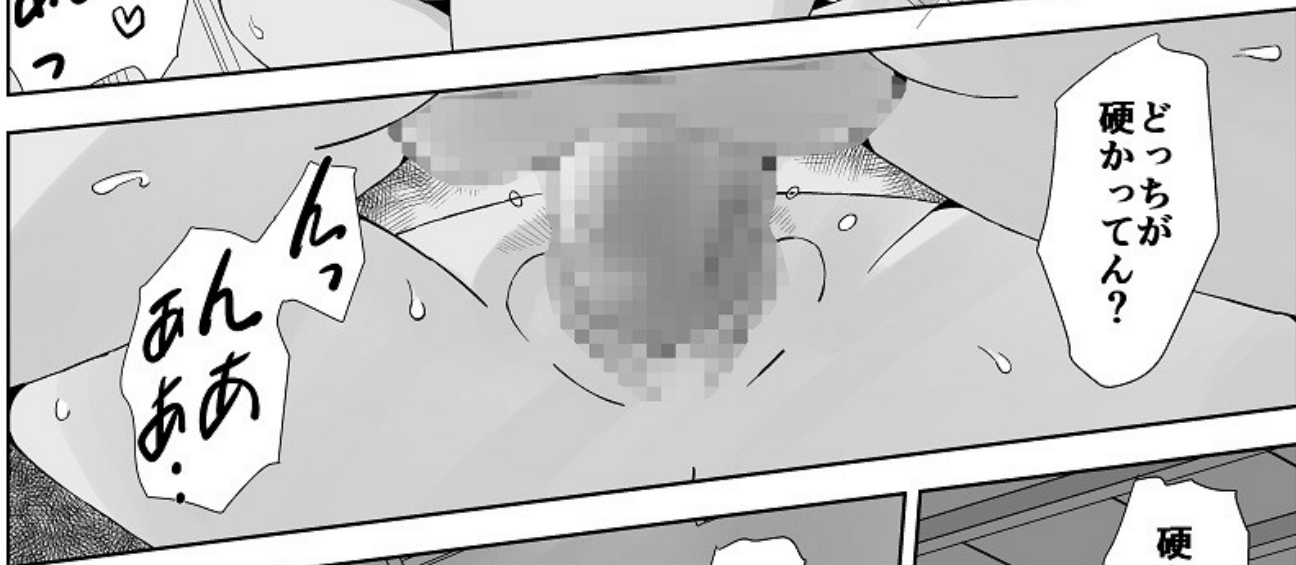


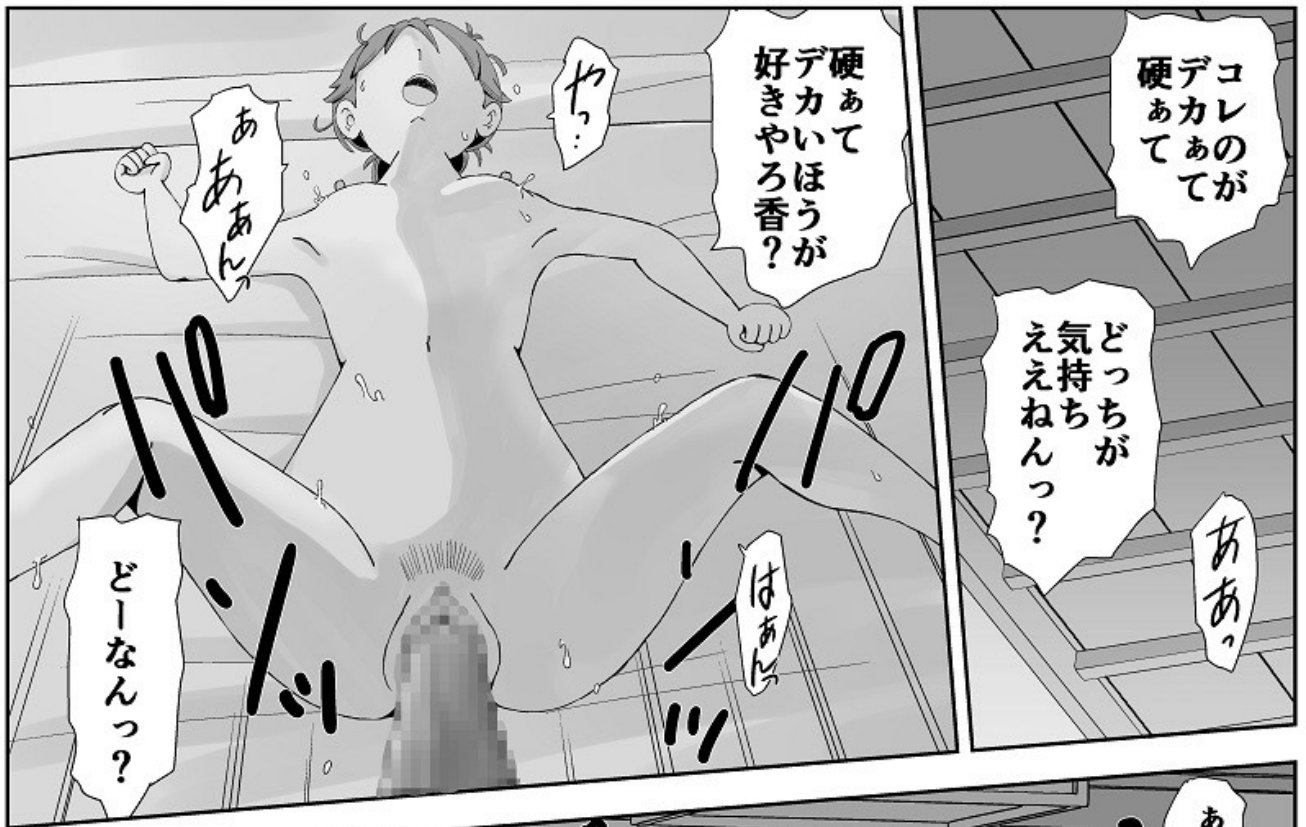












デカいのが
硬あて

硬あて
デカいほうが
好きやろ香?

どっちが
気持ち
ええねん??

あぁ

はぁ

どーなん??

あぁ

や?



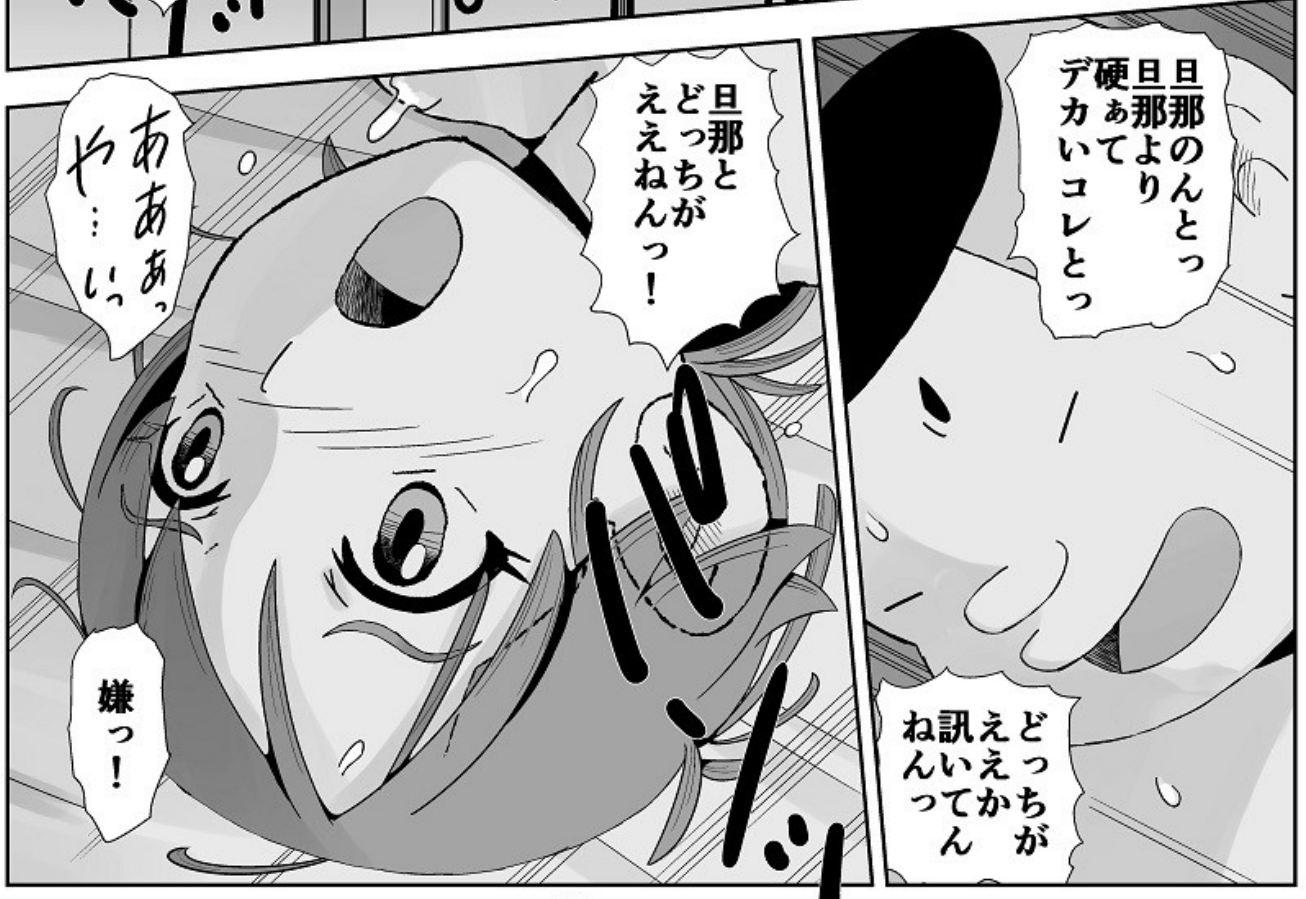
あぁ...

好っ!
嫌っ!

あぁ

あぁ

何て??



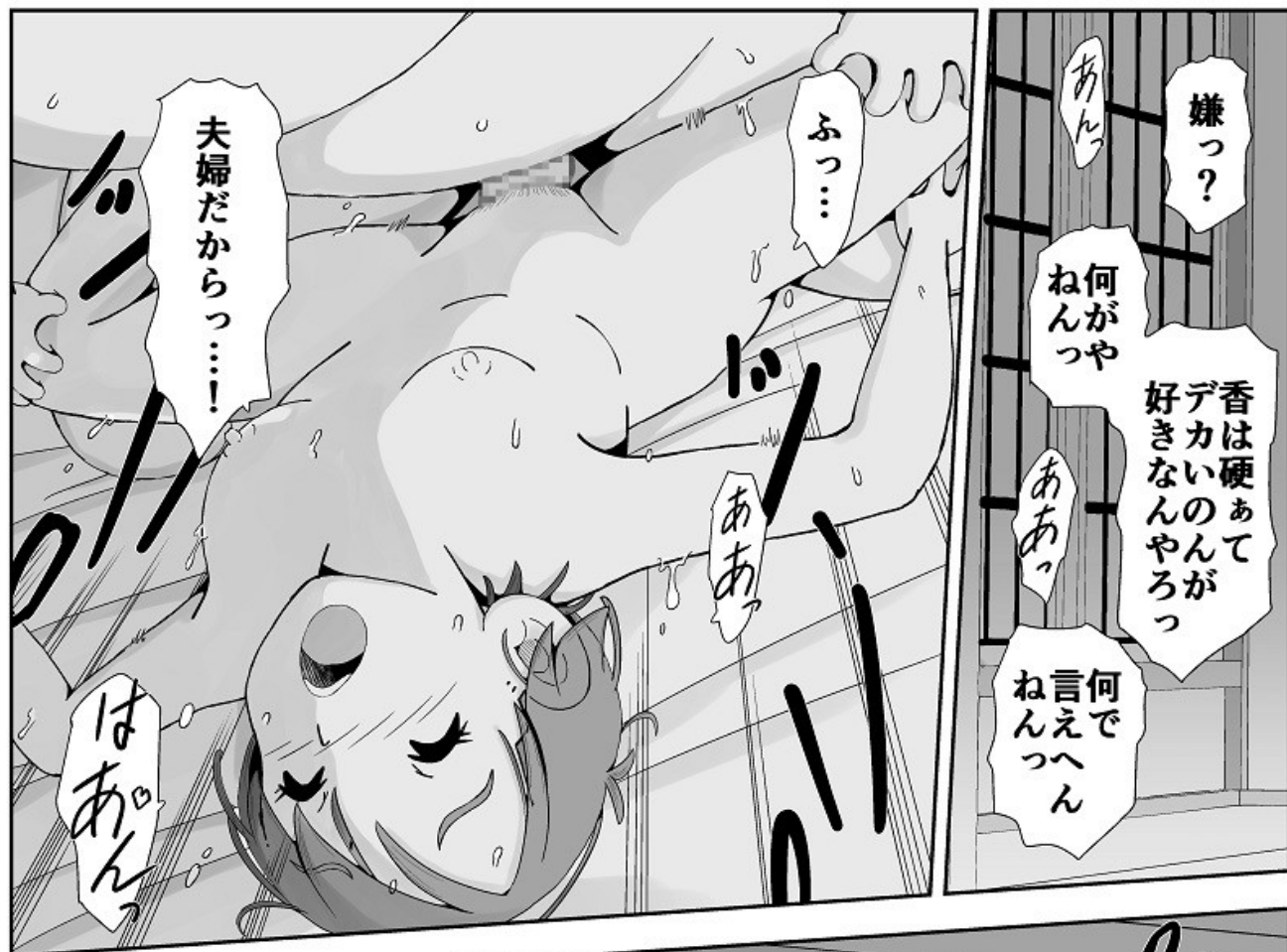
旦那のん
硬あてより
デカいコレとっ

旦那と
どっちが
ええねん!!

どっちが
ええか
訊いてん

嫌っ!

あぁ
や...



夫婦だからっ…!!

ふっ…

ああ

はあん

嫌っ?

何がや
ねん

香は硬あて
デカいのんがっ
好きなんやろっ

何で
言えへん
ねん



夫婦っ?

ああ

夫婦っ?
夫婦やと
気持ちと
ええんかっ?

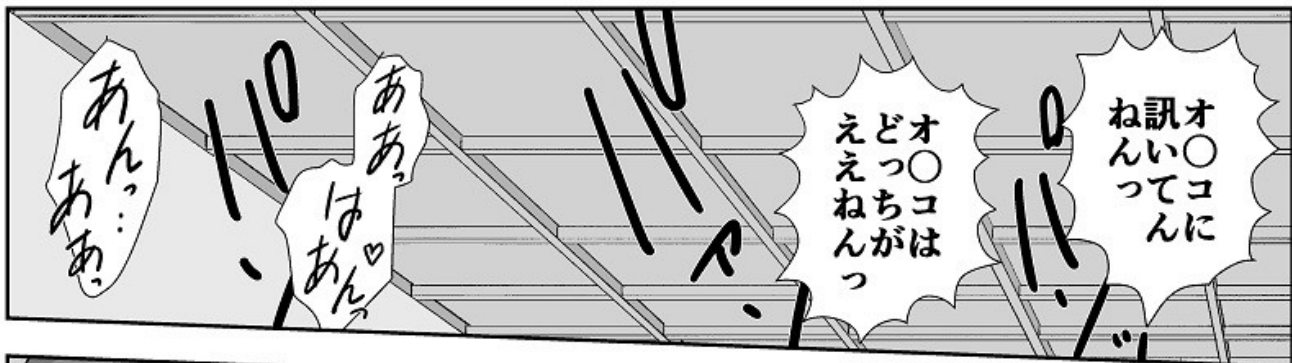
ああ
はあ

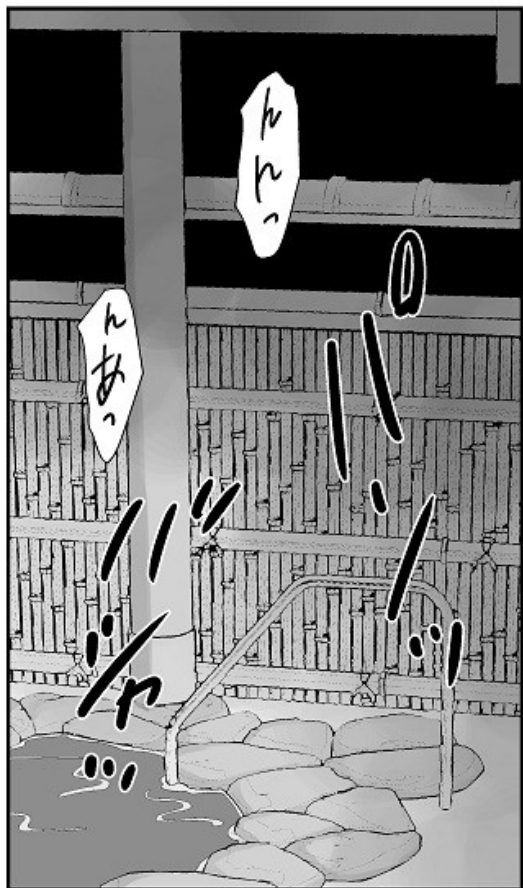


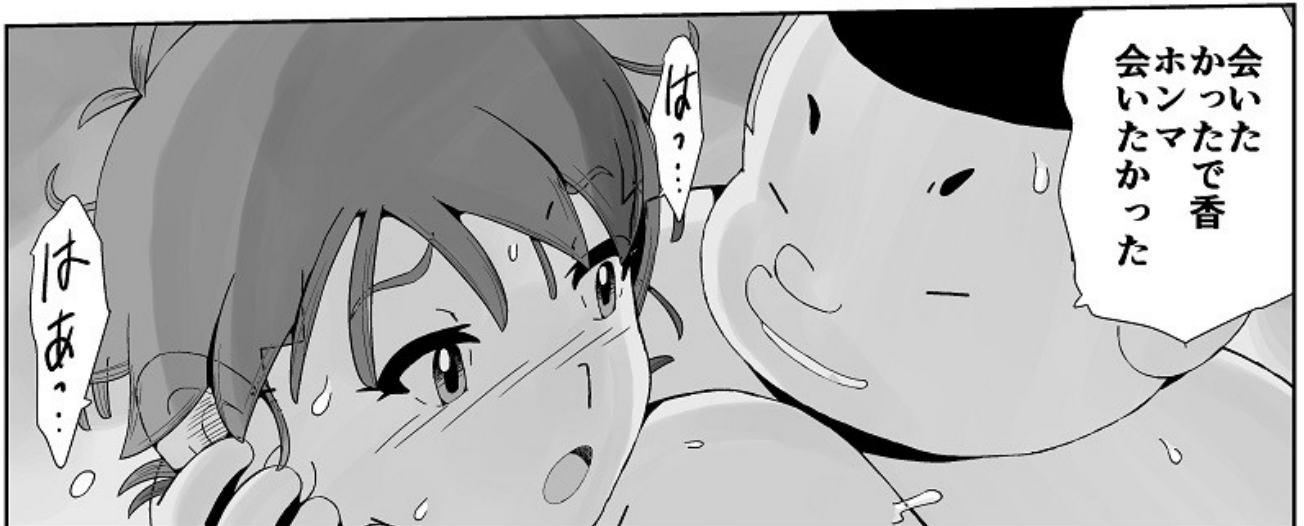
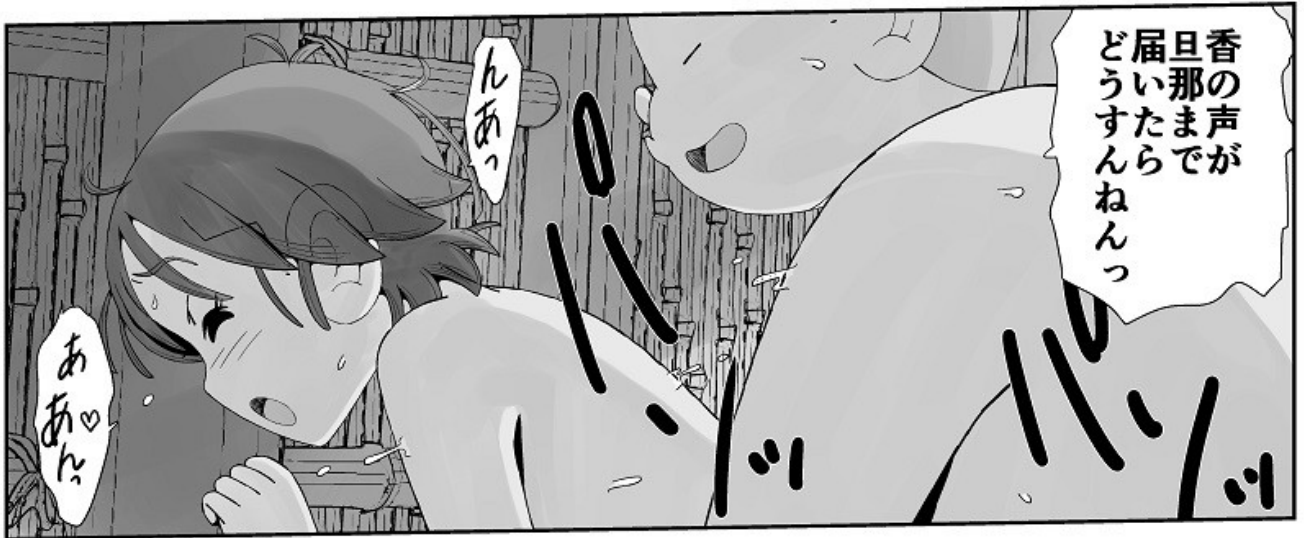
旦那と
コレとおっ!

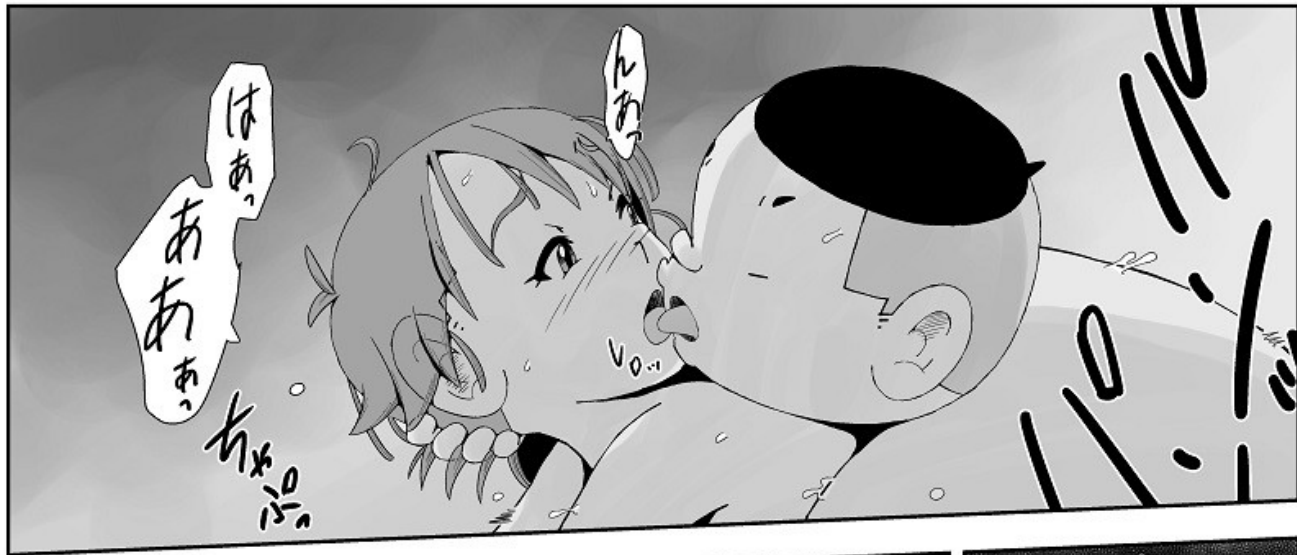
どっちが
オコ
ええんやっ!
オコ
ええんやっ!
ねん
聞いてん!

ああ
ああ
ああ



















だっ、ダメツ
はあぁあつ！

んん

あ、
あぁ



あつちの香が
欲しいねんっ

え…ええつ？

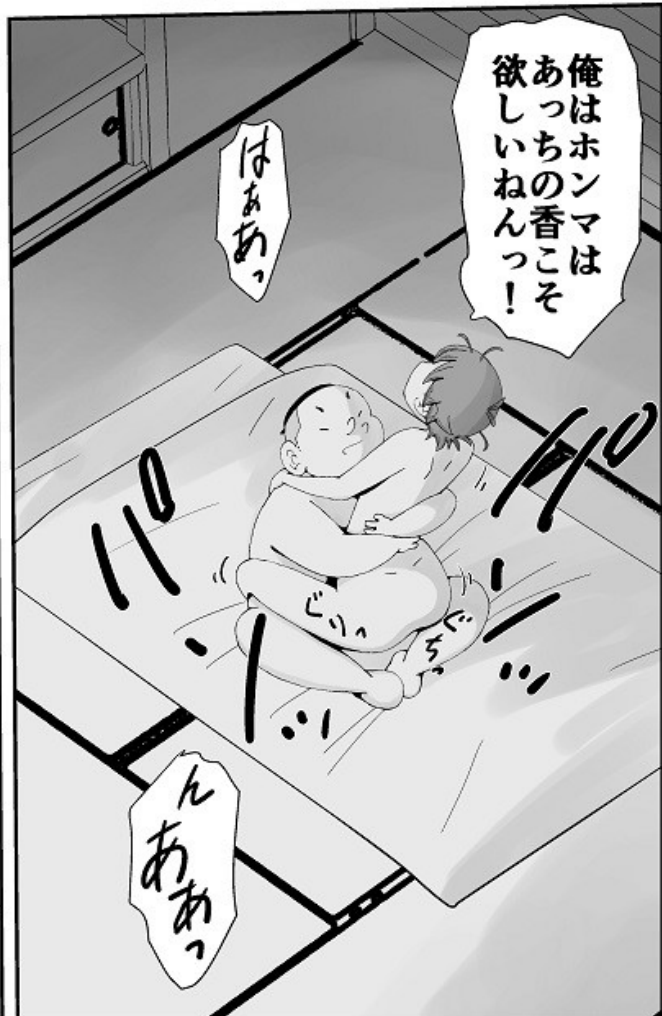


はあ…

あつちの香が
ええねんっ！

んん

わっ、意味っ
わからっ
あつ、あんっ
駄目イッ



俺はホンマは
あつちの香こそ
欲しいねんっ！

はあ

んん







オッ...
オコッ!

誰のやっ!



どこが
ええねんっ!

おっ...

ほらあっ!



どこがやっ?



あああ



かっ...

香のっ!

ああん



かっ...!

何てっ?

誰の
オコッやっ?

ああ...

ああ...

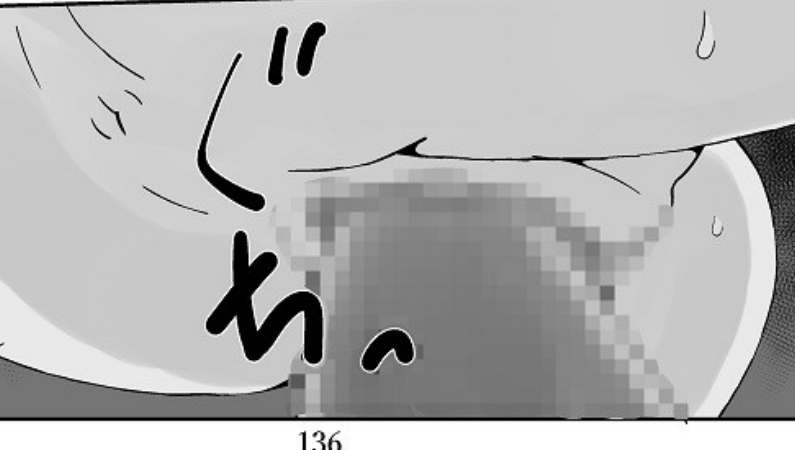
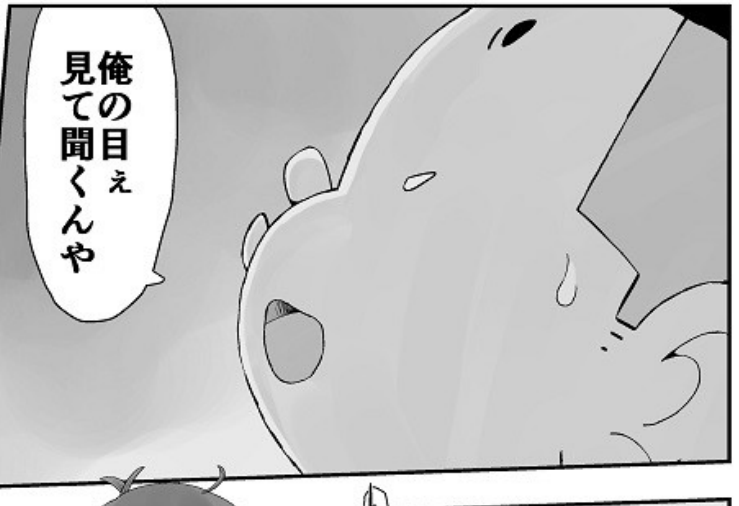


誰のや
訊いてんねんっ!

わん...

ああ...







香と家族に
なりたいねんっ！

俺が欲しいねんはっ！
家族の香やねんはっ！

家族っ！
ああんっ

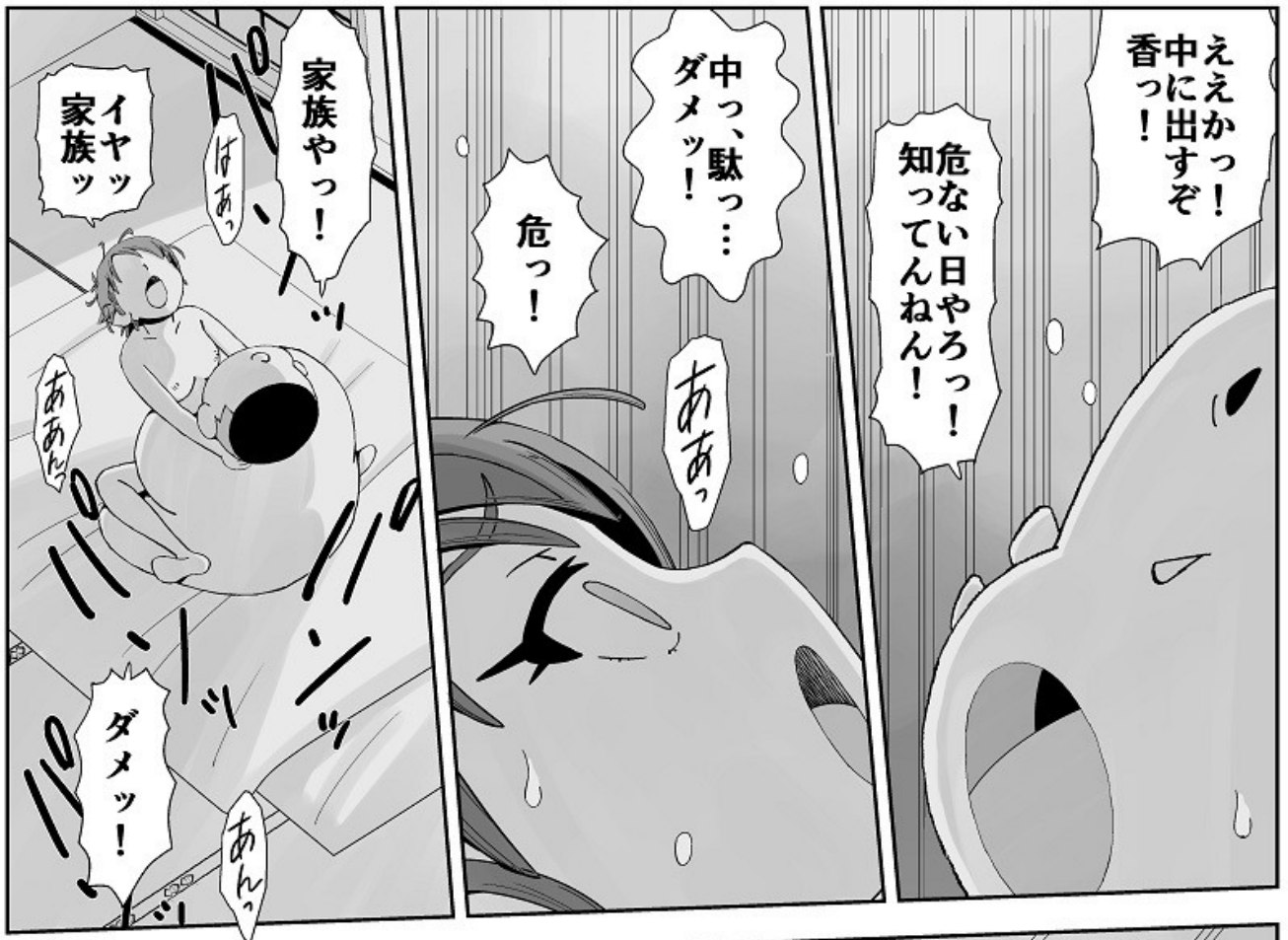
ああんっ
はああんっ
ああんっ

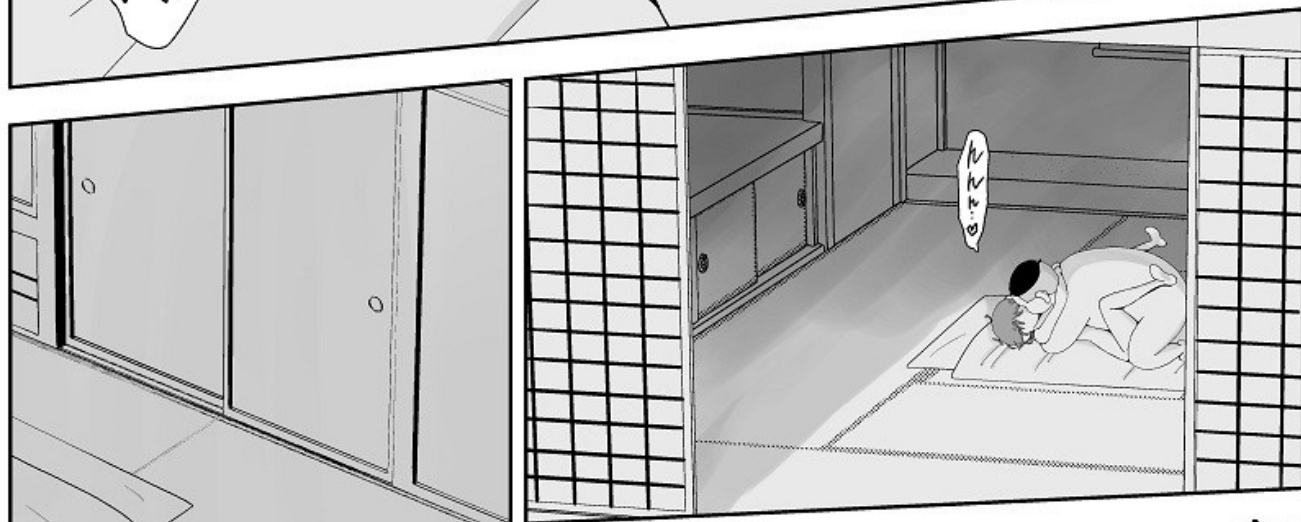


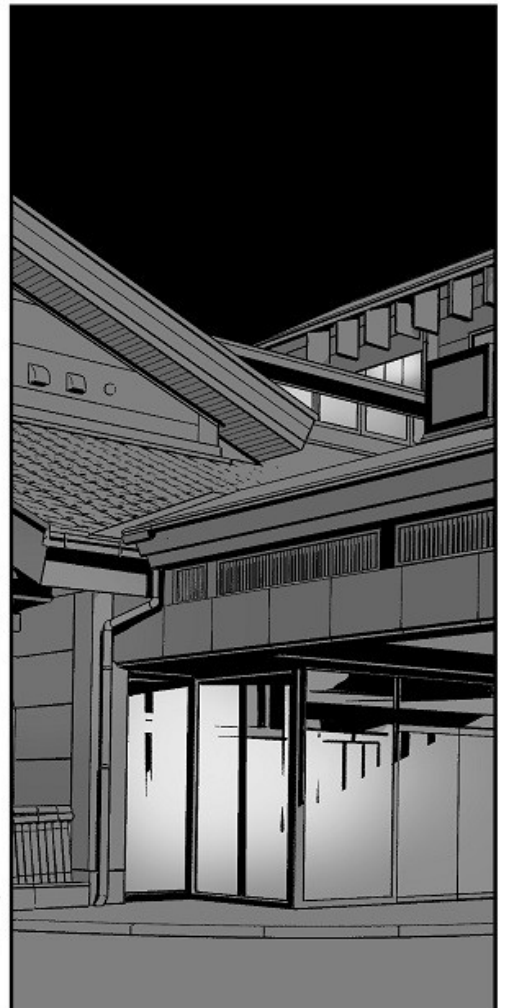
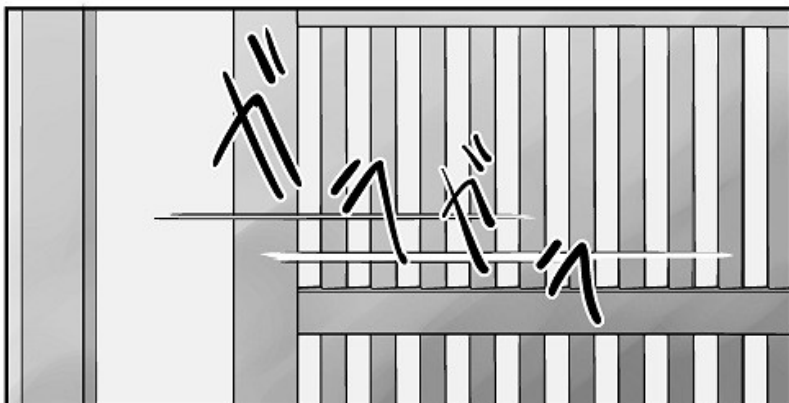
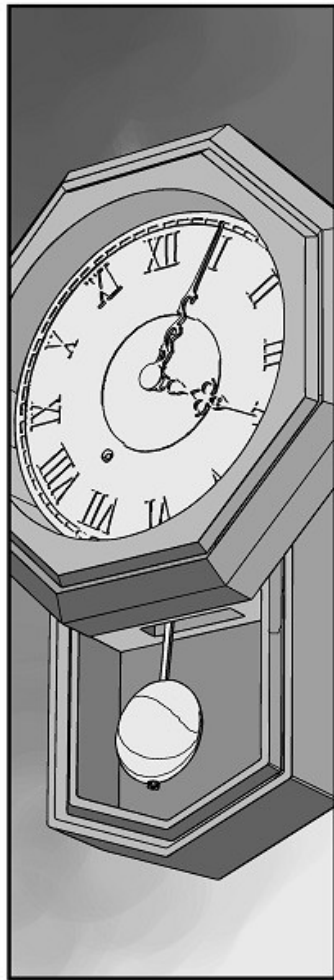
ああんっ
ああんっ
ああんっ

だんっ！

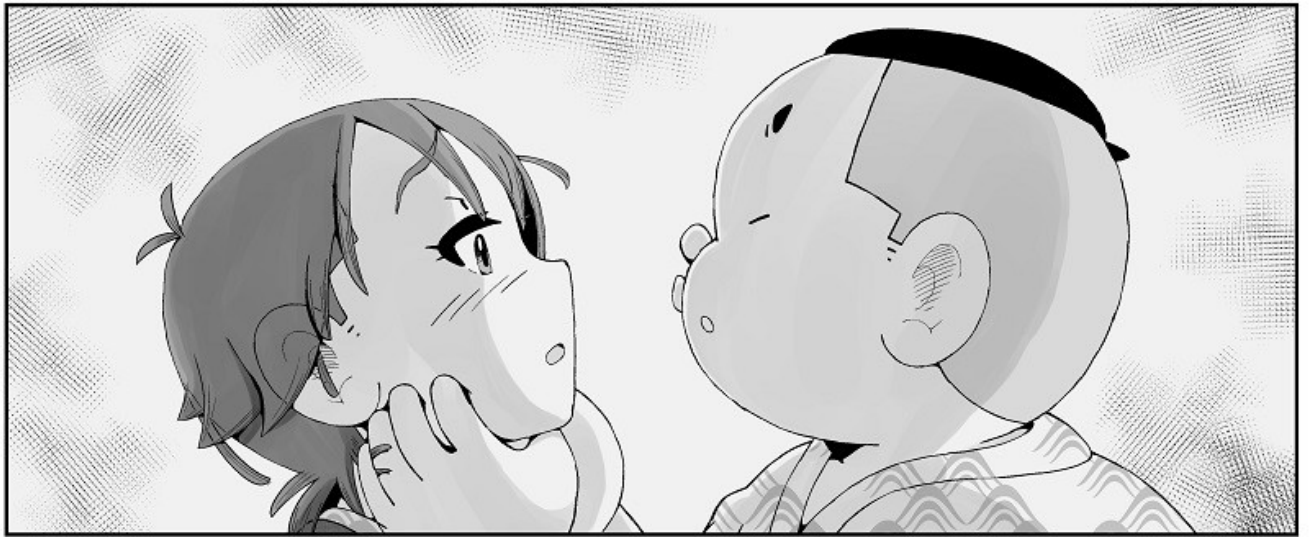
家族やっ！



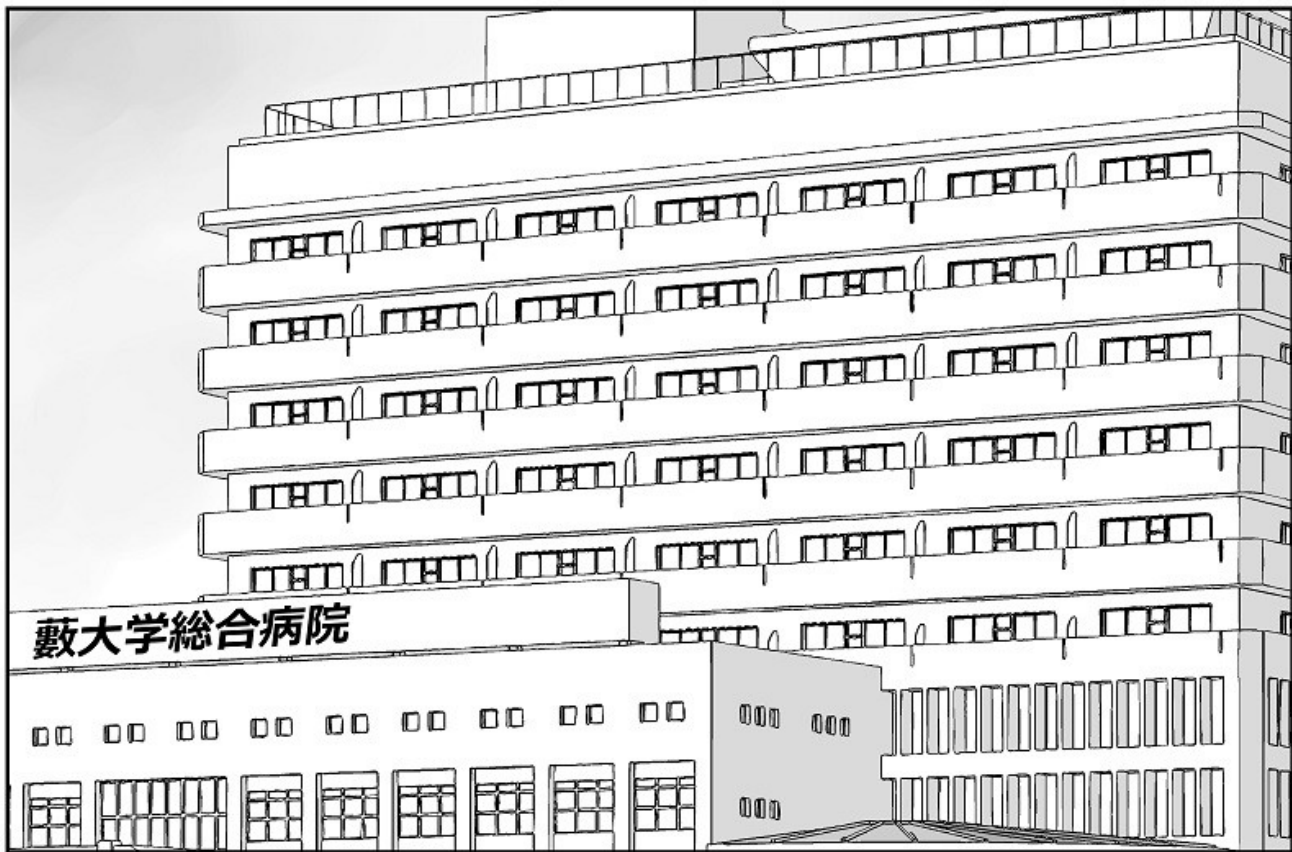


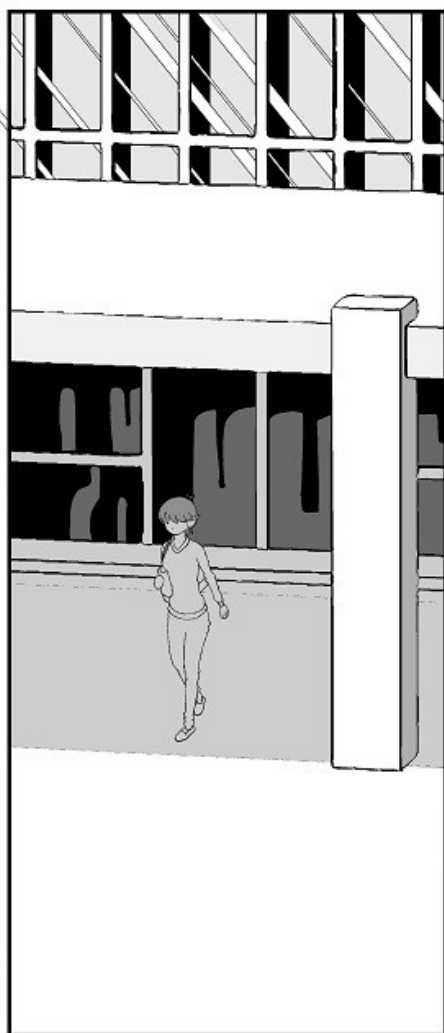
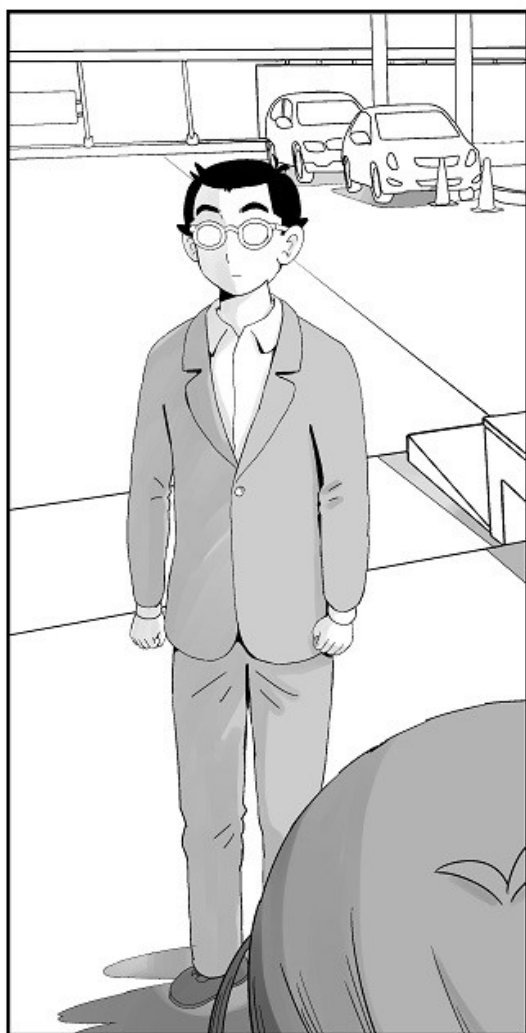
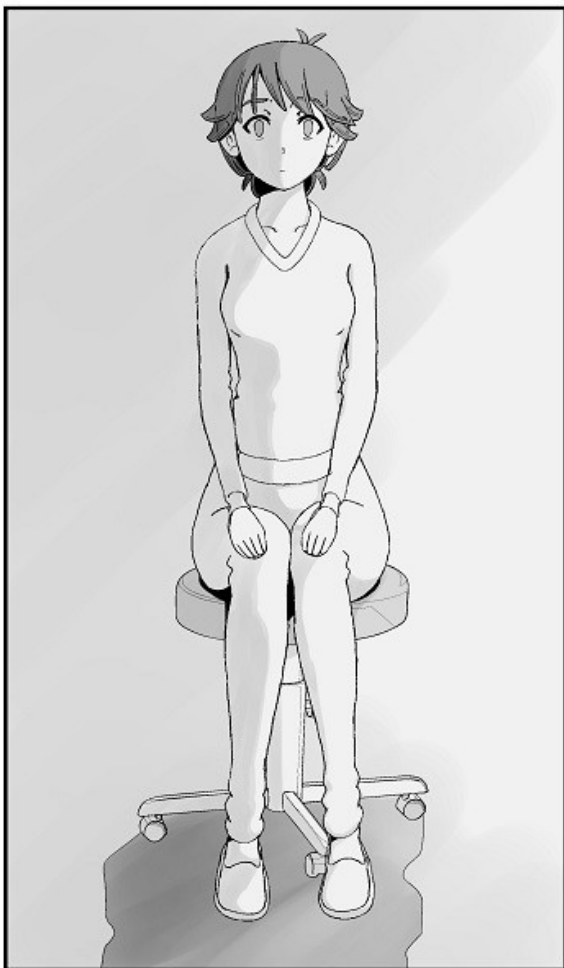
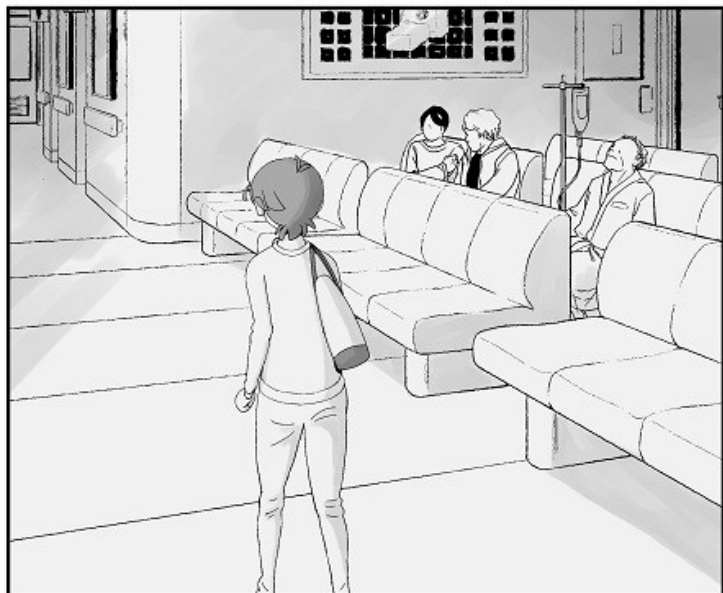












ただ、
父さんではなく
母さんが
出ていったと
いうことは

いつも仲良く
してたのに、
いったい何が
あったのか。

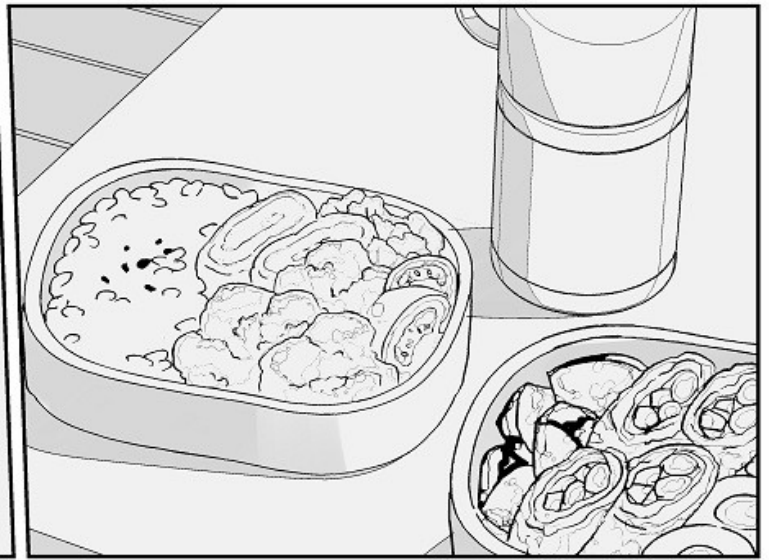
母さんに
否があったのか
とも思った



俺は聞きたく
なかったし、
知りたくもなかった

姉さんは
理由を知ってる
ような気がしたが

今日は月に
一度だけ
許されている、
母さんとの
再会の日なのだ

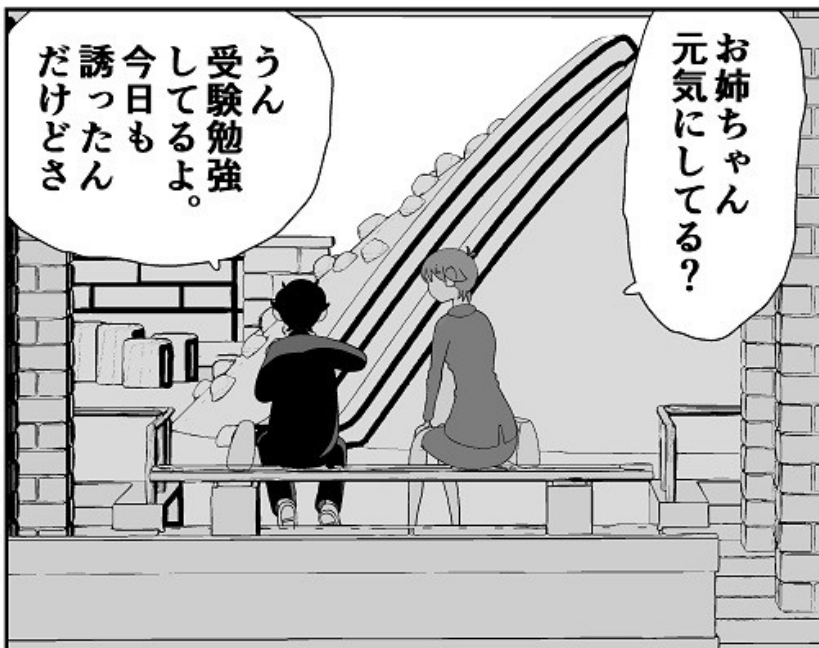


サトの
好きな
オムレツ

うん

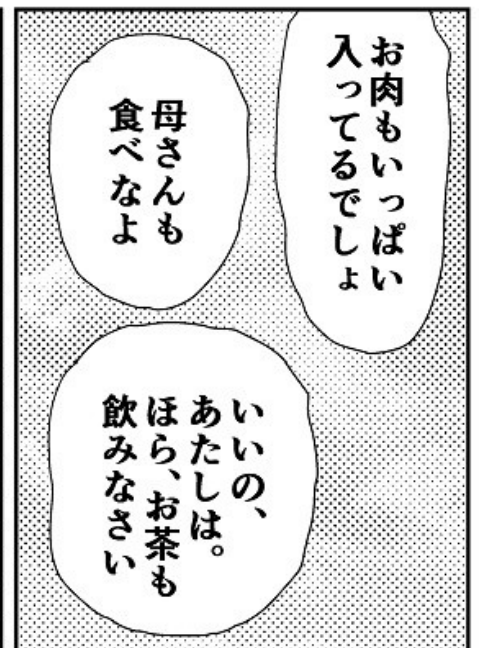


おいしい？



うん
受験勉強
してるよ。
今日も
誘ったん
だけどさ

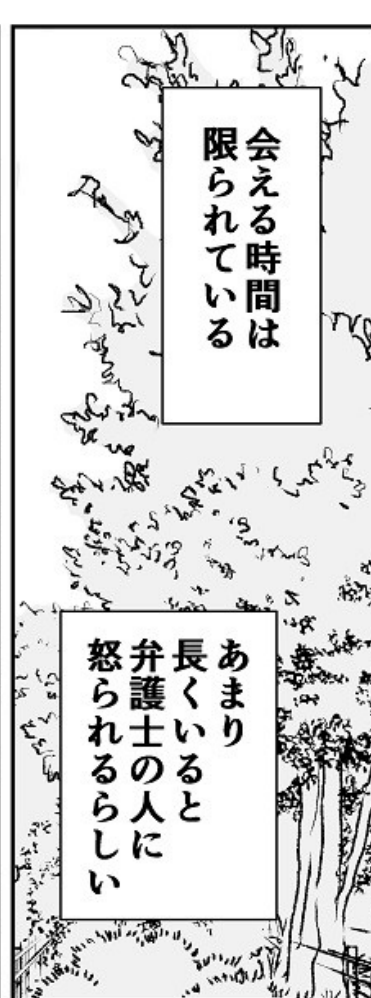
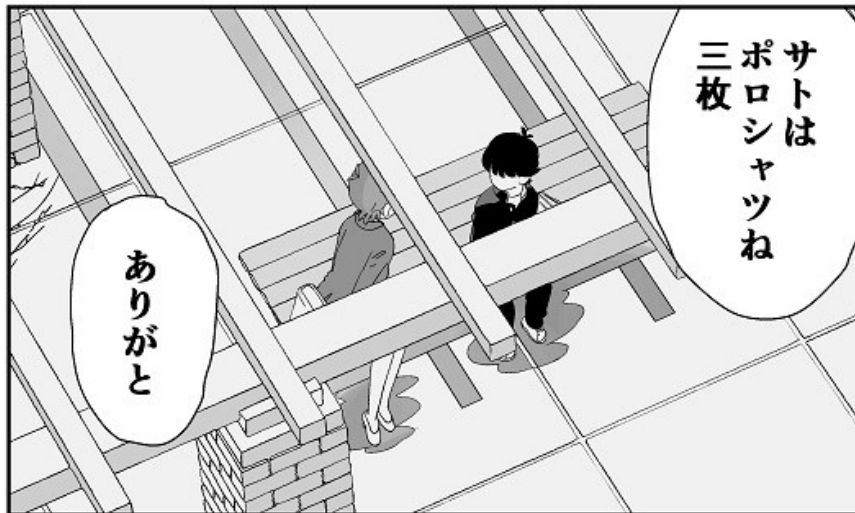
お姉ちゃん
元気にしてる？



お肉もいっぱい
入ってるでしょ

母さんも
食べなよ

いいの、
あたしは。
ほら、お茶も
飲みなさい





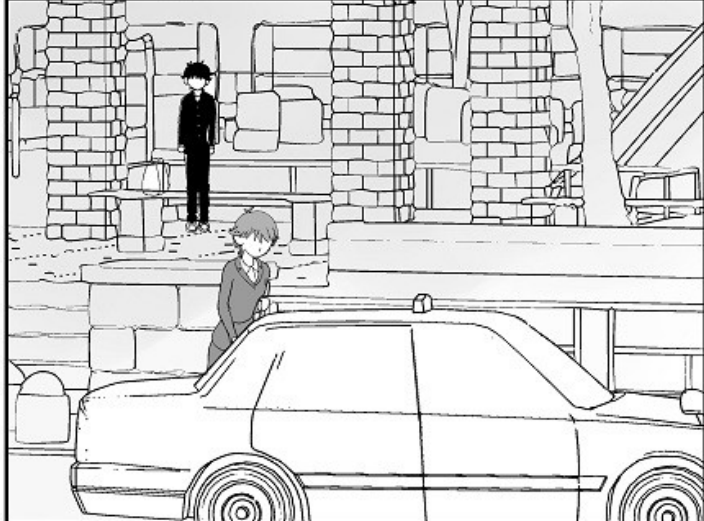
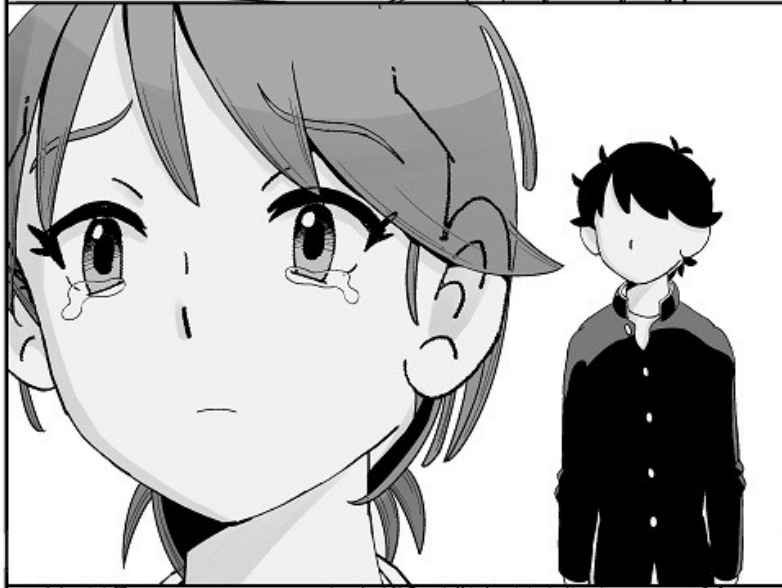
ちゃんと勉強しなさいね
それと好き嫌いしないで
食べることを

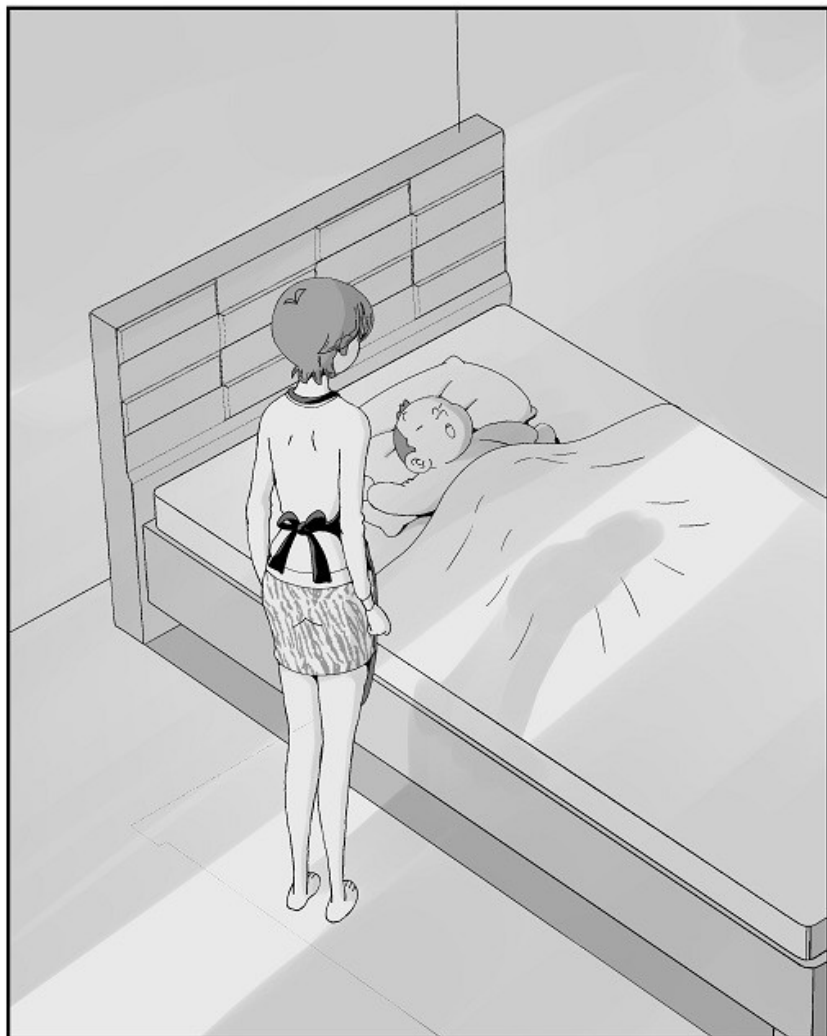
うん

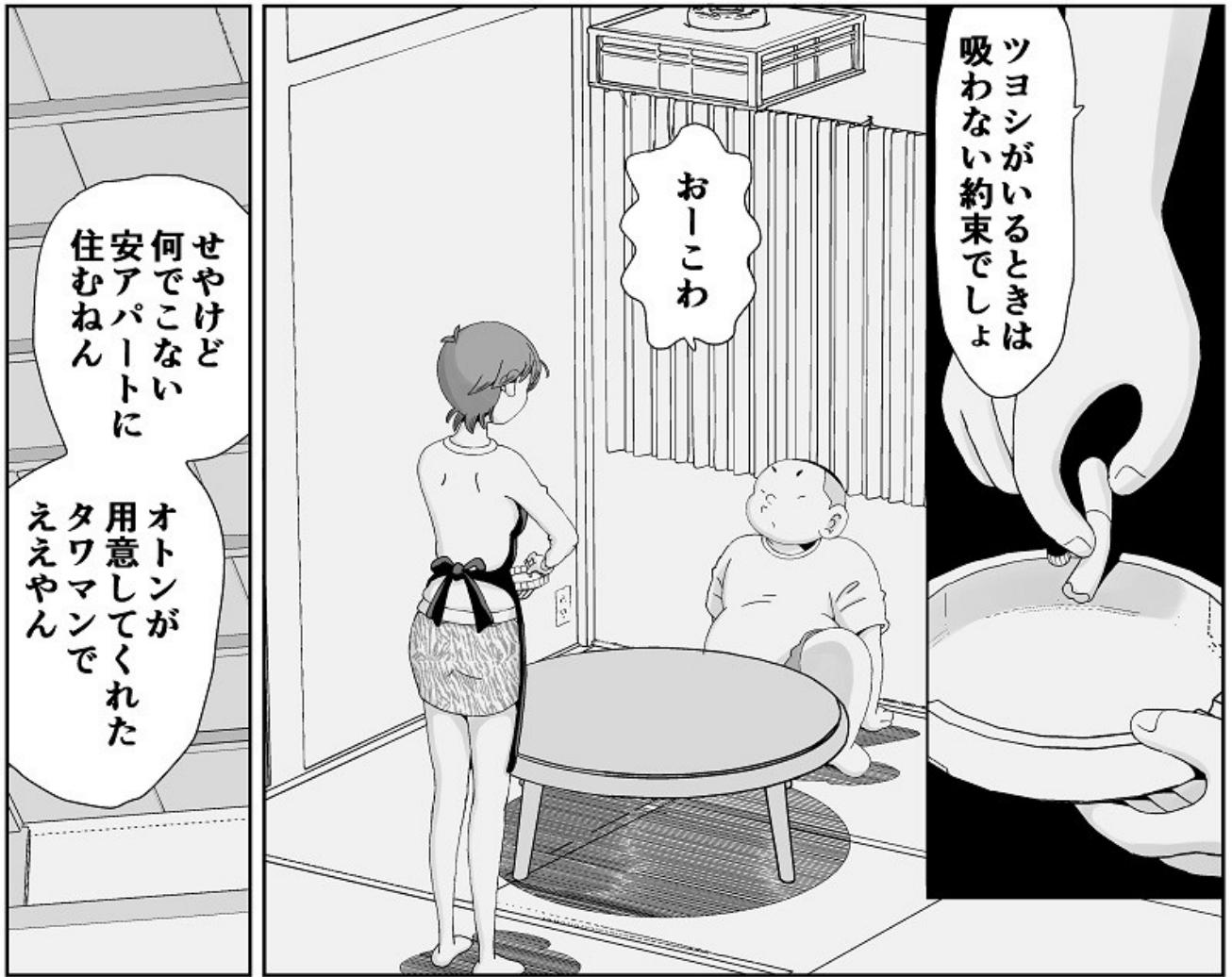
現在の母さんについて聞くのは
禁止されていた

うん

じゃあまたね











ど、ど、どーだか

俺の香への愛を
香は低く
見積もり過ぎや

ハイハイ



.....



当たり前やがな!
俺は香一筋やで?



ついでに
乳もデカ
なってきたし

んん、
ちよっ



何やかんや
俺が買うた
パンツだけ
穿いてくれる
ようになったし

俺の愛は
大きなる
ばっかやで



あの机だって
あなたのために
置いてるんだからね
狭いのに

だ、駄目よ...
模試も近いんだし
今日勉強して
言ったでしょ!



